

II. 景気の先行きに対する判断理由

景気の先行きに対する判断の理由について、その主だったもの及び特徴的と考えられるものを取りまとめると以下のとおりであった。

1. 北海道（地域別調査機関：株式会社北海道二十一世紀総合研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (北海道)		旅行代理店（従業員）	・新型コロナウイルス新変異株の感染状況にも左右されるが、北海道の冬季観光型イベントが規模を縮小しつつも開催予定であるため、国内航空機利用者の回復傾向は今後も継続又は拡大する。ただ、残念ながらインバウンドの観光需要回復にはまだ時間が掛かる状況であるため、観光需要は国内客に頼ることになる。
		商店街（代表者）	・感染拡大が収まっていることから、少しずつ景気は上向きになる。ただ、既に廃業している店も多く、元の状態まで回復するには、消費税の減税など、政府の相当なてこ入れが必要となる。
		一般小売店〔酒〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況次第ではあるが、月を追うごとに景気が回復していることから、今後も回復傾向で推移する。
		百貨店（売場主任）	・北海道は観光で潤っている部分が多いため、日本人観光客が増え、外国人観光客の入込が再開されるようになれば、人流が活発になり、景気も良くなると期待している。
		百貨店（販売促進担当）	・今後の新型コロナウイルス新規感染者数がどう推移するかは未知数だが、少しずつ日常が戻りつつあることから、今後の景気は回復することになる。
		百貨店（営業販促担当）	・コロナ禍で動きが悪かったスーツ、フォーマル関係などの衣料品に動きが始めている。そのため、今後も新型コロナウイルスの感染状況が同じような状態で推移することになれば、ある程度の景気回復が期待できる。春になり、旅行関係が本格的に動き出すことも期待している。
		百貨店（マネージャー）	・客の動向をみると、外出や旅行に出掛ける人が増えているため、外出着やバッグなどを購入する機会が増えており、売上につながっている。緊急事態宣言解除後は極端な落ち込みもなく推移しているため、今後の景気は緩やかに回復することになる。ただし、新型コロナウイルス新規感染者数が増えた場合には厳しさが戻ってくる可能性が高い。
		スーパー（店長）	・年末年始を過ぎても新型コロナウイルスの感染状況が現在のような小康状態で推移すれば、春先に掛けて様々な規制が緩和されていくと期待できるため、今後の景気はやや良くなる。
		コンビニ（エリア担当）	・様々な商材が値上げ基調にあるため、家計の節約傾向が強まっているが、徐々に慣れてくるため、今後の消費は回復することになる。
		乗用車販売店（経営者）	・新型車の売上が収益に貢献すること、年度内の増産効果が受注残の売上につながることが見込まれるため、今後の景気はやや良くなる。ただ、新型コロナウイルス新変異株の感染拡大の影響が心配される。
		乗用車販売店（従業員）	・海外も含めた新型コロナウイルス新変異株の感染状況にも影響されるが、緊急事態宣言が発出されなければ景気はやや良くなる。
		高級レストラン（スタッフ）	・コロナ禍の景気対策として実績のある地域割クーポン券の発行が予定されているため、今後、外出機会が増えることになる。当店においてもクーポン券利用を目的とした客の来店が増加すると見込まれる。
		旅行代理店（従業員）	・新型コロナウイルス新変異株の影響が懸念されるものの、観光地や宿泊地などの感染防止対策や国民の感染対策意識が高いこともあり、景気は徐々に回復するとみられる。ただ、外国人の入国が再開されるなどして人流が活発になると、感染が一気に拡大し、逆に人流が止まってしまう恐れもある。
	タクシー運転手	・新型コロナウイルスの新規感染者数の動きが不安定な状況ではあるものの、客の目的地となるような施設や店などでは感染対策を十分に行っていることから、利用客も徐々に戻ってきている。そのため、今後の景気はやや良くなる。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		タクシー運転手	・新型コロナウイルス新変異株の感染状況次第だが、このまま景気の良い状態が続くことを期待している。
		観光名所（従業員）	・外国人観光客の動向を見通すことはできないが、国内観光客、特に団体旅行の復調が顕著である。今後もGo To Travelキャンペーンなどの各種施策の後押しを受けて、徐々に景気は良くなっていくと期待している。
		美容室（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況が現在のような水準で推移することになれば、今後、外出の機会や行事の開催も増えることになる。それにもなって当店の来客数及び売上も徐々に増加することになる。
		その他サービスの動向を把握できる者〔フェリー〕（従業員）	・冬型の気圧配置が緩む頃から、正常な運航状況に戻ると見込まれることから、今後の景気はやや良くなる。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの新規感染者数がちらほらとみられること、政府の景気対策にばったものがないことなどから、今後も世の中の動きは変わらない。
		商店街（代表者）	・当地においては2か月以上新規感染者が出ていないものの、ガソリンなどの価格が高止まりしている現状を考慮すると、極力出費を控えようとする傾向が強くみられることから、今後も出控えが続く。そのため、買物客の増加は見込めず、景気は変わらないまま推移する。
		商店街（代表者）	・観光業界は行政の早い支援策のお陰で首の皮が一枚つながっている状態を維持できている。ただ、北海道は観光の閑散期であるため、今後の大きな回復は見込めない。来春の本格的な観光シーズンに大型の支援策などが展開されないと、北海道の観光業界は耐えられず崩壊することになる。これまで観光業界への直接的な支援が一切なかったことが、ポディープローのように効き始めており、本格的な景気回復支援策を切望している。
		商店街（代表者）	・果物が全国的に不作であるため、国内のりんご出荷が早くなることを見込まれるものの、5月以後は国産果物が枯渇することが懸念される。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルス新変異株の影響もあり、県をまたいでの移動や大人数での会食にブレーキが掛かった状態が続くことになる。今後については前年並みでの推移が見込まれるが、そこから大きく伸びることまでは期待できない。
		スーパー（企画担当）	・現状の人流の多さは今後も変化しないとみられる。また、マーケットの競争環境も現状のままで推移するとみられることから、今後も景気は変わらない。
		コンビニ（エリア担当）	・今後も現状のスタグフレーションが継続又は加速するとみられることから、今後の景気は良くて現状維持となる。新型コロナウイルス新変異株が感染拡大することになれば、景気が悪化する懸念もある。
		コンビニ（エリア担当）	・当業界では、前年1月頃から新型コロナウイルスの影響がどちらかといえばプラスに影響しており、来客数が増加傾向で推移していた。今は逆に来客数が落ち着いているため、もしかすると前年よりも景気が悪くなる可能性がある。
		衣料品専門店（店長）	・外食産業、観光業が盛り返すことになれば、人が外出する機会が増え、紳士服業界も上向きに転じると期待できるが、まだまだ先のこととみられる。
		家電量販店（経営者）	・今後も引き続き景気の良い状態が続くとみられる。
		家電量販店（店員）	・今後、新規感染者数が増えてくることで客足が鈍ることが懸念される。
		乗用車販売店（従業員）	・春先に新型車が発売されるため、それが追い風となり、景気も少しは良くなる。ただ、新型車が大人気車種ではないため、飛びぬけて良くなることまでは見込めない。全体的には今と同じように、景気がそれほど良くも悪くもなく、どちらかといえば良い方向で推移するとみられる。
		自動車備品販売店（店長）	・新型コロナウイルスの感染状況次第で変化するため、何とも言えないというのが正直なところである。感染状況が落ち着いている状態が続くようであれば、旅行業などの景気も良くなり、全体的な景気は上向きになる。
		その他専門店〔造花〕（店長）	・感染状況が落ち着いて推移すれば、ある程度の回復は見込める。ただ、感染状況に影響されやすい業種のため、数か月ではそこまで景気は変化しない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		高級レストラン（スタッフ）	・今後の景気は少しずつ回復するとみられる。ただ、新型コロナウイルス新変異株の感染拡大が進めば、すぐに自粛が始まることになる。年末の利用者も日頃から活動的な客だけであり、一般客はまだ不安を持っている客が多かったため、高級店で食事を楽しむという状況にはならない。
		高級レストラン（スタッフ）	・新型コロナウイルスを契機として、働き方にも変化が出てきているなど、感染対策に気を遣いながら行動をしている人が多いことから、今後の景気が完全に元に戻ることはない。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルス新変異株のこともあり、今後の人の動きがどうなっていくのかまだ予断を許さない状況にある。また、タクシーの利用は降雪などの天候によって左右されるが、感染状況が現在のような状況で推移すれば、新型コロナウイルス発生前には及ばないにしても、前年よりは相当景気が良くなる。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルスの感染状況次第の面があるが、現状からは今後も景気は変わらない。特にこれから年明けに掛けては寒くなる時期であるため、感染状況が悪くなるのではないかと心配している。ただ、感染状況が落ちていくと推移することになれば、前年よりも景気は上向くことになる。
		観光名所（職員）	・全国的に新規感染者数が落ち着いているが、それに比例して来客数が伸びているわけではなく、厳しい状況が続いている。景気を上向かせるためには、観光の起爆剤となり得るGo To Travelキャンペーンの実施などが必要であり、新型コロナウイルス新変異株なども含めた新型コロナウイルスの収束に期待している。
		美容室（経営者）	・12月の景気は良かったが、この先については不透明である。客の会話や販売動向からもこの先の景気が良くなるような気配が特に感じられない。
		美容室（経営者）	・現在も様子見している客が多いことから、今後も景気は変わらない。
		住宅販売会社（経営者）	・新型コロナウイルス新変異株の出現など、感染状況がまだまだ予断を許さないところにある。そのようななか、分譲マンション市場においては資源価格高騰の影響などによる価格高止まりもあり、供給体制が改善されていない。需要層の所得が伸び悩んでいることもあり、分譲マンション市場が順調に拡大していくのは難しい状況にある。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	・魚の不漁に加えて、石油価格の高騰、大雪による影響などが出てくることが懸念されるため、今後の景気は落ち込むことになる。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	・人の流れが増えている状況のなかで、今まで旅行などを行っていなかった人も、この年末年始は帰省や旅行に出掛けしており、それにともなって景気も上向いている。ただ、新型コロナウイルス新変異株がどのような状況になるかわからないため、2～3か月後になり、新規感染者数が増えた場合には動きが止まるのではないかと心配している。このまま感染状況が小康状態で推移すれば良いが、再び緊急事態宣言並みの新規感染者数になると、消費マインド、観光マインドが一気に下がることになる。
		スーパー（店長）	・今後、新型コロナウイルスの影響が強まることが懸念される。
		スーパー（企画担当）	・スーパーへの客足が百貨店や外食に奪われていることに加えて、電気料金、ガソリンや灯油代などの燃料費の値上がりによって家計での負担感が大きくなれば、今後の消費活動にマイナスの影響を与えることになる。
		スーパー（役員）	・原料の値上がりに加えて、輸入品の入荷遅れや人手不足により、今後、食品の値上がりがますます進み、客の節約志向が一層強まるとみられる。
		スーパー（従業員）	・新型コロナウイルス対策としての景気浮揚策の効果も期待できるが、新型コロナウイルス新変異株や感染の第6波などへの不安要素の方が強く感じられるため、今後の景気はやや悪くなる。
		コンビニ（エリア担当）	・前年はプレミアム付商品券による効果がみられたが、今年は金額や券数を減らす動きがみられることから、冬期間の景気が上向くことは望めない。新型コロナウイルスの感染状況によって変化しそうな部分があることもマイナスである。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他専門店〔医薬品〕（経営者）	・現状から、今後の景気はやや悪くなる。地道な店頭啓もう活動が個店の売上を伸ばす唯一の方法であり、初心に帰って経営していくのみである。
		観光型ホテル（スタッフ）	・自治体が観光支援策として行っている事業が2月で終了すること、Go To Travelキャンペーンの再開が不明なことから予約が停滞気味であるため、今後の景気はやや悪くなる。
		旅行代理店（従業員）	・感染状況が少し落ち着きをみせ始めたと思いきや、新型コロナウイルス新変異株の感染拡大や北海道内での感染拡大がじわじわと起こり始めているため、先が見えない状況にある。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルス新変異株の市中感染など、正月の帰省により道内でも新規感染者数が増えてくる可能性があり、今後の第6波が懸念される。感染対策による外出規制などが発出されることも見込まれるため、3回目のワクチン接種、経口薬の供給などが早めに行われることを期待している。
		通信会社（企画担当）	・競合他社との価格競争が激しく、消耗戦になってきているが、打開するような決定的なサービス、通信端末がないため、もうしばらく苦しい状況が続く。
		住宅販売会社（経営者）	・せっかく新型コロナウイルスの感染状況に落ち着きがみられていたが、新型コロナウイルス新変異株による感染が生じ始めていることから、2～3か月後には第6波が来ると見込まれる。そのため、今後の景気は厳しくなる。
	x	スナック（経営者）	・現状から、今後の景気は良くはならない。
	x	観光型ホテル（経営者）	・新型コロナウイルス新変異株の感染に関する過剰報道で既にキャンセルが増加しており、営業状況が悪化するとみられる。期待しているGo To Travelキャンペーンの実施がいまだに不確定なこともマイナスである。
	x	タクシー運転手	・いよいよ第6波の到来が現実味を帯びていることから、これまでの景気回復の兆しがみられていた状況から一転して下降曲線に入ることが見込まれる。
企業 動向 関連 (北海道)		-	-
		建設業（経営者）	・公共工事の補正予算分の発注、契約が始まることから、今後の景気はやや良くなる。実際の工事着工は4月以降になるが、準備作業などの工事に向けての動きが出ることになる。一方、民間工事については、まだ引き合い程度で新規契約は少ないとみられる。
		建設業（役員）	・閣議決定された2022年度予算案で北海道開発予算が2年ぶりに前年を上回ったことから、新年度へ向けた公共工事受注に期待が持てる。ただし、建設資材の高騰と品不足が懸念材料である。
		金融業（従業員）	・大型経済対策の後押しを受けて、個人消費の持ち直しが一層鮮明になってくる。観光についても需要喚起策の実施が予定されていることから、3か月先の道内景気はやや良くなる。
		その他サービス業〔ソフトウェア開発〕（経営者）	・来年度の案件が出始めたことから、今後の景気はやや良くなる。
		その他サービス業〔建設機械レンタル〕（総務担当）	・現在の動向から底を脱した感が強く、今後の景気はやや良くなる。
		食料品製造業（従業員）	・この先、これ以上販売量が増えるような要素が見当たらないため、今後も景気は変わらない。
		通信業（営業担当）	・今後の企業の動きとして、新型コロナウイルス新変異株の様子をうかがいつつ、本格的な新型コロナウイルス収束を見据えた動きが出てくると見込まれるため、景況感としては現状同様のやや良い状態が継続する。
		司法書士	・新型コロナウイルスによる感染状況がようやく下火になってきたが、新型コロナウイルス新変異株が世界中に広がり、日本国内にも市中感染とみられる感染の拡大が懸念されるなど、新たな危機が感じられる状況である。年末年始で人流が活発になっていたこともあり、新型コロナウイルス新変異株による感染拡大は時間の問題と考えられ、景気回復は感染が収束した後になる。
		その他非製造業〔鋼材卸売〕（従業員）	・現在の状況がそのまま続くとみられる。また、建築関連における鉄骨の材料不足と値上がりの影響も考えると、鉄骨加工量が増えることへの不安もある。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		金属製品製造業（従業員）	・半導体不足はいずれ回復するとみられるが、ウッドショックやメタルショックによる材料費の高騰は今後も続くと思込まれる。また、カーボンニュートラルに世界がかじを切ったことは良いことだが、新型コロナウイルスの収束がいまだにみられないなか、当社にとっては悪影響しか生じない。
		建設業（従業員）	・案件の選択が進み、大規模案件のみが目され、それ以外の案件は延期となる傾向がみられることから、今後の景気はやや悪くなる。
		輸送業（支店長）	・例年、冬期間は貨物量が減る傾向にあることから、今後の景気はやや悪くなる。
		司法書士	・業種にもよるが、半導体不足やウッドショックなど、新型コロナウイルスの影響による原材料費の高騰が価格や納期に大きな影響を与えている。新型コロナウイルスの感染が再び徐々に増えていることから、今後の景気は下向きで推移することになる。
	x	その他サービス業〔建設機械リース〕（支店長）	・新型コロナウイルスの影響のほか、資材不足、半導体不足に加えて、燃料価格の高騰やアドブルーの不足など、マイナス要因が増えていることから、今後の景気は悪くなる。
雇用 関連 (北海道)		-	-
		人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルスの収束を見据えて、企業が営業活動のスピードを速めているなど、前年の先行き不安から脱却しようという企業の意志が感じられる。観光業においては、緊急事態宣言の解除を受け、年末年始の宿泊稼働率が8割を超えているホテルもみられる。飲食店など、今後の不安要素が残る業種もあるものの、一般の企業においては営業人材の確保に動いているなど、業績回復に向けた動きがみられる。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・農畜産物の安定的な生産動向を背景に景気が良くなる気配が感じられる。ただ、新型コロナウイルス新変異株の感染状況が懸念材料である。
		職業安定所（職員）	・Go To Travelキャンペーンの再開も見込まれることから、今後の景気はある程度上向くと期待している。求人の動きも前年より良い状態で推移しており、企業の採用活動も特定の業界を除けば新型コロナウイルス発生前に近いような状況にある。
		職業安定所（職員）	・当地における新規求人数が前年から6.3%増加しているほか、月間有効求人数も8か月連続で前年を上回っており、全体的に回復の兆しがみられる。ただ、サービス業、宿泊業・飲食サービス業、医療・福祉、運輸業・郵便業、情報通信などで求人数が増加している一方で、卸売業・小売業、製造業などで求人数が減少しているなど、産業や業種によってその度合いは異なっており、今後の新型コロナウイルスの感染状況や経済活動、消費行動の状況によっては再び先を見通せない状態になることも懸念される。
		学校〔大学〕（就職担当）	・今まで新卒採用に慎重だった中小企業も2023年卒業予定者の採用に向けて準備を始めるなど、経済活動が少なからず活発になってきていることから、今後の景気はやや良くなる。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・良くも悪くも新型コロナウイルス新変異株の感染状況に影響されることになる。ウィズコロナの新しい生活様式に対応できない企業や店舗は苦戦が続くそう。
		職業安定所（職員）	・雇用調整助成金の相談件数や申請件数が減少傾向にあるものの、新型コロナウイルス新変異株の感染状況、赤潮被害の影響などの懸念材料もあることから、今後の景気は変わらない。
	求人情報誌製作会社（編集者）	・正月の帰省や年末年始の観光など、人の移動が増えていることから、新型コロナウイルス新変異株の影響を受けて再び経済活動がストップする可能性が高い。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	x	-	-

2. 東北（地域別調査機関：公益財団法人東北活性化研究センター）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (東北)		その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・客の消費購買欲求はかなり高まってきている。支援金の配付やボーナス等の後押しもあって、年末初売りの消費拡大がかなり期待できる。さらに、春に向けても後押しをしていけば良くなるとみている。しかし、新型コロナウイルスの感染状況によっては大きくマイナスになることも考えられる。
		旅行代理店（従業員）	・Go To Travelキャンペーンが再開すれば良くなるとみている。
		百貨店（売場主任）	・3回目のワクチン接種が進み、新型コロナウイルスに対する安心感が広まれば、旅行やビジネス等人々の動きが更に活発になり、消費も上向くとみている。
		コンビニ（経営者）	・相変わらず客単価や購入点数は堅調に推移しているなかで、新型コロナウイルスの落ち着きで来客数が増加してきている。今後もこの傾向が続くとみている。
		コンビニ（経営者）	・現状と同様に来客数の減少を単価増でカバーしていくと推測される。
		コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルスの感染状況次第だが、人流は19年に戻りつつあり、リベンジ消費に期待したい。
		衣料品専門店（経営者）	・当地では新型コロナウイルスの感染者数が激減し、人出が増え来客数も増加しているため、今後の売上増加に期待している。
		衣料品専門店（店長）	・前年来、コロナ禍により入学式、卒業式、入社式といった行事がなかったため、行事の中止によりスーツを着る必要がなく我々にとってデメリットとなっていたが、今年はこのままでいくと中止の心配はそれほどないとみているので、その分非常に期待している。
		乗用車販売店（従業員）	・ニュースなどでいわれるように部品供給が改善されているならば、新車の配車が増加するとみられる。決算時期でもあり期待できる。
		乗用車販売店（店長）	・車両生産の見通しが具体的に立っているため、現在の納車待ちも急速に回復するとみられる。収益も続いて回復するので見通しは明るい。
		住関連専門店（経営者）	・県内で新型コロナウイルス新変異株の感染者が広がらなければ、3月はお彼岸の月に入るので仏具類の需要も増す。したがって、景気も上向きになるとみている。
		その他専門店〔靴〕（従業員）	・新型コロナウイルスの影響がこのまま維持されれば、活発な人の動きが継続されるとみている。
		その他専門店〔白衣・ユニフォーム〕（営業担当）	・飽くまでこのまま感染拡大しないことが前提だが、動き出すと今まで耐えていた反動で一気に景気が良くなる可能性もある。しかし、一過性で長続きもしないと予測している。いずれにしてもこれ以上の感染拡大はあってほしくないと願う。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	・例年並みの寒さもあり、灯油販売量の増加が見込まれる。
		高級レストラン（支配人）	・前年と比べ来客数の動きが出ており、予約状況も良くなっているため、3か月先も良い感じになると予想される。
	観光型ホテル（スタッフ）	・Go Toキャンペーンの再開が想定される。	
	観光型旅館（経営者）	・楽観視はできないが、新規感染者数の爆発的増加がなければ回復に向かうとみている。	
	観光型旅館（スタッフ）	・Go To Travelキャンペーンが再開するかどうかで決まるが、再開したとしても前回よりもメリハリをつけた内容になるようなので、前回のように毎日が満室という結果にはならないとみている。再開されない場合は、景気は悪くなるとみている。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		旅行代理店（従業員）	・県民向け割引施策の対象が隣県等への拡大や、対象期間の延長がプラス要因となっている。さらに、国策であるGo To Travelキャンペーンも控えている。これら施策が無事運用されることで今よりも良くなる。国内旅行部門はある程度期待は持てるが、海外旅行・訪日旅行は依然壊滅的な状況であるため、社業全般では引き続き厳しい状況が続く。
		タクシー運転手	・年末年始で人や物の動きがある。
		通信会社（営業担当）	・年度末に向けて、個人向けのメニューではなく、法人向けのメニューを作り展開する予定である。特にインターネットの法人向けは、少しずつではあるが、個人向けに比べて反応が良くなってきているので期待している。集合住宅への一括導入は、新生活応援キャンペーンの目玉として契約増加が見込まれる。
		通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスも落ち着き始め、消費量が増えていくとみている。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルス新変異株が増加傾向にあり、景気回復には時間を要する。
		一般小売店〔書籍〕（経営者）	・売上を押し上げる商材の見通しが立たないために、既刊本の仕掛け販売を予定している。しかし、反応があるという確信があるわけではないため、引き続き厳しい状況が続くとみている。
		一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・年末年始が終わっても、よほどのことがない限り今の状態が続くとみている。
		一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・コロナ禍の悪影響を考えれば、今の状況は様々な経済対策が奏功して維持されているとみられる。しかし、制度改革、全般的な社会変革を経て生産性の向上がもたらされない限り、安定した景気上昇局面は望み薄である。
		百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルス新変異株の感染拡大懸念がある。移動自粛や購買意欲への影響が想定される。
		百貨店（買付担当）	・新型コロナウイルス新変異株の動向による。今後増加するようであれば再び外出控えが増え、商況は厳しくなる。
		百貨店（経営者）	・ここに来て新型コロナウイルス新変異株が出たことにより、回復傾向にあった売上也頭打ちの感がある。今後の新規感染者数に大きく左右される。少々の風雪などの悪天候も外出自粛の要因ともなることから、一進一退の状況が続くとみている。
		スーパー（経営者）	・新型コロナウイルス新変異株の市中感染が始まり、少し落ち着いていた新型コロナウイルス新規感染者数が増加している。これが消費者心理を冷え込ませることにならないか懸念している。依然として飲食店、観光関係含めて景気の良い話は聞こえてこない。現在の余り良くない消費傾向はしばらく続くとみている。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルス新変異株が年明けに流行するかによって、販売量が左右されると考えている。
		スーパー（企画担当）	・今もまだ新型コロナウイルス新変異株の心配があるため、内食需要は続くとみている。2～3か月後もまだ様子見の状況にあり、食品小売業については春先まで今までどおりの好調を維持できるとみている。
		スーパー（営業担当）	・ワクチン接種が進み人流は回復傾向にあるが、購買は先行きの不安から慎重で、買上点数、客単価が戻らない傾向にある。
		コンビニ（経営者）	・ワクチンの効き目が短いようなので、客も動いては自粛して動いては自粛しての繰り返しになるとみている。よって、低い水準のまま横ばいが続き、3か月後も変わらないとみている。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が落ち着いたが、人の動きが良くない。新型コロナウイルス新変異株の感染者が今後増加しないか心配である。
		コンビニ（経営者）	・まだ雪の影響で来客数が落ち、除雪代の支払も終わっていない頃なので今と厳しさは変わらない。ただ、複数経営しているうち、ホテル下の店舗の売上が徐々に戻りつつあることには希望が持てる。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルス新変異株の発生で、今後の状況を見ながら行動を慎重にしている人が多い。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		コンビニ（エリア担当）	・ウクチンの3回目接種が進めば、より人の動きが活発になり、消費行動も変わってくるとみられる。しかし、現状からの見通しでは3か月先も景気は変わらない。
		コンビニ（店長）	・物価が非常に上がり始めていることへの一般消費者の不安がある。金がある人となない人がはっきりしているところでは良いとも悪いともいえない状況である。新型コロナウイルスの感染が落ち着いても消費に向かわない雰囲気が残っており、特に飲食店などは2～3月にかなり閉店するという雰囲気も感じられる。全体的に悪い意味で変わらない。
		コンビニ（店長）	・新型コロナウイルス新変異株の影響がどのように現れてくるのかが不安要素である。
		衣料品専門店（経営者）	・寒さも厳しいなか、灯油、ガソリン等の価格高騰もあり、商売的に難しそうである。
		衣料品専門店（経営者）	・第6波を懸念する声もあるが、人流は増加傾向で消費も今月の推移を維持すると予測する。
		衣料品専門店（店長）	・新型コロナウイルス新変異株も徐々に広がりを見せつつあるなか、今後も慎重な行動をとる消費者が多くなるとみている。
		衣料品専門店（総務担当）	・年末年始の人流による。今後の感染状況によっては、再度景気低迷の懸念がある。
		家電量販店（店長）	・原油価格の高止まりにより灯油やガソリンなどの価格が上がったままの状態であることや、新型コロナウイルス新変異株などの問題が客に不安を感じさせている。明るい材料はない。
		家電量販店（従業員）	・新型コロナウイルス感染症対策のため、来客数が伸び悩んでいる状況があり、当面は横ばいの状況が続くとみている。
		乗用車販売店（従業員）	・個人の消費がなかなか伸びないので、今後も景気は上向きにならないとみている。
		乗用車販売店（従業員）	・新車納期と部品用品の納期も改善されていないため、2～3か月先も大きな変化はないとみられる。
		住関連専門店（経営者）	・年度末にかけての受注残があり、それを生産し納品をするため、今月とほぼ変わらないような状況が続く。
		その他専門店〔酒〕（経営者）	・飲食店等が本格的に動き始めるのはまだ先になるとみている。このまま小康状態が続くのであれば、来年春以降に動き始めることを期待している。それでもコロナ禍前の70～80%程度までしか回復しないとみている。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	・原油価格の高止まりにより、当面は高い販売価格のまま推移する。それにより現状の節約志向はまだまだ続くこととみられることから、販売量の回復は見込めない。
		一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルス新変異株の影響による第6波が来るかどうか懸かっている。
		一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルス新変異株次第である。既に景気は底で今とさほど変化はないとみているが、感染者が千人単位で増える地域が再び出なければ歓送迎会も期待が持てる。どちらに転んでも新型コロナウイルスの治療薬が出ない限り、夜の飲食店は底辺から抜けられない。
		観光型ホテル（スタッフ）	・新型コロナウイルス新変異株の感染状況によるが、楽観はできない。
		旅行代理店（従業員）	・年末年始後の新型コロナウイルス感染症の状況に大きく左右されるが、新型コロナウイルス新変異株の市中感染が開始していることもあり、旅行を取りやめる動きも顕著になってきていることから、悪化傾向を想定している。
		通信会社（営業担当）	・年末年始の人の移動が増え、新規感染者数が右肩上がりになることが予想されるため、景気は現状のまま推移するとみている。
		通信会社（営業担当）	・好転するような材料に乏しく、停滞が継続するとみている。
		通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルス新変異株が発生し、先行きが不透明になっている。
		テーマパーク（職員）	・団体などの予約は若干あるが閑散期であるため変わらないとみている。若しくは感染状況次第で悪くなる可能性もある。
		美容室（経営者）	・今月の売上回復が続いていけばよいが、新型コロナウイルス新変異株の市中感染が出てきたため、客が次に美容室に来るまでの期間が長くなる可能性が残っており、何ともいえない状況である。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		美容室（経営者）	・今のまま人の活動が増えていけば、2～3か月後も良い状況が続くとみている。
		美容室（経営者）	・新規客は余り来ないので変わらない。
		住宅販売会社（経営者）	・一部資材に納入予定が立たない物があり、工期が確定できず、決算期に引渡し完了できるかが不明であり、工事代金回収期が未定となっている。
		商店街（代表者）	・消費が一時止まったような感じがあるが、予約状況からみて先行きはかなり悪くなるとみている。新型コロナウイルス新変異株の波及状況によりかなり変わってくるとみている。
		商店街（代表者）	・まだまだ自粛が続くそうである。
		商店街（代表者）	・現時点では好調な来客数だが新型コロナウイルス新変異株の影響が心配である。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルス新変異株が徐々に広がりを見せており、再度パンデミックの危険性が考えられる。
		一般小売店〔酒〕（経営者）	・今は大変良いが、この先新型コロナウイルスの影響でまた規制が掛かれば悪くなる。
		一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・年末年始の人の移動が終わる頃、新型コロナウイルス新変異株の市中感染が広がるとの不安を誰もがもっており、出歩く人が少なくなると予想している。繁華街でも以前の新型コロナウイルスの感染拡大時のときと同じように人が来なくなることを心配をしている。
		一般小売店〔酒〕（経営者）	・新型コロナウイルス新変異株が流行の兆しをみせ始めたことが、どこまで経済に影響を与えるのかが不透明なところではあるが、このまま上向きが続くとは考えづらい。
		一般小売店〔寝具〕（経営者）	・今後も新型コロナウイルスの影響があり、消費者の買い控えは続くともみている。
		スーパー（経営者）	・各メーカーより年明けから値上げの連絡が来ている。そのまま値上げすると客単価は下がるとみている。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの第6波が懸念される。再度、緊急事態宣言が発出される可能性もあるとみている。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの影響下で、今現在飲食店への客足が若干戻りつつある。その傾向が続き、スーパー業界全体に影響が出てきそうな気配がある。
		スーパー（営業担当）	・人流増加後、新規感染者数の増加状況次第では、再び緊縮財政になると心配している。
		高級レストラン（スタッフ）	・新型コロナウイルス新変異株、若しくは他の株の感染がまた必ず流行する。国民は自由に外出できず、購買活動がなされなくなる。
		一般レストラン（経営者）	・これまで外出を控えていた人が11～12月になり出てきたという状況だが、春くらいにはまた新型コロナウイルス新変異株などの影響が懸念され、今よりも落ちていくような予測をしている。
		一般レストラン（経営者）	・1月の新年会の予約が余りないので、今月よりはやや悪くなるとみている。コロナ禍前と比べたら来客数は5割くらいである。
		タクシー運転手	・街中での人の動きは良くなっているが、新型コロナウイルス新変異株の動きによってはまた冷え込んでしまうと心配している。
		タクシー運転手	・12月は年越しの準備のため動きが活発であるが、2～3月は今までの経験から、人事異動の時期前に当たるので動きが消極的になり、今月と比べると景気は下向きになるとみている。
		通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルス新変異株感染拡大の懸念とEU諸国での新型コロナウイルスの感染拡大により、経済の流通、留学生の人流にストップが掛かり、教育関連、観光関連、小売業への打撃が予想されるため、やや悪くなるとみている。
		観光名所（職員）	・テレビで新型コロナウイルスの感染拡大状況が報道されるにつれ、客が減ってくるというのが今までの傾向である。この先、新型コロナウイルス新変異株の感染状況がどう変化していくかで来客数も変わってくる。どちらに転ぶか分からず判断が難しい。Go Toキャンペーン等の対策を期待しながら待っているところである。国の対策が何かなければ伸びていく要素はないとみている。
		遊園地（経営者）	・新型コロナウイルス新変異株の動向やガソリン価格を含む物価上昇が懸念要因となり、景気は下降傾向になることが見込まれる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		競艇場（職員）	・毎年12～1月の売上が良く、以降は下がってしまう。イベント等で来場促進を図ってもなかなか結果が出ない状況が続くと予測している。
		その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・年末年始の販売増加、利益増加が期待できない。また、正月明けには再び行動自粛の懸念もあり、良くなるとは思えない。
		その他住宅〔リフォーム〕（従業員）	・住宅設備機器については、給湯器は納品遅れにより予約注文となる。納品の遅れは給湯器以外にも波及するするとみている。リフォームについては、屋外の工事が減るとみている。
		その他住宅〔住宅展示場運営会社〕（従業員）	・新型コロナウイルス新変異株の感染が拡大してきているため、元々購入を検討していた客の動きには影響はないが、半年後・1年後・数年後などに購入を検討している人の動きは鈍くなるとみている。
	×	スーパー（経営者）	・新型コロナウイルス新変異株による第6波が1～2月にかけて到来すると予想している。緊急事態宣言等の発出があれば更に景気は悪化するとみている。
	×	コンビニ（経営者）	・今月は近くで研修などがあつたため客足が戻つたが、これから天候が悪くなるにつれて客足は遠のくとみている。
	×	家電量販店（店長）	・米農家の収入減少の影響が続くとみている。
	×	高級レストラン（経営者）	・新型コロナウイルス新変異株が収束し、かつ飲み薬等でガードできるようになれば回復してくるとみているが、今は少し難しいとみている。
	×	設計事務所（経営者）	・震災復興に関する工事も終了し、新規発注案件も限られているなか、厳しいダンピングによる受注競争が始まっている。今後ますます悪化することが予想される。
企業 動向 関連 (東北)		建設業（従業員）	・年度末までに受注が見込まれている案件があるため、景気は上向くものと推測している。
		建設業（企画担当）	・新型コロナウイルス感染による被害が、これまでより少なくなっている。
		農林水産業（従業者）	・JA出荷分のりんごの精算について、JA職員が高い予想であると言っていたので、前年よりも販売単価が高くなることを期待している。
		食料品製造業（経営者）	・人の動きが活発化してきているのは売上の良い傾向である。来年2月には一部商品の値上げを実施する。収支の改善ができれば経営的には少し良くなる方向に向かう。
		出版・印刷・同関連産業（経営者）	・役所等の年度末の仕事が見込める。
		電気機械器具製造業（企画担当）	・今後は新規開発製品が増える見通しで、技術系設計者を増やして対応していく。徐々に事業が拡大し、景気が良い方向に向かうと考えられる。
		電気機械器具製造業（営業担当）	・例年、取引先は各業者に対し、年度発注予定案件を第3四半期末～第4四半期に集中して発注する傾向がある。あわせて、年度末での売上予定案件が多いため、やや良くなると想定している。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	・受注量回復の兆しがある。
		金融業（広報担当）	・新型コロナウイルス新変異株の影響が最小限である前提だが、海外の例を見ても人の流れや経済活動は当面停滞しないとみている。
		広告代理店（経営者）	・このまま新型コロナウイルスの感染が落ち着いてくれば良くなるとみている。政府の政策に大いに期待している。
		公認会計士	・新型コロナウイルスの感染が今の状況を保ち、新規感染者数が急激に増えなければ、サービス、飲食、小売業関係は回復基調を保つとみられる。建設業等は現状維持としても全体的には景気はやや良くなると判断している。
		その他企業〔協同組合〕（職員）	・依然として原材料等の価格急騰に対して価格転嫁がなかなかできないなかで、新規見積案件等が増加傾向にあり、徐々にではあるが改善傾向に向かっている。
		食料品製造業（営業担当）	・今後2～3か月では変化は少なく、販売量は現状維持が続くとみている。各種原材料費が値上がりしているため、利益面での心配が増えている。
	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・新型コロナウイルスによるダメージから、経済会全体に自重する動きが定着してきている。特に地方では、飲食店を始め観光業に回復の兆しが見られない。さらに、厳しい冬を迎え、消費が更に落ち込むことが予想される。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		金属製品製造業（経営者）	・足元の販売は好調なようだが、半導体不足や素材の高騰などの影響で、客が生産計画策定に慎重になっている。
		建設業（従業員）	・新型コロナウイルスの感染拡大による懸念はあるが、契約は前年並みになる見込みである。
		通信業（営業担当）	・新規設備投資は今後の受注に大きく影響するものであるが、コスト面で客との折り合いをつけるのも容易ではない。継続して厳しい状況である。
		通信業（営業担当）	・半導体不足の影響が長引いており、客から要望があっても商品がなく、提供できない状態が続いている。
		広告業協会（役員）	・新型コロナウイルス新変異株の今後の状況が不透明であるため、2～3か月先の販促計画は両にらみの状態にある。感染拡大ならば期待のGo Toキャンペーンも再開されず、企業の販促費は減少の方向になる。
		広告代理店（経営者）	・新型コロナウイルス新変異株の出現で、感染再拡大の懸念があり先が見えない。
		経営コンサルタント	・季節要因に左右されないコロナ禍での新たな消費の形が定着しつつある。
		司法書士	・景気の変動要因に欠け、現状で推移するとみている。
		その他非製造業〔飲食品卸売業〕（経営者）	・新型コロナウイルス新変異株が猛威をふるうことはないと考えている。新規感染者数が医療を圧迫しない程度に抑え込まれていれば、ビジネスや観光の人の移動は現状を維持できると考えている。
		食料品製造業（営業担当）	・国内で新型コロナウイルス新変異株の発生が相次いでおり、年明けには多少なりとも経済活動に影響を及ぼしそうである。
		窯業・土石製品製造業（役員）	・地域間格差はあるものの、大規模なプロジェクトがなく官需、民需共に低調である。原材料価格や燃料価格の高騰に加え、新型コロナウイルス新変異株の感染拡大も懸念材料である。
		輸送業（経営者）	・予想どおり新型コロナウイルス新変異株の感染が少しずつ拡大している。感染拡大はやはり大きなマイナス要因の1つになる。また、原油価格も一時期より安くなったとはいえ、我々業界からすればまだまだ高止まり状態であり、依然として厳しい経営環境である。
		コピーサービス業（従業員）	・半導体の品不足が解消するまでは、しばらく現在の厳しい状況が続くとみられる。営業のモチベーションも低くなっているが、メイン商品以外の商品でつないでいくしか解決方法はない。
		その他企業〔企画業〕（経営者）	・新型コロナウイルス新変異株への警戒感が顕著になっており、身の回りでも旅行を控える人が出ている。首都圏ナンバーの車を地方で走らせるのをちゅうちょする人も多いと聞く。
		×	農林水産業（従業者）
	×	その他非製造業〔飲食品卸売業〕（経営者）	・取引先だけではなく身の回りでもそうだが、中小企業に勤めている人が90%以上で、12月になっても会社が良くなれないという話を聞く。ボーナスなどもでないという声が非常に多い。購買力が落ちているのが現状で、非常に景気が良くないとみている。
雇用 関連 (東北)		人材派遣会社（社員）	・求人数が増加傾向にある。
		アウトソーシング企業（社員）	・新型コロナウイルスも落ち着きを見せているので、回復するのではないかとみている。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・新型コロナウイルス新変異株の警戒感はあるが、年末年始にかけての帰省などの旅行・レジャー、外食などの消費が伸びるとみている。
		職業安定所（職員）	・在職求職者数が若干増加している。この増加は、新型コロナウイルス感染症拡大が沈静化し、今後、求人数が増え雇用環境が改善するとみる人の転職活動によるものと考えられる。しかし、新型コロナウイルス新変異株が不安要素となる。
		民間職業紹介機関（職員）	・何社からか4月以降に人員数を増員する話がきている。
		人材派遣会社（社員）	・求人動きでは復調の兆しがみえているものの、新型コロナウイルス新変異株の懸念から今以上に良くなるとは思えない。様子見で今と変わらない状況が続くとみている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルスの感染が年末年始終息に向かえば、改善の見込みはあるかもしれない。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・新型コロナウイルス新変異株出現の影響が分からないが、広告の引き合いも活発ではない。多くの企業が先行きに迷いを持っているため、慎重になり積極的に動かないようである。
		職業安定所（職員）	・現状の良い状況は当面継続するとみている。
		学校〔専門学校〕	・新型コロナウイルス新変異株の影響が不明である。
		人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルス新変異株の懸念から、経済活動は下向きに推移し、景気の回復は遅れると予測している。
		職業安定所（職員）	・原油高、物流コスト高に加え、労働市場の停滞による採用コスト高と、収益を圧迫する要素が増えている。
	x	-	-

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連 (北関東)		*	*
		百貨店（店長）	・現行の新型コロナウイルス新規感染者数を維持できれば、緩やかに回復していくと考えている。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルス新変異株の増加に大きく左右される。このところの飲み薬の承認などをみると、来年には落ち着いて経済活動が活発になると期待している。物価上昇傾向が良い方に作用し、景気が上向くことを願っている。
		家電量販店（店長）	・子育て世代への給付金の配布により、やや良くなる。
		乗用車販売店（販売担当）	・緊急事態宣言が解除になったお陰で、修学旅行団体が来年2月くらいまで続くようで、ホテル関係者は喜んでいる。また感染拡大第6波が来るようなことがあれば別だが、このままある程度、新型コロナウイルスが落ち着いていければ、当店はホテル、ドライブイン、レストラン関係の顧客が多いので、来年2～3月までは明るい材料になる。
		その他飲食〔ファーストフード〕（経営者）	・全世界的に新型コロナウイルス新変異株が広がってきている。そのなかで、物資が入らなくなって、仕入や運搬価格が高騰しているため、景気は良くなるだろうが、その先はまた、消費が落ち込むとみている。
		その他飲食〔給食・レストラン〕（総務）	・新型コロナウイルスの感染状況やWithコロナの定着に伴うビジネスや生活スタイルの変化により、今後の動向は見通しにくい状況である。コスト増に伴う取引条件の見直しも聞き入れてくれるように変わってきている等、経営環境は好転する方向にある。
		通信会社（局長）	・周囲の飲食店、スーパー等の混雑状況をみると、上向き感がある。
		競輪場（職員）	・新型コロナウイルス新変異株の感染状況次第ではあるが、落ち着いた状況が続けば良くなる方向に進む。
		設計事務所（所長）	・新型コロナウイルスは、3回目のワクチン接種開始や治療薬が承認されることで、少しずつ通常の生活が始まるのではないかと。
		一般小売店〔精肉〕（経営者）	・当地は新型コロナウイルスの新規感染者が減らず、新変異株も影響してきている。皆、外出を控えることが多くなって、現状維持できれば良いのではないかと。
		百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルス新変異株の動向が懸念材料である。感染者数が今の低い水準で維持できれば、徐々にではあるが、消費マインドは改善される。
		百貨店（店長）	・新型コロナウイルス新変異株の影響がしばらく続く。
		スーパー（総務担当）	・新型コロナウイルス新変異株次第だと思いが、感染が抑えられるなら景気は良くなるが、年末年始で感染が拡大すれば、自粛ムードとなり悪くなる。
		スーパー（商品部担当）	・緊急事態宣言解除後も来客数、客単価共に変化はなかった。厳しい話も耳にするが、食料品への影響は少ないと感じている。
		コンビニ（経営者）	・近くにあるファミレスが業種を変えて葬儀屋になるほど景気が悪くなっているため、今後はもっと悪くなる。
		コンビニ（店長）	・店舗近隣の市役所移転から1年以上経過したが、人の流れの減少がいまだに止まらない。そろそろ横ばいになることを願っている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		衣料品専門店（統括）	・新型コロナウイルスの発生以来、約2年が過ぎている。新規感染者数は大分減ってきているが、安心できる状態ではない。今でも、商店街への人出は新型コロナウイルス発生以前と比べると大変少ない。
		衣料品専門店（販売担当）	・新型コロナウイルス新変異株に対する方向性や改善策のようなものがみえてくれば、若干また違うとは思いますが、残念ながら、慎重な人が多ければ多いほど、今後も外出を自粛する生活スタイルになってしまう。良くなる要素は何も見えてこない。
		乗用車販売店（経営者）	・当地域の自動車メーカーは通常生産の90%前後にまで戻りつつあり、もう一息である。ただし、半導体部品と東南アジア諸国の新型コロナウイルス禍での供給が順調に戻るかどうかは鍵である。新車販売の受注残はまだかなりある。
		乗用車販売店（従業員）	・納期遅延車両の対応が進んでいないなかで、受注残も増加していない。
		乗用車販売店（営業担当）	・周辺環境等を考えると、まだ良くはならない。
		自動車備品販売店（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、皆、萎縮している部分があるので、先のことは分からない。
		住関連専門店（店長）	・巣籠もりが常識化してきていて、原油価格高騰もあり、景気回復には時間が掛かるのではないかと。
		住関連専門店（仕入担当）	・天候の激しい変化や新型コロナウイルス新変異株の問題、商材価格の上昇等、ネガティブな要素が多過ぎて、とても消費拡大の期待感を持てる状況にはない。
		その他専門店〔靴小売業〕（経営者）	・第1に新型コロナウイルスの動向、第2に先行発注した商材の未入荷や遅延が多くなっていること、第3に降雪等の天候、これらを考えると、良くなるというより、このままの状況が続くそうである。
		一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	・社会情勢にもよるが、このままの流れが続くと予想している。
		一般レストラン（経営者）	・先のことが全く見えない毎日で予想もつかないが、良くなることはない。
		タクシー（経営者）	・夜の動きが悪いので、この先も良くないとみている。
		通信会社（経営者）	・原油価格高騰による原材料高と半導体不足による商材の未入荷で、売上が立たない。
		ゴルフ練習場（経営者）	・新型コロナウイルスの感染者数の波に敏感に反応し、左右されている。
		その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・特に落ち込みが止まって欲しいのは、板金塗装需要だが全国的にも各社同様の様子である。このままでは人員整理せざるを得ない。
		設計事務所（所長）	・回復の兆しが見えかけたが、新型コロナウイルス新変異株が流行し始めたため、先が見えない状態である。
		住宅販売会社（経営者）	・物流が戻らないと、販売や客の動きは新型コロナウイルス禍前には戻らないと予想する。
		その他住宅〔住宅管理・リフォーム〕（営業）	・今後の状況は新型コロナウイルス新変異株によるところが大きい。現場を見ずには成り立たない営業スタイルのため、現状よりも感染状況が悪化すれば、リフォームや修繕の依頼は滞ることになる。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルス新変異株の拡大に、不安が増してきている。
		コンビニ（経営者）	・年末年始が終わって買い控えが始まり、客単価が下がることと、新型コロナウイルスの影響で、また緊急事態宣言等が発出された場合のことを考えると、やや悪くなるのではないかと。
		家電量販店（営業担当）	・冬季北京オリンピック等のイベントはあるものの、動きは期待できない。
		一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルス新変異株の市中感染が報道され始め、また出足は鈍くなる。ワクチン・検査パッケージ等の新制度が定着できるか不透明で、まだまだ安心できない。
		都市型ホテル（支配人）	・新型コロナウイルス新変異株の感染状況次第だが、感染が広がると自粛の動きが強くなるため、やや悪くなる。
		都市型ホテル（スタッフ）	・レストランの来客数より個人消費に回復の兆しが見える。ただし、新型コロナウイルス新変異株の報道以降、宿泊や宴会場利用の予約にブレーキがかかっている。宴会場はキャンセルも出始めており、感染拡大第5波が始まる直前の状況に似ているため、非常に不安である。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		都市型ホテル（総支配人）	・1～2月は閑散月となるため、売上は落ちるとみている。特に、スポーツ団体等がほぼなくなり、個人客中心となるなかで、新型コロナウイルス感染拡大第6波への不安もあり、不透明な状況である。
		旅行代理店（経営者）	・真冬に向かって新型コロナウイルスの感染拡大が予想されるため、やや悪くなる。
		旅行代理店（所長）	・新型コロナウイルス新変異株による新規感染者数の増加が想定され、旅行予約の鈍化や既に入っている予約のキャンセル等が想定される。
		通信会社（社員）	・ニュースやインターネットの限定的な情報になるが、新型コロナウイルス新変異株の影響を受けるのではないかと。
		通信会社（営業担当）	・今後、新型コロナウイルスの影響が出てくることが予想される。外出制限がかかると、また景気が悪くなる可能性は大きい。
		通信会社（総務担当）	・2～3か月後、新型コロナウイルスの感染拡大第6波で外出自粛が予想されるため、やや悪くなる。
		テーマパーク（職員）	・新型コロナウイルス新変異株の市中感染等の報道を受け、今後、旅行などの外出控えが懸念される。回復し始めた旅行ツアーや時期変更の修学旅行等にも影響が出てくる。
		美容室（経営者）	・年の瀬や正月の活気が感じられないため、やや悪くなる。
		美容室（経営者）	・当社では折り合いがつかず、今年も政治献金はなしと決めている。
	×	一般小売店〔土産〕（経営者）	・今月は日本でも新型コロナウイルス新変異株が確認されるようになったが、これまでのように客足が極端に落ちるようなことはない。しかし、多くの専門家が感染拡大第6波を懸念しており、当店は感染者の増加に影響を受けやすい観光業のため、景気は悪くなる。
	×	家電量販店（店員）	・大きな経済対策がなければ、耐久消費財への家計支出は期待できない。
	×	観光型ホテル（経営者）	・1～2月は基本的に閑散期である。また、今後は新型コロナウイルス新変異株やその他感染症まん延の関係で、来客数は減ると考えている。新型コロナウイルスに関しては、飲み薬が承認されたが、対心的にも対症的にもその効果が出るのは、暖かくなる4月以降ではないかと。
	×	都市型ホテル（経営者）	・とにかく新型コロナウイルスが終息し、外でマスクが不要とならないと、ホテル業界や宴会、結婚式、レストラン等の外食産業、特に、10人以上の大人数対応店舗には厳しい状況である。
	×	通信会社（経営者）	・新型コロナウイルス新変異株がまたぶり返してきている。年末年始の後は間違いなく感染再拡大するだろう。同じことの繰り返しはいつまで続くのか。
企業 動向 関連 (北関東)		-	-
		広告代理店（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染状況次第だが、外食や旅行等を計画している人が増えている。
		経営コンサルタント	・再び、少しずつ聞かれるようになった新型コロナウイルス新規感染者数の動向にもよるが、ある程度の広がりがあったとしても、個人や企業の経済活動は今のまま続き、先行きの不透明感は薄れると思われる。
		社会保険労務士	・しばらくは回復傾向となるだろうが、物価が上がってきているので、消費者は一通りお金を使ったら慎重になりそうな気がしている。
		その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	・客の経営マインドに変化が出てきており、年明けには情報化投資が更に動くとみている。
		化学工業（経営者）	・取引先に価格転嫁すれば投資意欲は落ちることが予想され、やや悪くなる状況は変わらない。
		窯業・土石製品製造業（総務担当）	・例年以上の契約、売上となっている。
		金属製品製造業（経営者）	・受注量は新型コロナウイルス禍以前の7割止まりだが、前年度は6割だったので、多少はましである。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	・8～11月とやや良くなっていたが、12月は若干落ちていく。これから2～3か月先の景気は全く分からない。
		その他製造業〔消防用品〕（営業担当）	・しばらくはまだ、新型コロナウイルスの影響がある。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
×		輸送業（営業担当）	・新型コロナウイルス新変異株等の今後の動向に心配もあるが、白物家電、テレビ、洗濯機等の新生活用品は例年並みの物量を確保できそうである。レジャー用品等は新型コロナウイルスの状況次第で物量がかわるが、燃料高も続きそうなので、コスト負担など、しばらく厳しくなりそうである。
		不動産業（経営者）	・新型コロナウイルスの影響も減少傾向だが、再び新変異株の影響を懸念している声を聞くと、経済の回復は難しい。
		不動産業（管理担当）	・燃料価格等の高止まりによる利益減少の懸念はあるが、今のところ取引量の減少はなさそうなので、横ばいではないか。
		一般機械器具製造業（経営者）	・量産型の自動車で急激な減産計画が明らかになり、戸惑っている。また、中国向けの建設機械需要は、年明けから落ちるとの情報がある。他の仕事では埋めきれない。
		電気機械器具製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大第6波が来ると、買い控えや収入減等により、また物が売れなくなるので、設備から何から駄目になるという感じではないか。新型コロナウイルスの影響で、世界的にロックダウンすると、部品も再び日本に入ってくる。
		建設業（総務担当）	・工事の発注ベースが本当に遅い。
		建設業（開発担当）	・公共工事は前年比86%と厳しく、当社受注も前期比10%減だが、企業努力をして何とか運営していかなければならない。ただし、それ以上の問題は、高齢化している建設業に若い力が集まらなくなってきていることである。魅力ある業種にならなければ将来性はない。一企業でできることではないので、業界全体での努力が必要である。
雇用関連		-	-
(北関東)		人材派遣会社（管理担当）	・自動車部品の生産調整が終わり、増産になる。
		学校〔専門学校〕（副校長）	・新型コロナウイルス新変異株の影響にもよるが、治療薬や飲み薬、ワクチンのブースター接種が加速しそうな方向に向いているため、経済活動は継続的に好循環になっていく。
		人材派遣会社（社員）	・このまま宿泊施設関係の稼働率が上がって、観光客の入込数もどんどん多くなってくると、景気は回復してくると思うが、新型コロナウイルス新変異株の動向がどうなるのかちょっと分からないので、不透明である。
		人材派遣会社（社員）	・求人依頼数は増えているが、オフィス系の職種でさえ人手不足で供給が追いつかない。この傾向は変わらずに、まだしばらく続く。
		職業安定所（職員）	・半導体不足及び物流、部品の価格高騰の影響等はしばらく続く。
		職業安定所（職員）	・事業所からは、今後の新型コロナウイルスの感染状況を心配して、非正規の募集で様子見をする傾向がある。
		人材派遣会社（経営者）	・気候変動と思われる豪雪地帯での降雪の状態や、寒さが一段と厳しくなっているなかで、衣料品はそれなりに良い伸びを示すのではないかと。ただし、石油価格がどれだけ上下するのかわからない。新型コロナウイルス新変異株の影響も不安材料としてあるので、こうしたことから動きが鈍っていく。
×		*	*

4. 南関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連		一般小売店〔生花〕（店員）	・3か月後にはお彼岸と卒業式があるので今年こそはと期待している。今月よりは良くなるのではないかと（東京都）。
		その他専門店〔雑貨〕（営業担当）	・12月は前年比90%増と好調に推移している。時短要請が完全に解除され、年末本来の人の動きに戻っている。新型コロナウイルス新変異株により感染者数が再び増加傾向に転じているが、3回目のワクチン接種の前倒しや事業所の感染対策等により、人流は更に回復していく（東京都）。
		高級レストラン（役員）	・新型コロナウイルス新変異株の市中感染が徐々に増えてはいるが、年末年始の人員移動時を過ぎ、感染急拡大までは抑えられている。このまま拡大せずにいけば、春はイベント機会や案件も多いシーズンのため、徐々に日常への戻りが期待できる（東京都）。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他飲食〔給食・レストラン〕（役員）	・新型コロナウイルス減退の傾向はこれからも続く。新型コロナウイルスへの対応も落ち着いていることから、引き締めてきた企業体質をてこに利益も改善し、景気が良くなっていくものと予測している（東京都）。
		旅行代理店（従業員）	・Go To Travelキャンペーンが再開される前提での回答だが、新型コロナウイルス新変異株がまん延した場合は一気に下降する（東京都）。
		その他住宅〔住宅資材〕（営業）	・物価が高騰しているなかにあっても建材の動きを止めるわけにはいかず、物件は発生するので、価格転嫁を加味して現場をこなすしかない状況となっている（東京都）。
		一般小売店〔傘〕（店長）	・記念品関係の受注が伸びているため、上向くことを期待している。
		百貨店（売場主任）	・新型コロナウイルス新変異株の影響で感染第6波が来ることがあれば状況はまた悪化すると考えられるが、現状維持で推移すれば、今年の年始にできなかった消費行動も活発になると期待したい（東京都）。
		百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルス新変異株の感染拡大次第である。これからバレンタイン需要を控えるなか、足元は好調だが、一足飛びに大きく改善はしないものと予測している（東京都）。
		百貨店（販売促進担当）	・新型コロナウイルス新変異株による今後の影響が気になるものの、感染者数が落ち着いている状況が続けば回復傾向になる。年末年始の帰省や今後予定されるGo To Travelキャンペーンの再開による外出機会の増加が消費喚起につながることで、今月よりは回復する。一方、新型コロナウイルス発生前の状況にはいまだに遠く、しばらくはその水準まで戻らない。
		百貨店（販売促進担当）	・来客数が維持されていけば、不況に伴い在庫の僅少な現在の冬セール商戦よりも、需給均衡が見込める春の新生活商戦の方が売上拡大につながる（東京都）。
		百貨店（財務担当）	・新型コロナウイルス新変異株の感染状況にもよるが、感染者数が抑えられ、重症化率が低位であれば、今後も改善していくと想定している（東京都）。
		百貨店（企画宣伝担当）	・リベンジ消費が尻上がりになってくるものと期待している。
		スーパー（経営者）	・新型コロナウイルス新変異株により、また多少巣籠りになるとみている。食品スーパーマーケットなので、今までやや悪かったが、回復傾向にあるように感じる。
		スーパー（店長）	・ここにきて新型コロナウイルス新変異株が出てきており、年明けにまた感染第6波が来るのではないかと予測している。それにより、1月か2月かは分からないが、また緊急事態宣言の再発出のようなことがあるのではないかと見越しての回答である。できればそういうことがないのが一番だが、現状から考えるとそう推測される（東京都）。
		スーパー（総務担当）	・人に会ったり出かけたりするようになってきており、Go To Travelキャンペーンを楽しみにしているとの声も多く聞かれる。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルス新変異株にもよるが、これが広がらなければ少しずつ普通の生活を取り戻していったら、我々の商売も良くなっていく。人が動けば、やはりコンビニやショッピングセンターには客が来るので、良くなっていくのではないかと期待している。
		衣料品専門店（店長）	・社内におけるECビジネスシステム投資を既にも実施し、10月以降の業績回復に貢献していること、今後の柱である着物事業と他事業のシステム統合により事業の連動が見込まれることから判断している。ただし、新型コロナウイルス新変異株により緊急事態宣言が再発出されないことが前提である（東京都）。
		衣料品専門店（役員）	・客の話等から、新型コロナウイルス感染者数が抑えられればという条件付だが、外食や旅行への欲求を感じる。
		乗用車販売店（総務担当）	・需要月を迎え、現状よりは活発化するが、新型コロナウイルス、半導体不足で先行きは不透明である。
		乗用車販売店（渉外担当）	・自動車の生産が正常化すれば販売量も回復する。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（団体役員）	・新型コロナウイルスと原油価格、Go To Travelキャンペーン実施など次第だが、状況が落ち着いてくれば外出の機会も増えてきて、燃料や洗車などの需要も増加する（東京都）。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの感染者数にもよるが、テイクアウト等の増加を含めて、回復を望める気配がある（東京都）。
		一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルス新変異株によっても左右されるが、現状では感染者数がそこまで増えていない。景気が良くなるかという点、新型コロナウイルスのダメージはまだ大きく、なかなか回復しないような気がする。
		一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスと共に客の価値観も変化している。日本もインフレになっていくと思うので、新たな価値を見出せたところだけが良くなっていく（東京都）。
		都市型ホテル（スタッフ）	・全てはGo To Travelキャンペーンの再開次第といえる。再開すれば高稼働率になることは間違いない。
		旅行代理店（販売促進担当）	・2～3か月先は、国内旅行については、再開が予定されているGo To Travelキャンペーンに対する期待が非常に大きい。予約をしないでキャンペーンを待っている客も多々いるので、再開となったら一気に国内個人客、団体客が動くともみている（東京都）。
		旅行代理店（営業担当）	・国内では新型コロナウイルスの3回目のワクチン接種が開始され、感染者数及び重症患者数が時間の経過に伴い徐々に減少していくことが示唆されている。2～3か月後には経済の回復が見込まれ、旅行需要の増加も大いに期待できる。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルス新変異株が拡大し始めているが、新薬開発が騒がれているので、近い将来新型コロナウイルス禍も落ち着いてきて、経済も動き出し、景気も多少良くなる（東京都）。
		通信会社（経営者）	・新型コロナウイルスの影響が収まり、人出が多くなる（東京都）。
		通信会社（局長）	・新型コロナウイルス新変異株の懸念はあるものの、今までどおりの対策を行っていけば、販売量は一定の割合で伸長するものとみている（東京都）。
		通信会社（経営企画担当）	・現状が続けば、引き続き増加傾向に感じられるが、新型コロナウイルス新変異株の状況によっては、一変する可能性もあり、不安要素はある（東京都）。
		通信会社（営業担当）	・以前より人の動きが活発になり、当社としては対面での営業もできるので、今よりは景気が良くなる（東京都）。
		通信会社（総務担当）	・新型コロナウイルス感染者数減少が継続することによるマインド転換から、訪問営業機会等の回復傾向が続くことを期待している（東京都）。
		通信会社（管理担当）	・新型コロナウイルスが落ち着くことを踏まえた予測である（東京都）。
		通信会社（局長）	・土地建物も含め、物価が上昇してきている。
		その他レジャー施設 [総合]（広報担当）	・新型コロナウイルスの感染状況次第だが、催事の開催予約は堅調に推移している（東京都）。
		その他レジャー施設 [複合文化施設]（財務担当）	・新型コロナウイルス感染第6波が抑え込まれ、内服薬も開発され、収束に向かう期待がある（東京都）。
		その他サービス[福祉 輸送]（経営者）	・新型コロナウイルスの感染者数が月末に向けて若干増えているが、今の感染状況からさほど拡大しなければ、消費は少し上向く（東京都）。
		住宅販売会社（従業員）	・こどもみらい住宅支援事業の創設や、今月発表された税制改正大綱により住宅ローン控除の内容がある程度予想されたことで、具体的な商談ができるようになった。例年、年度末に向かい客の動きが増えるため、今後2～3か月先は今よりやや良くなる。
		住宅販売会社（従業員）	・住宅ローン減税の再開に期待が持てる。
		商店街（代表者）	・人通りから考えると、現状は大分良くなってきており、正月の人出もかなり多いと感じている。ただし、買物動向や店の状況を考えると、3か月先は新型コロナウイルス新変異株の関係もあり、期待できない。
		一般小売店[和菓子] （経営者）	・年末年始にかけて新型コロナウイルス新変異株による感染者数が徐々に増えてきているため、これから感染拡大や緊急事態宣言の再発出などにつながるのではないかと懸念している。
		一般小売店[家電] （経理担当）	・新型コロナウイルスの感染状況もどうなるか分からないし、困ったものである。太陽光パネルの点検キャンペーンを行う予定である。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		一般小売店〔祭用品〕 (経営者)	・新年会等の行事も軒並み中止となっており、すぐに良くなると思えない。
		一般小売店〔米穀〕 (経営者)	・まだ新型コロナウイルス禍の不安から経済の動きが元どおりにならず、取引先の販売量の動きも回復しない。全体的に方向性がまだ見えていない(東京都)。
		一般小売店〔酒類〕 (経営者)	・年末ということで需要が伸びていると感じているが、客の業種によって良いところと悪いところと、かなり開きがあるように感じる。
		一般小売店〔眼鏡〕 (経営者)	・1月上旬から2月にかけて、新型コロナウイルスの新規感染者数が、東京都で1000人を超えるという報道があった。そうなれば、また緊急事態宣言が発出されるのではないかと危機感を覚えている。今までの分科会の予想は当たっているので、気を引き締めて感染予防をしなければいけない。
		一般小売店〔文具〕 (販売企画担当)	・全くないわけではないが、今のところ大きな案件もなく、さほど変わらない。店頭の来客数も安定してきている。ただし、新型コロナウイルス新変異株等が増えていることなど若干不安要素もあり、どちらともいえない現状である。
		一般小売店〔書店〕 (営業担当)	・新型コロナウイルスの影響があるなかでも、引き続き年度末から新年度にかけての受注が続く見込みである(東京都)。
		百貨店(総務担当)	・新型コロナウイルスの感染拡大次第だが、ある程度現状のような感染者数を継続できれば、消費の動きが期待できる。
		百貨店(総務担当)	・今後の景気の先行きについては、引き続き新型コロナウイルスの感染状況次第であることに変わりはないが、不透明な状況が続いており、予測は難しい。また、新たな生活様式が定着し、以前の基準とは違う形での判断が求められるとも感じている(東京都)。
		百貨店(総務担当)	・新型コロナウイルス感染者数は減少しているが、完全に収束するにはまだ時間が掛かる。それに加え、新型コロナウイルス新変異株の市中感染も始まっており、消費者は当面感染対策を意識しながらの生活となる。給与所得も当面大幅改善は見込めないため、景気の改善は余り期待できない(東京都)。
		百貨店(広報担当)	・現状より悪化する材料は見当たらず、回復基調にあることには変わらないが、急増している新型コロナウイルス新変異株の感染爆発リスクなどは依然として残っており、不透明な要素が大きいため、急激な回復は見込めない(東京都)。
		百貨店(営業担当)	・現在、国内で新型コロナウイルス新変異株の市中感染が始まっており、大きな不安材料である。また、材料費や物流コストの上昇により商品価格が徐々に上昇しており、景気回復の足かせとならないか懸念している(東京都)。
		百貨店(営業担当)	・現在の前年度比120%程度の流れのまま、年度末までは推移するのではないかと推測している。新型コロナウイルスの影響により、インパウンドがない状況でどこまで行けるかについては限界があるともいえるが、ある一定の時期までは現状のまま変わらない(東京都)。
		百貨店(販売促進担当)	・新型コロナウイルス新変異株の出現により感染第6波が懸念されるなか、先行き不透明感が増している(東京都)。
		百貨店(販売促進担当)	・3回目のワクチン接種もあり、旅行需要などでトラベル関係が続くと思われるが、百貨店では、リベンジ消費も一段落しており、現況からの伸長はないと予測している(東京都)。
		百貨店(経営企画担当)	・現状が続くと期待しているものの、新型コロナウイルス新変異株による感染拡大で、消費行動にブレーキが掛かることが最大の懸念である。過剰な報道等、消費者への注意喚起によって外出を控えるようになると、一転して景気が悪化するというリスクを抱えながらの状況が続く(東京都)。
		百貨店(店長)	・新型コロナウイルス新変異株による感染再拡大が懸念されているが、重症患者が少ないことや、経口治療薬の承認、3回目のワクチン接種もスタートしており、予測ができない状況であることから、期待を込めて変わらないと回答する。
		スーパー(販売担当)	・客の様子を見ると、ポイント何倍の日やタイムサービス、広告初日の目玉商品、安価な商品などをうまく利用して買い回っており、店が仕掛ける価値のある高単価商品をなかなか買ってもらえない状況が続いている(東京都)。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		スーパー（経営者）	・ちょうど3か月前から売上が悪くなってきており、その状態がずっと続いているので、今後も同じような状態が続くのではないが。新型コロナウイルスが大分落ち着いてきて、客が外出して買い回るようになり、物の値上げが相次いでいる影響で、買上点数が伸びなくなっている。節約志向になっていることと、今まで新型コロナウイルスの影響でいるいるなところが痛めつけられているので、その影響もあるのではないが。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルス禍等の外的要因で変化する可能性はあるものの、現状のままであれば、大きく変わることはない。
		スーパー（総務担当）	・現状のまま推移するとすれば、日常的な頻度性の物、また日常的な外出要素の物に関しては、力強さが感じられない。ただし、新型コロナウイルスが収束していけば、外出、おしゃべり、ちょっと良い物をとということで、人の動きがみられるように感じられる。これも感染状況により、また緊急事態宣言等が発出されるようなことがあれば、売上動向が非常に厳しくなる。
		スーパー（営業担当）	・今後の新型コロナウイルスの感染状況により内食化傾向が進むのか後退するのか、それによって売上が相当大きく変わってくる（東京都）。
		スーパー（販売担当）	・当市の子育て世帯への10万円一括支給は、一部では効果が期待できるが、物価の上昇、ボーナスの抑制又は支給ゼロ等、先行き不透明な部分が多く、消費ではなく貯蓄に回る割合が多いと予想される。
		コンビニ（経営者）	・年末商戦が終わって春先になると来客数が多少増える。
		コンビニ（経営者）	・人手不足による厳しさは増すものの、売上等の変化はなく、大きな景気の変動は感じられない。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの影響はまだ終わりが見えないので、不安感は続く。
		コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルス感染者数が減っても客の戻りが悪いことと、物価高に伴う価格上昇感があり、販売の伸びが余り期待できない（東京都）。
		コンビニ（商品開発担当）	・新型コロナウイルス新変異株の市中感染の影響が間違いなく出てくる（東京都）。
		コンビニ（従業員）	・自粛生活から解放され、消費活動が増えた感じはあるものの、コンビニは生活に必要な存在として自粛中も利用されていた。そのため、2～3か月後の将来の動きとしても、大きな売上のアップなどは見込めない。
		衣料品専門店（経営者）	・給与が上がらないまま、商品を値上げしている。良くなるかは新型コロナウイルスの感染状況次第である。
		衣料品専門店（経営者）	・一部の業種、業態ではやや上向いているが、一般的にはまだまだ厳しい状態が続いている。年末年始にかけてこれから新型コロナウイルスがどうなるのか、先行きにはまだまだ未知数の部分が多いので、注視していきたい。イベントがもう少し緩和されて人の流れが良くなると良いのだが、諸刃の剣である。
		衣料品専門店（店長）	・緊急事態宣言の解除後、業績は改善してきているが、新型コロナウイルス新変異株が発生してきてから、Go To Travelキャンペーンの再開が不透明になってきている。
		家電量販店（店員）	・新型コロナウイルスの影響により、客の購買意欲が特に強かった前年と比べると物足りないが、極端に悪い状況ではない。
		家電量販店（経営企画担当）	・日本の新型コロナウイルスに対する水際対策は有効だと考えている。新型コロナウイルス新変異株の市中感染も報告されるなかで、国民の慎重姿勢が大きく変わる状況となれば大きく改善する可能性もあるが、緊急事態宣言解除後の推移を考えると、大きくは変わらない（東京都）。
		乗用車販売店（経営者）	・自動車の整備は順調に入っているが、販売が余り芳しくない。10月からの3か月は5割減少している。
		乗用車販売店（経営者）	・新車の納入が早まらないと、売上が元に戻らない。
		乗用車販売店（営業担当）	・販売量が変わらずとも、半導体不足や生産の問題で納められないので、現金化できない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		乗用車販売店（販売担当）	・半導体の不足や、新型コロナウイルスの影響で展示会ができない。サービス面では、新型コロナウイルスの影響で走行距離が伸び悩んでおり、車検プラスアルファの一般修理が入っていない。そうしたことから全体的な売上が落ちてきており、まだまだここ数か月間で景気が良くなるとは判断できない（東京都）。
		乗用車販売店（店長代行）	・新型コロナウイルスが収束し、部品や半導体の供給が元に戻るまでは低調が続く（東京都）。
		住関連専門店（営業担当）	・リフォーム業界においては、サプライチェーンの混乱から、多くのカテゴリで商品供給難が生じている。景気自体の動向以前に、品物がなく売上が立たない状況を懸念している（東京都）。
		その他専門店〔ドラッグストア〕（経営者）	・新型コロナウイルス新変異株の感染状況は、人出の増減に関わるので、とても気になる。
		その他専門店〔ドラッグストア〕（経営者）	・周りを見ても、どうも景気が良くなりそうな気配がしないし、今現在も良くない。このまま正月が終わってしまうと、年始からの様子を考えても、どうも景気が良くないような感じがしている。
		その他専門店〔貴金属〕（統括）	・新型コロナウイルスの感染状況は先行き不安な要素もあるが、すぐに販売量に影響が出てくるとは考えにくい（東京都）。
		高級レストラン（仕入担当）	・現状はかなり回復してきているが、新型コロナウイルス発生前に戻るにはまだしばらく時間が掛かる。いずれにしろ新型コロナウイルスの感染状況に大きく左右されることには変わりがない（東京都）。
		一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルス新変異株の流行、数年に一度の大寒気、多くの分野での値上げなどで財布のひもが固くなっているため、少なくとも現状より良くなることは考えにくい。
		一般レストラン（スタッフ）	・特別な動きがなく、変動はない。
		その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・年末年始で財布のひもが緩むとは思いますが、年明けはその反動があるため、トータルでは変わらない（東京都）。
		その他飲食〔カフェ〕（経営者）	・新型コロナウイルス新変異株が出てきて、どうなるかわからない状況なので、現状が続くと考えられる。新型コロナウイルス発生前に戻るのはまだまだ先ではないか（東京都）。
		都市型ホテル（スタッフ）	・変わらないというよりは、新型コロナウイルス新変異株の感染状況によっては、上にも下にも振れるという意味合いである。
		旅行代理店（営業担当）	・今の状態から好転しない限り、需要が伸びない。また、Go To Travelキャンペーンが再開されないと、申込みも増えない（東京都）。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルスの影響が大きく、まだまだ油断できない。客の動きもまだ慎重で、今のところ先が読めず、非常にやきもきしている。年末年始に向けて更に加速しており不安である。
		タクシー運転手	・徐々に利用が戻ってきている。夜に店をのぞくと客入りも良く、盛り上がっている。ただし、徐々に酒を飲んで深酔いした客が目立つ。マスクをしない、大声で話しかける、下手に注意をすると激高する客がいる。しかし、以前より確実に利用は増えている。
		タクシー運転手	・感染力が非常に強いという新型コロナウイルス新変異株が国内で広がり、感染者数が増加した場合、また人の流れがなくなり、悪くなる。ただし、今のままの感染者数で推移していけば、徐々に良くなっていく（東京都）。
		タクシー運転手	・以前から12月はタクシーの利用者が多い時期である。しかし、2～3か月先の動きははっきり読めない。新型コロナウイルス新変異株の感染動向はやや心配である。車や人の動きが新型コロナウイルスに対して何となく緩んだ感じがあるので、前のようにまん延しなければ良いのだがと心配している（東京都）。
		通信会社（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況は落ち着いているものの、新型コロナウイルス新変異株の市中感染が進み、感染第6波の心配が出始めている。様々な制限が緩和されてきているため、客の行動は慎重に回復傾向にあると考えるが、早急な回復は難しい（東京都）。
		通信会社（経営者）	・半導体不足の影響により先行きが見通せない（東京都）。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		通信会社（社員）	・イベント事業の復活もあり、明るい兆しがあるが、規模を縮小したり、慎重な進め方をしたりして、拡大を期待できる雰囲気はない（東京都）。
		通信会社（社員）	・起爆剤がないため、契約数が増えることはない（東京都）。
		通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染再拡大によって、個人消費は再度落ち込んでいく可能性が高い。
		通信会社（営業担当）	・緊急事態宣言の解除以降、契約数に回復の兆しは見えていないものの、転入居数に伴う人の動きは、まだ完全には新型コロナウイルス発生前の状況に戻らない。
		通信会社（管理担当）	・年末年始の帰省について首相がアラートを発出したことから、いまだ改善の見込みが立っていない現実を突きつけられている。新型コロナウイルス新変異株の話題さえなければ、全く変わっていたと思われる。
		通信会社（営業担当）	・良くなると思える材料がない。
		通信会社（経理担当）	・新規契約が増えにくいため、今契約中の客を大切に、解約されないよう努力して、売上を維持していく。
		観光名所（職員）	・客足は戻りつつあるが、収益はまだ戻っていない。今後、新型コロナウイルス発生前の収益を確保することは困難だと感じている（東京都）。
		ゴルフ場（経営者）	・もともと夏季と冬季は来場者数が減少する傾向にあるが、今期は寒さが厳しい予想が出ているため、一層厳しくなる気がする。
		パチンコ店（経営者）	・新型コロナウイルス感染第6波の拡大状況によって先行きは左右される。現時点では良くなるか悪くなるかコメントのしようがない。
		競輪場（職員）	・新型コロナウイルス新変異株等の話題を聞き限り、世界的にまだまだ人の動きは生まれにくいし、たとえ国内で流行をうまく抑えられたとしても、自制、抑制する気運は変わらない。
		その他レジャー施設 [ボウリング場]（支配人）	・新型コロナウイルス新変異株の感染動向次第であり、不安材料は消えない（東京都）。
		その他サービス[立体 駐車場]（経営者）	・新型コロナウイルスが落ち着くまで悪いままではないか。
		その他サービス[保険 代理店]（経営者）	・新型コロナウイルスの影響がはっきりしておらず、表面上は消費が上向きかけているが、購買行動までは達していない。今後も新型コロナウイルスの感染状況次第で景気に変化していく。
		設計事務所（経営者）	・今ある物件が進んでいだけなので、景気が良くなるとは思えない。
		住宅販売会社（経営者）	・新型コロナウイルスが収束しない限り、景気は良くならない。早く3回目のワクチン接種が進展することと、治療薬が普及することを期待している。
		住宅販売会社（従業員）	・受注高、売上共に大きな変動はなく推移している。
		商店街（代表者）	・年末年始の人の移動が、間違いなく新型コロナウイルス新変異株を拡散させ、次の感染の波を作ってしまう。また、3回目のワクチン接種が予想以上に遅く、経済に与える影響を心配している。1月後半からの感染第6波が直撃するようだと、前年の二の舞になりそうな気がしてならない（東京都）。
		一般小売店[家電] （経理担当）	・今は、商品を手にとって見るというより、インターネットでいろいろ調べてから購入するので、インターネットの売上が伸びているのだと思われる。これからは広告の出し方も変えていかないといけない。
		一般小売店[文房具] （経営者）	・新型コロナウイルスの感染者数が秋以降減少傾向であったが、12月になって新型コロナウイルス新変異株が都内でも増加傾向となり、年明け以降は外出を控える傾向になりそうである。そうなると来街者も減り、来客数が落ち込み、再び景気の低迷に陥りそうである（東京都）。
		一般小売店[茶]（営業担当）	・せっかく少し取引回復の兆しが見えてきたのに、ここにきてまた新型コロナウイルス新変異株の話が出てきたので、これから先の状況はまだまだ予断を許さない（東京都）。
		百貨店（販売促進担当）	・新型コロナウイルス新変異株の影響が出てくる（東京都）。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		百貨店（店長）	・新型コロナウイルスの感染第6波の影響に対する懸念がある（東京都）。
		百貨店（管理担当）	・新型コロナウイルス新変異株の感染が広がってきている。不安感が徐々に出てきており、消費動向に影響が出てくる（東京都）。
		スーパー（仕入担当）	・新型コロナウイルス新変異株の動向次第であり、感染者数が増えた場合は、消費は大きく落ち込む。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルス再流行の懸念がある（東京都）。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの影響などで仕事がないこと等も関係があるのか、客に暮れや正月というイメージが全くないの で、先行きも良くならないのではないか。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルス新変異株の感染拡大を脅威に感じており、再度緊急事態宣言が発出され、業績が更に悪化する可能性は高い。
		衣料品専門店（従業員）	・まだ新型コロナウイルス新変異株の収束にめどが立っていないため、それほど変わらないか、又はやや悪くなるのではないか。
		家電量販店（店長）	・新型コロナウイルスの広がりが報道されている点と、商材の入荷が滞っている点から、更なる悪化が懸念される（東京都）。
		家電量販店（従業員）	・新型コロナウイルスの感染状況次第だが、現状が続けば景気は良くなる。
		住関連専門店（統括）	・新型コロナウイルス禍が続くなか、まだまだ成約件数の伸び悩みは続く。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・新型コロナウイルスへの再感染のニュースを目にすることが多く、今後は警戒感が高まり、動きが鈍化するのではないか（東京都）。
		その他小売〔生鮮魚介卸売〕（営業）	・新型コロナウイルス新変異株の今後の影響が不安である（東京都）。
		高級レストラン（営業担当）	・新型コロナウイルス新変異株の市中感染が広がっており、年末年始の人の移動による感染拡大を危惧している。客の予約も非常に慎重になっている（東京都）。
		一般レストラン（経営者）	・12月は黙っていても売上が伸びる時期なので良いが、2～3か月先の1～2月が一番暇な時期で、客入りが悪くなるので、今よりもずっと売上が減る。ケータリングが入らなければ、売上は前年比10%程度、総売上で30%程度マイナスになる。
		一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルス新変異株の感染者数が少しずつ増えている。これから加速度的に増えて、感染第6波が来るのではないかと心配である。同じ考えの客も大勢いると思われる（東京都）。
		一般レストラン（経営者）	・前々年比では25%ほど落ちている。前年比では4割ほどアップしているが、やはり宴会需要が少ない分、まだまだ厳しい状況が続く。また、新型コロナウイルス新変異株の感染状況次第で、来客数が今ほど伸びなくなるような気がする（東京都）。
		都市型ホテル（経営者）	・新型コロナウイルス新変異株の市中感染等の情報がマスコミから連日過大に報道されている影響が、恐らく正月明け辺りから出始めるのではないか。感染者数の増加などによってまた逆戻りとなり、ホテル業界は大きな影響を受けるのではないかと非常に危惧している。政府の早めの様々な対策、経済の復興を優先させるような形でGo To Travelキャンペーン等の話が出ているので、それは新型コロナウイルス新変異株にかかわらず進めてもらいたいと切望している。
		旅行代理店（経営者）	・新型コロナウイルスの影響に加え、また新型コロナウイルス新変異株の市中感染が広がっているようなので、これから先は余り期待できない。
		旅行代理店（従業員）	・新型コロナウイルス新変異株の感染拡大が報道され始め、申込みが途絶え始めている（東京都）。
		タクシー（経営者）	・新型コロナウイルス新変異株の影響が出てくる。
		タクシー（団体役員）	・新型コロナウイルス新変異株の感染状況次第である。
		ゴルフ場（経営者）	・暖冬であった前年と比べて、今年は寒い日が多くなる見込みである。また、新型コロナウイルス感染症によるミニバブルが収束してきている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		ゴルフ場（経理担当）	・新型コロナウイルス新変異株の動向次第だが、行動規制が求められるようになると、収益の柱である企業や団体のコンベヤや法人接待の自粛、それらに起因するレストランの単価下落など、厳しい環境におかれることが予見される。
		美容室（経営者）	・早く新型コロナウイルスが終息してほしい。
		その他サービス〔学習塾〕（経営者）	・前年から今年にかけて集客できなかった分がじわじわと売上などに影響してきているため、今後の見通しもまだ厳しい。
		設計事務所（経営者）	・新型コロナウイルスが少しは収まったかという気がしたのだが、また新型コロナウイルス新変異株が出てきて、先が全く見えなくなっている。果たしてこれからどうしたら良いのかわからない。しかし、社員の中には頑張ろうという意気込みがあるので、新年を迎えて、新しい気持ちで頑張りたい。
		設計事務所（経営者）	・現在手掛けている業務は今後1か月半程度で完了予定だが、その後の展望が見えてこない。
		設計事務所（所長）	・新型コロナウイルス新変異株が始め、どのくらいで落ち着くかも見当が付かず、さらに、建材等の値上げの話も出ている。これ以上は下がらないと考えていたが、更なる下降もあるのかと感じ、一向に先が見通せない（東京都）。
		設計事務所（所長）	・新型コロナウイルス新変異株の感染で、全体的に非常に暗くなっている。
		設計事務所（職員）	・半導体に限らず様々な場面で、海外での新型コロナウイルスの影響による生産性低下の影響が出てくる（東京都）。
		その他住宅〔住宅管理・リフォーム〕（経営者）	・仕事が決まり実行するまでには短くても1～2か月、長ければ半年くらいの時間が必要になる。今年はその間のやりくりが非常に大変である。
	×	一般小売店〔家具〕（経営者）	・ここにきて仕入価格や物価がかなり上がっている。ガソリン価格も上昇しており、これから景気が良くなるような感じはしないので、悪くなっていくのではないかと（東京都）。
	×	一般小売店〔食料雑貨〕（経営者）	・アフターコロナの消費は遊興費に回り、身の回り品は厳しくなる。
	×	家電量販店（店長）	・新型コロナウイルス新変異株の感染者数が増えることで、更に収入が減る人が増える、必要な消費も単価を下げて購入するようになると、小売店は売上や利益が落ち、更に景気が下向く。
	×	乗用車販売店（営業担当）	・新型コロナウイルスがまた流行するようだと、更に厳しくなるのではないかと（東京都）。
	×	一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルス新変異株などの影響で、企業によっては宴会をやらなないようにとされているところがまだ相当数あるようなので、そう簡単に個人消費が増えるとは思えず、外食産業自体はどんどん厳しくなるのではないかと。
	×	一般レストラン（経営者）	・今は皆結構夜に出歩いて酒も飲んでいるが、来年2月頃にまた新型コロナウイルス新変異株の感染者数が増えるということで、2月に予定した宴会はキャンセルが入っている。やはり感染者数の動向を見ながら景気は上がったたり下がったりする（東京都）。
	×	都市型ホテル（スタッフ）	・新型コロナウイルス新変異株の市中感染が懸念されるなか、報道により企業関係の予約はキャンセルや延期が増えてきており、対応に追われている。このまま感染拡大が続き、感染第5波同様の状況になれば、ほぼ全ての予約がキャンセルとなり、厳しい状態に逆戻りする。
	×	旅行代理店（従業員）	・新型コロナウイルス新変異株の感染拡大が見込まれる。今後、都内に向けて出発する案件については、県内プランへの切替え、若しくはキャンセルを検討する客の増加が想定される。
	×	ゴルフ場（従業員）	・世界の状況から、日本においても新型コロナウイルス新変異株の感染拡大が予想される。人々は活動自粛を迫られ、景気は悪化する。
	×	その他サービス〔学習塾〕（経営者）	・生徒数の減少が収まらないので、なかなか経済は復活してこない。
	×	その他サービス〔フィットネスクラブ〕（マネージャー）	・新型コロナウイルスによる影響がある（東京都）。
企業動向		その他サービス業〔ソフト開発〕（従業員）	・受注量が増えており、新型コロナウイルス発生前に近いくらいまで回復傾向にある。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
関連 (南関東)		食料品製造業（経営者）	・今まではイベントや営業がほとんどできない状況だったが、社会に動きが出てきているので期待している（東京都）。
		食料品製造業（経営者）	・新型コロナウイルス新変異株が心配だが、売上は伸びていく。しかし、原材料価格がどのくらい上がっていくかも景気に影響しそうである。
		出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・法人客、個人客共に微増だが増えてきている。実際、1日当たりの来客数は、新型コロナウイルス感染者数の減少に伴って増えてきている。ただし、客単価の上昇はまだみられていない（東京都）。
		その他製造業〔化粧品〕（営業担当）	・中国からの資材供給に不安があり、秋～年末にかけて販売額の低下が発生しているが、3月頃をめぐりに復旧する予定である（東京都）。
		通信業（経営者）	・新型コロナウイルスが落ち着けば景気が回復するが、格差は拡大する（東京都）。
		通信業（広報担当）	・新型コロナウイルスの状況も、半導体不足の状況も、徐々に良くなっていく（東京都）。
		金融業（従業員）	・地元の飲食店や小売店では徐々ににぎわいを取り戻し、来店客の明るい表情や従業員の忙しそうな姿が見受けられるようになっている。ただし、一部の事業者からは、新型コロナウイルス関連融資の返済時期の到来、足元の仕入価格や燃料価格の高騰を懸念する声もあり、資金繰りにおいては依然として苦しい状況が続いているようである（東京都）。
		金融業（役員）	・新型コロナウイルス新変異株の感染拡大状況にもよるが、消費マインドが回復に向かっている。
		不動産業（従業員）	・新型コロナウイルスの感染が収まりつつあり、観光需要が復活し始めている（東京都）。
		化学工業（従業員）	・受注は大きく変わらないが、原材料の値上げ、発送の小口化による輸送費の増加等、余り良くなるとは思えない。
		プラスチック製品製造業（経営者）	・3か月ほど先は、新型コロナウイルス新変異株の動向次第だろうが、まだまだ品不足、値上がりが続くと思うので、基本的に良くなる方向にはなく、変化はない。
		プラスチック製品製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で先送りにされてきた医療品容器の新企画が動き始めれば一気に工場稼働率が上がるのだが、確約はなく、気をもんでいる。
		金属製品製造業（経営者）	・製造業のなかでも機械加工業なので、仕事の確保が大切である。職人の手が空かないように、また、入った仕事はできるだけ短期間で納入するように努力している。
		精密機械器具製造業（経営者）	・「変わらない」というより「分からない」というのが正直なところである。ある企業からは2年先までの注文をもらっているが、これ以上のインフレ、円安は悪影響になる。また、ある企業は決算前なので発注を絞り込んでいるが、結果的に足りず、即納を求められる。このように一喜一憂している状態で、不安感で一杯である。
		輸送用機械器具製造業（総務担当）	・新型コロナウイルス新変異株の影響が不透明で、このまま増産を維持できるかは分からない。
		その他製造業〔鞆〕（経営者）	・悪い状態がずっと続いているが、これといった手立ては話にも出てこず、ハンドバッグ業界は非常に厳しい状況にある。新型コロナウイルス禍から早く回復してほしい。
		建設業（経営者）	・新型コロナウイルスの影響でこう着状態が続いている。この先も、良くなるのか悪くなるのか予想ができない。
		輸送業（経営者）	・景気が良い状態が続く（東京都）。
		輸送業（総務担当）	・荷主の国内出荷量が低迷し、輸出量が全くない。今後も現状が続く予想である。
		金融業（従業員）	・半導体部品の調達見込みは全く立っておらず、部品不足の解決はいまだに道筋が見えない。新型コロナウイルス新変異株の出現により、飲食業ではやはり売上の減少が懸念される。
	金融業（総務担当）	・年末商戦では高価な物が売れており、小売業も若干回復すると思われる。ただし、新型コロナウイルス新変異株の感染が広がれば、また景気に大きく影響が出る（東京都）。	
	不動産業（経営者）	・新型コロナウイルス感染拡大の懸念はあるが、協力金、支援金等、様々な対策の効果により閉店、廃業などが当面避けられ、当テナントビルに大きな動きはない。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		不動産業（総務担当）	・既存テナントの動きから見て、オフィスマーケットは当面は厳しい状況が続くと考えているが、原則として賃料の減額など安易な妥協はしない方針である。ただし、店舗系テナントに対しては、売上などの状況を勘案し臨機応変に対応することとしている（東京都）。
		広告代理店（従業員）	・新型コロナウイルス新変異株の影響で、イベント等の実施について見直しがある。
		広告代理店（従業員）	・現時点では変わらないと判断しているが、新型コロナウイルス新変異株の感染拡大が続けば悪化に転じ、感染が拡大しなければやや良くなる状況に転じることも考えられる（東京都）。
		税理士	・米中の景気、経済状況に左右される。新型コロナウイルスが落ち着いたのかと思っていたのにまた新型コロナウイルス新変異株が出てきて、欧州やロシアなどで再び大流行しているので、方向性が読めない。業績が良い企業もあるが、これからどういう展開になっていくのかわからない（東京都）。
		社会保険労務士	・良くなる要因が見当たらない（東京都）。
		経営コンサルタント	・新型コロナウイルス新変異株の感染が広がる可能性があり、緊急事態宣言の再発出もあり得るかもしれない。そのようななかで、事業の停滞は変わらない（東京都）。
		その他サービス業〔廃棄物処理〕（経営者）	・輸入部品の不足解消など、新型コロナウイルスの影響が改善されるまで取引先工場等の稼働率も上がらないため、当社への影響もしばらく変わらない。
		その他サービス業〔警備〕（経営者）	・得意先の様子から、状況は変わらない。
		その他サービス業〔ビルメンテナンス〕（経営者）	・随時、既存契約の値上げ申請をしているが、ペンディング状態が続いている（東京都）。
		その他サービス業〔映像制作〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染者数がまた徐々に増えてきており、年度末に向かって仕事の動きが出てくるのか全くわからない（東京都）。
		出版・印刷・同関連産業（所長）	・資材等の値上げが発表され、次年度予算見積りで上乘せ交渉をしているが、複数のクライアントから難色を示されており、厳しい状況となっている。
		化学工業（総務担当）	・年末年始の消費回復を期待しているが、新型コロナウイルス新変異株で感染第6波になるようだと、再び個人消費が低迷し、受注が減少する恐れがある。
		一般機械器具製造業（経営者）	・自動車関係の半導体や部品の製造は、新型コロナウイルスの影響で生産の成り行きが全く分からず、急回復は見込めそうもない。
		電気機械器具製造業（経営者）	・現在、半導体部品が入手困難となっている。先行購入しているが、それでも入手困難な状態が続いている。世界的な品薄状態なのでお手上げである（東京都）。
		建設業（経営者）	・材料が入らず引渡しや納品ができず、資金がショートしやすいのではないかと。新型コロナウイルス関連の助成金などの返済が始まり、苦しくなることが予想される。
		建設業（営業担当）	・資材の価格高騰が、頭打ちになっている物、上昇傾向が続いている物を考えると、消費者の購買意欲の低下傾向が継続することが予想される。
		輸送業（経営者）	・年度末に向け取扱量の増加を望みたいところではあるが、減少傾向に歯止めが掛からず、燃料価格の高止まりと合わせて厳しい状況が続くものとみている（東京都）。
		不動産業（経営者）	・緊急事態宣言は解除されたものの、新型コロナウイルス新変異株が発生しており、年末年始が明けてから更に感染が増えることを考えると不安である（東京都）。
		広告代理店（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、不安定な状況がまだ続きそうな気配がある（東京都）。
		経営コンサルタント	・新型コロナウイルスの感染状況は予断を許さない。感染が抑えられない場合には景気に影響する。
		税理士	・新型コロナウイルス感染第6波次第だが、徐々に感染が広まり、再度落ち着くまでは回復というより後退する。早く3回目のワクチン接種ができることと、特効薬の開発に期待している。
		その他サービス業〔ソフト開発〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況次第というところは否定できないが、治療薬ができたなどの良い話と、また医療崩壊が起こるといった悪い話が混在している（東京都）。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他サービス業〔情報サービス〕（従業員）	・新型コロナウイルス新変異株の感染者数が増えてきており、不安要素が消えない。
	x	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・2月までは景気は落ち込む（東京都）。
	x	建設業（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で悪くなる。
雇用 関連 (南関東)		人材派遣会社（営業担当）	・年度末に向けて求人数が増加する見込みである（東京都）。
		人材派遣会社（社員）	・年計表のトレンドでも派遣求人数の増加が顕著になってきている。長期派遣労働者の稼働数も比例して押し上げられているので、今後も緩やかに景気は良くなっていく（東京都）。
		人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルス感染者数が一定数で停滞しており、求人数が増加傾向にある。ワクチン接種会場対応業務、短期の給付金事務のほか、行政系の業務などが堅調である。
		人材派遣会社（経理担当）	・求人数の微増、契約終了申出の減少傾向が続いており、総派遣労働者数は増加傾向になる（東京都）。
		人材派遣会社（営業担当）	・DXを中心としたIT需要はまだ加速する見通しである。
		求人情報誌制作会社（営業）	・現状のまま経済状況が進んでいけば、景気も少しずつ上向き、経済が動き、求人数が更に多くなっていく。業種によっては人手不足なところは多々あるが、全体の求人数は増えていく。
		求人情報誌制作会社（広報担当）	・このまま新型コロナウイルスの影響が少なくなっていくけば、景気は良くなっていくのではないかと（東京都）。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・年明けの予約、注文が結構入っている。新型コロナウイルスの状況がどうなるかはまだ分からないが、積極的に募集しようという意欲が出てきているようである。
		職業安定所（職員）	・足元の求人数が増加傾向にある。新型コロナウイルス新変異株の感染拡大状況による影響は大きいと思われるが、求人、求職状況としては改善が見込まれる（東京都）。
		学校〔大学〕（就職担当）	・社会情勢の変動が大きいと、北京オリンピックの開催などで消費が高まる気がする（東京都）。
		人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルス新変異株の市中感染の影響が気になるが、人材不足の状況は変わらず、4月に向けて求人数が減ることはないと考えている。
		人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルスの感染状況が収束に向かわずに、景気も悪化を繰り返すと思われる（東京都）。
		人材派遣会社（社員）	・経済動向は需要に影響はあるものの、肝心の供給側の人材軸は減少の一途である（東京都）。
		人材派遣会社（支店長）	・求人数は新型コロナウイルス発生前くらいに戻ってきているため業績期待がある一方、新型コロナウイルス新変異株の影響により、企業活動の停滞、人材需要の低下が懸念される（東京都）。
		人材派遣会社（営業担当）	・新型コロナウイルス新変異株の感染状況次第かと思うが、数か月で回復するのはなかなか難しい状況ではないかと。
		求人情報誌制作会社（所長）	・3回目のワクチン接種と、新型コロナウイルスの飲み薬が販売できるようになれば変わってくる。
		職業安定所（職員）	・情報処理関連や製造関連職種の求人増加など、雇用情勢改善の動きもみられるが、新型コロナウイルス新変異株による感染拡大の兆しがあり、依然として雇用動向の先行きは不透明である。
		職業安定所（職員）	・有効求人倍率が前月比で6.8%増加しており、今年度で最も高い数値となっている。前年比では3.1%減少しており、今年度で最も前年の値に近づいている。
		民間職業紹介機関（経営者）	・年末年始の需要への期待があり、新型コロナウイルス禍の心配はそれほど感じないが、安心した見方も難しい（東京都）。
		-	-
	x	職業安定所（職員）	・新型コロナウイルス新変異株の流行により景気は下がる。

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
----	----------	-------	----------------

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (甲信越)		商店街（代表者）	・新年を迎え、鉄道の予約状況も新型コロナウイルス発生以前に近付いているようである。新型コロナウイルス新変異株の抑え込み、ワクチンの追加接種、Go To Travelキャンペーンの再開と続けば、景況は好転すると考える。
		高級レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大第6波の状況は分からないが、経済活動は復活するとみている。
		その他サービス〔葬祭業〕（経営者）	・起業をしたときに、少人数での家族葬や直葬といったスタイルは、少子化になるので必ずやってくると思っていたが、新型コロナウイルスで一気にやってきていて、もう以前のように戻らない。葬儀や墓、納骨、もっといえば宗教観も変わり始めていると感じている。
		商店街（代表者）	・年明け1月から学校の新学期、入学用の販売が始まる。注文等をみていると、体育衣料は前年並みなので、これから春先は良くなる。
		百貨店（店長）	・催事等も通常営業に戻ってきており、来客数はゆっくりではあるが、戻ってきている。新型コロナウイルスの急激な増加がないという条件下ではあるが、トレンドは上向いている。ただし、そのスピードはゆっくりである。
		スーパー（経営者）	・3回目のワクチン接種をして、本当に新型コロナウイルスが終息することを祈っている。景気も良くなってほしい。
		スーパー（副店長）	・今後は新型コロナウイルス新変異株の感染状況が心配される。ただし、3回目のワクチン接種が始まり、新規感染も落ち着けば、今までの反動も含めて景気は上向く。
		コンビニ（経営者）	・規制が緩和されているので、やや良くなる。
		乗用車販売店（経営者）	・新車の生産回復により、受注残が解消されることで販売台数の増加を見込んでいる。
		都市型ホテル（スタッフ）	・1～2月の新年会の動きは、前年に比べれば断然良く、企業マインドが上がっている。また、3月の送別会等のキャンセルは、今のところ出ていない。各企業とも3月に向けて送別会については宴会をやるような雰囲気になっている。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルスが収まるかどうかによるが、期待を込めて、やや良くなる。
		遊園地（職員）	・感染症対策を徹底し、万全な受入体制を整えるとともに、積極的に集客施策の実施や情報発信を行うことで、多くの客の来園を期待する。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	・買い控えというより消費意欲が見えてこない。新型コロナウイルスの影響も緩み、警戒しつつも以前の生活に戻り出している。客は必要な物の購入や必要な出費はするが、売り手の施策には乗ってこない。まだしばらくは厳しい状況が続くそうである。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況が徐々に落ち着いてきているせいか、客にも少しずつ明るい雰囲気が出てきているようである。
		百貨店（営業担当）	・基本的には現状と変わらないと思うが、新型コロナウイルス新変異株の感染状況次第で悪くなったり、逆に、薬ができてワクチンを打てるということで良くなる可能性もあると思うので、どちらともいえない。
		スーパー（経営者）	・新型コロナウイルス新変異株による感染急拡大が懸念される。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの新規感染者がまた増えてきて、人の動き、人流が停滞するとみている。
		コンビニ（経営者）	・前年の売上をみても余り変わらないので、それほど良くはない。
		コンビニ（経営者）	・国や県も補助金を出して頑張ってくれているが、それは一部の人だけの話である。客も仕事が思うようにいかないようで、売上が減ってどうしようもないと他業種の経営者がこぼしている。
		コンビニ（経営者）	・いまだ新型コロナウイルスの終息がなく、現状から人流が増える予測がつかない。冬ということもあり、客足も変わらないのではないかと。
	コンビニ（店長）	・今現在、新型コロナウイルスの状況は好転しているものの、特別、売上を伸ばすような状況ではないので、大きな変化は見られないのではないかと。	
	衣料品専門店（経営者）	・先が見えず、今後に期待できそうにないので、変わらない。	
	家電量販店（店長）	・政府の景気対策が十分でない。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		自動車備品販売店（従業員）	・年末年始の帰省等による移動後、新型コロナウイルスの感染状況が悪化する可能性もあり、まだしばらく景気は変わらない。
		スナック（経営者）	・地方では良くなる要素が1つもないような気がする。物の価格は上がり、給料は上がらず、これから本当に大変な時代になる。
		観光型旅館（経営者）	・今までは、冬季は自治会等の懇親会やインバウンド需要があったが、自治会の利用も減少し、インバウンド需要は全くない。ただし、県民割等の施策が継続するため、現状と変わらず、低空飛行の状況が継続する。
		通信会社（経営者）	・新年を迎えても状況が好転する材料が見当たらないので、現状が続くのではないかと。
		通信会社（社員）	・底は脱した感があるが、新型コロナウイルス新変異株への反応も再度敏感になりつつある。ある程度規模の大きいイベントなどが再開できないと、上向きを継続するのは難しい。
		その他レジャー施設 [ボウリング場]（経営者）	・新型コロナウイルス新変異株の状況次第で変わってくると思うが、感染の再拡大を抑えることができれば、良い方向へ向かっていく。
		設計事務所（経営者）	・詳細設計を進める物件数が少ない。
		住宅販売会社（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大は、別荘需要増加につながっている。いまだに終息には至らず、再拡大の懸念も強いことから、需要は続くことが予想される。
		商店街（代表者）	・先が見えない分、客の財布のひもは固い。
		一般小売店[薬]（経営者）	・新型コロナウイルスの終息はいまだみえず、新型コロナウイルス新変異株の流行も考えられるため、まだ安心できない状況である。12月は良かったが、2～3月は厳しいと考えている。
		コンビニ（エリア担当）	・天候の状況や新型コロナウイルス新変異株が気になる。
		その他専門店[酒] （店長）	・12月は思っていた以上に良かったが、非常に慎重な動きで、12月半ばから良くなってきている。本来なら、年末は早くに休みに入る飲食店も30日まで予約を埋めて、一生懸命頑張っている。ただし、元通りにまで回復したかは分からない。また、新型コロナウイルス新変異株の感染も徐々に増えており、1月半ばからまた増えてくると思うので、2～3月の状況は悲観的にみている。
		一般レストラン（経営者）	・恐らく、現在より新型コロナウイルスの影響は出るのではないかと。ただし、新薬や3回目のワクチン接種の対応で、逆に好転することも考えられるし、そう願いたい。
		一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルス新変異株の影響次第だが、楽観視はできない。
		スナック（経営者）	・もう、良くなるというイメージもできない。どうしたらよいか分からない。
		スナック（経営者）	・忘年会シーズンの今月でも、やはり例年のようにはいかず、皆、早く帰る傾向にある。また、新型コロナウイルス新変異株が出てきたせいで、客足に少し勢いがなくなってきている。年明けについては、感染状況によってまた売上が左右されるので、やや心配である。
		都市型ホテル（従業員）	・新型コロナウイルス新変異株の感染が拡大する恐れがある。
		都市型ホテル（スタッフ）	・今後が悪くなると感じるほど今月が良く、今までの自粛の反動と感じている。これが落ち着くと、徐々に下がるイメージが浮かんでいる。実際、新型コロナウイルス新変異株の報道があつてからは、徐々に予約が鈍くなり、また、少なからずキャンセルや利用人数の減少等も発生してきている。まだしばらくは感染状況次第だと思われる。
		旅行代理店（副支店長）	・新型コロナウイルス新変異株の影響で、年末年始の旅行取消しが発生し、再び自粛傾向が強くなっている。また、製造業等の原材料不足による減産や輸入物資の減少等により、企業の景気悪化が予想され、旅行需要の減少も懸念される。
		観光名所（職員）	・観光地の宿泊施設は、料金値下げや光熱費の高騰に憂いている。新型コロナウイルス新変異株の感染拡大による自粛も懸念される。
		ゴルフ場（経営者）	・積極財政政策が採られそうにないので、やや悪くなる。
	x	ゴルフ場（経営者）	・年間オープンではあるが、年配者の予約が多い当ゴルフ場では、寒さの厳しい1～2月の来場者確保は難しい。また、燃料費の高騰が経費拡大につながっている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	x	その他サービス〔クリーニング〕（経営者）	・当業界は、移動して仕事を受注できるが、今後まだ1年以上2年位は現在の悪い状態が続くと思っており、非常に心配している。
企業 動向 関連 (甲信越)		-	-
		出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・3月に大きな祭りがあり、それに向けて、仕事が少しずつ出始めている。今後を期待している。
		金属製品製造業（総務担当）	・半導体不足の影響で、やや良くなる。
		電気機械器具製造業（経営者）	・異動や入学等、新生活向けに販売が上向く見込みである。
		その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	・客が徐々に戻ってきている。売上も回復しているが、心配なのは新型コロナウイルス新変異株の影響である。再び外出制限を始めとする様々な制限が出されることになったら、景気は急速に冷え込むのではないかと懸念から、いまだ仕入を控えている取引先もある。
		金融業（経営企画担当）	・新型コロナウイルス新変異株の影響は未知数だが、現政権が進める経済対策の感触が良ければ経済循環が進み、様々な分野で好循環が見込めるのではないかと。
		新聞販売店〔広告〕（総務担当）	・ガソリン価格の高騰や新型コロナウイルスの感染状況次第というところは否めないが、各種イベント等も増えてきており、広告出稿や国内旅行等が少しずつ回復してくると予想している。
		食料品製造業（営業統括）	・出荷は今のところ、前年をかなり上回っている状態だが、全国的に新型コロナウイルス新変異株が拡大しつつあり、今後の来場者数減少が心配である。さらに、物流費の上昇や資材費高騰等によって、収益率が圧迫され、経営的にかなり苦しくなると予想している。
		食料品製造業（総務担当）	・新型コロナウイルス新変異株が猛威を振るうかによって、景気は左右されると考えられる。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	・新型コロナウイルスが落ち着いてきた状態で、ワークショップの予約等は幾らか動きが出てきている。ただし、従来からある製品受注は、ほぼ動きがなく、見込みも立たない状態である。SNS等の媒体をフル活用してPRしているが、閲覧はあるものの、受注にはつながっていない。一番見込めるのは、大手情報誌からのワークショップ予約のみである。
		金融業（調査担当）	・新型コロナウイルス新変異株の感染拡大のほか、半導体や原材料の不足、価格高騰の影響が続くため、製造業、非製造業共に不透明な状況が続く見通しである。
		電気機械器具製造業（経営者）	・材料の順調な供給が見込めない上に、価格も高騰している。
		電気機械器具製造業（営業担当）	・部品不足により、新規受注が制約されている。また、原材料、部品価格の高騰が収益を圧迫している。
		建設業（経営者）	・冬季に入り、降雪の関係もあるので、受注は若干減少する。また、問合せも少なくなってくる。
	x	食料品製造業（製造担当）	・新型コロナウイルス新変異株の影響で、また振り出しに戻りそうな気配である。原料価格高騰もあるため、売上が相当良くならないと、利益は期待できない状況である。
雇用 関連 (甲信越)		職業安定所（職員）	・何となく、良くなる気がする。
		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスの感染者の激減により、経済が回り始めている。
		人材派遣会社（営業担当）	・収入が減っているため、短期でも高時給の仕事に流れる傾向は続く。ただし、正社員での新規採用は足踏み状態なので、消費に回することは考えにくい。
		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルス新変異株の影響と、原油や原材料価格の高騰等で、先行きが不透明である。
		民間職業紹介機関（経営者）	・求人を含ん引する製造業では、求人は増えてきているものの、正社員採用には慎重さが隠せない。新型コロナウイルスの先行き不安から、目前の受注に対しては派遣やパート等での対応が目立っている。
		x	-

6. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
----	----------	-------	----------------

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (東海)		百貨店（経理担当）	・新型コロナウイルスの感染が落ち着き、Go Toキャンペーン等の需要喚起策が旅行消費を刺激するほか、入学や異動等のイベントが飲食や消費を持ち上げることによって、景気は上向くと考える。
		乗用車販売店（経営者）	・決算月に新型車発売も重なって動きは良くなるものと予想される。ただ新型コロナウイルス新変異株の感染拡大は気になるところである。
		都市型ホテル（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が収束して、徐々に回復していくと思う。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルス感染症は、どんどん収束する方向で間違いないと思う。
		商店街（代表者）	・年末年始の需要が来客数に表れている。
		一般小売店〔書店〕（営業担当）	・引き続き年度末に向けた残予算消化の需要がある。
		百貨店（総務担当）	・新型コロナウイルス新規感染者数が増加傾向であるが、バレンタイン商戦等もあり、購買意欲の高い客層では、今のうち消費が続くと思われる。一方、クリアランスセールでは本当に欲しい物しか買わない傾向が一層強まり、衣料品などは厳しくなると想定している。
		百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルス新変異株の懸念はあるが、富裕層の購買意欲は好調に推移している。
		百貨店（業績管理担当）	・新型コロナウイルスの感染状況が低い水準で続けば、少しずつ街全体の人出も増え、店の売上も増加すると考えている。
		スーパー（店長）	・年末年始の帰省や外出が戻りつつあり、新型コロナウイルス新変異株の感染拡大が予想され、また内食需要が増えると思われる。
		コンビニ（店長）	・来客数が明らかに回復、改善している。コロナ禍で取り組んだクリンリネス、清掃作業の強化や店内各所のアルコール除菌などの対策への評価が数字に表れてきたことを強く感じる。高齢の常連客の購買が新型コロナウイルス感染症の落ち着きとともに増えていることも考慮している。
		コンビニ（商品企画担当）	・新型コロナウイルス新変異株のまん延による消費縮小が懸念されるものの、重症者数の少なさから、景気に与える影響は軽微と想定する。
		コンビニ（本部管理担当）	・新型コロナウイルス新変異株が感染拡大しなければ、先行きは明るい。現時点では新型コロナウイルスの影響はかなり緩和されており、当社の加盟店の来客数は回復しつつある。結論として、新型コロナウイルス次第という1点に尽きる。
		衣料品専門店（店長）	・単価の高い物でも価値が認められれば販売につながっている。また、客の仕事が増えて懐具合が安定しつつあると感じられるようになった。
		衣料品専門店（売場担当）	・年度末で就活用の購入が多くなる。また、景気が悪くなると、その時期に売れる黒のスーツがよく販売されるようになる。
		乗用車販売店（経営者）	・新型コロナウイルスの影響による半導体や部品の供給不足からくる新車の納車遅れは、年度内にはかなり改善すると思われる。
		住関連専門店（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染状況も落ち着きを見せ始め、特に商業施設などでのリフォーム、新築工事の予定などが入り始めている。住宅に関しても、来春からのリフォーム工事等の見積りや引き合いが出ている。
		その他飲食〔仕出し〕（経営者）	・ワクチン接種、治療薬の開発などで徐々に新型コロナウイルスとの付き合い方が軌道に乗ってくれば、消費も上向く。
		テーマパーク（職員）	・Go To Travelキャンペーンが始まれば、客が動くようになるのではないかと。
		商店街（代表者）	・家電店にとって12月は最繁忙期であるはずが、全くそのような状況ではない。特にテレビ等の売上はひどく落ち込んでおり、この流れはなかなか回復しないと感じている。
	商店街（代表者）	・年末年始の人流の増加や動き、それから新規感染者数の推移によるが、変わらないと判断する。	
	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの新薬開発と3回目のワクチン接種が浸透してからが元の生活に戻るスタートラインと考えている。2～3か月先ではまだ浸透しないので、景気が良くなるのはもう少し先だと思う。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルス新変異株をどこまで重要視して用心するかに懸かってくる。感染してもさほど重症化せず死亡者も少ない状況であるのに、これほど慎重になって経済を悪くすることには疑問を感じる。若者は外に出るが、年配者の消費は鈍る。
		商店街（代表者）	・2年前から、先の見えないジェットコースターのような状況なので分からない。
		一般小売店〔結納品〕（経営者）	・当社は婚礼関係のため、新型コロナウイルスの感染状況が落ち着かないことには、このまま不景気が続いてしまう。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	・景気回復の期待と新型コロナウイルス第6波の怖さが半々である。
		一般小売店〔贈答品〕（経営者）	・3か月ほどでは今の状態が大きく変わることはない判断する。特にギフト関連では、個人客は付き合いの幅を狭めており、企業も広告宣伝費や交際費を使う営業が増えるとは思えず、3か月先も慎重な状態が続いていると思う。
		一般小売店〔酒類〕（経営者）	・新型コロナウイルス新変異株が感染拡大傾向にあり、客先の飲食店利用が慎重になる。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	・新規感染者数が減って期待したのもつかの間、また新型コロナウイルス新変異株で心配が増え、まだまだ景気回復は望めない。このような感じがしばらく続くように思う。
		一般小売店〔果物〕（店員）	・3か月ほどでは変わらない。
		一般小売店〔生活用品〕（販売担当）	・今後新型コロナウイルス感染が再拡大すれば、外出自粛や買い控えがまた起こる不安がある。
		一般小売店〔和菓子〕（企画担当）	・新型コロナウイルス新変異株がどのように影響するか先が読めない。
		百貨店（売場主任）	・まだまだ新型コロナウイルスの感染が収束していないため、遠出ができない人が食事のついでに百貨店へ多く来店する。来年3月末まで入荷しない商品もある。海外工場で部品を作っているため生産が間に合っていないようで、売上が厳しい状況は続くと思う。
		百貨店（企画担当）	・10～12月と月を追うごとに景気回復が鮮明となっている。来客数は前年に比して3割増加、売上も2割増加で推移しており、前年の新型コロナウイルスの影響からの反動ではあるが、確実に新型コロナウイルス発生前の数字に近づいている。11月以降、話題性のある店舗を導入した効果が、新型コロナウイルスの影響が下火になったタイミングとマッチしたことも、来客数増加の要因となっている。ただし、今後数か月については、新型コロナウイルス新変異株の市中感染の動向次第と考えている。
		百貨店（販売担当）	・新型コロナウイルス新変異株の流行が抑えられれば、緩やかではあるが回復していく。
		百貨店（計画担当）	・コロナ禍はまだ収束するとは思えないので、一進一退の状況がしばらく続くと考える。
		百貨店（販売担当）	・3か月前と比較すると買物内容は外出需要の物が増え、上向いていると感じる。しかし、新型コロナウイルス発生前の状態には戻っていない。
		スーパー（経営者）	・神社への参拝客は増加しているが、店内飲食では客席を減らして営業しているため、客先が客席を増やせないうちは売上増加が困難である。
		スーパー（店員）	・新型コロナウイルス新変異株次第だが、足元の客の動きをみると減少傾向になるとは思えない。ただし、最近の大雪が今後も断続的に続けば、配送関連により価格が上がるので、そこだけが心配である。
		スーパー（総務）	・新型コロナウイルスの影響がどうなるかで景気が大きく変わる。徐々に観光・買物等の消費が活発になり始めている。
		スーパー（営業企画）	・新型コロナウイルス新変異株の感染状況にもよるが、しばらくは様子見の状態が続くと思われるため、小幅な変化を予想する。
		スーパー（販売担当）	・新型コロナウイルス第6波が来れば内食傾向になって売れる。来なければ外食傾向になり売れなくなる。
		スーパー（支店長）	・最近収束しつつあった新型コロナウイルス感染が、新型コロナウイルス新変異株の出現で再びじわじわと拡大しつつあるなかで、まだ多少の影響しかないが、恐らく年明けには急拡大すると思われるので、消費への悪影響は避けられない。これがいつまで続くのかも不明であり、また暗いトンネルに入るのではと不安でならない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスの第6波は気になるが、やっとな景気の上昇気配が感じられるようになった。今後、政府が規制を掛けないことを願う。
		コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルス新変異株もあり、まだまだ回復は期待できない。
		コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルス新変異株が出て、感染が拡大するおそれがあることから、また一時的に行動抑制があると来客数が減少する可能性がある。感染が拡大しても、何とか12月くらいの動きで推移していけばと願う。
		コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスの感染がどうなるかによって左右されるが、必ずしも安心できる状態ではない。
		コンビニ（店長）	・新型コロナウイルス新変異株による新規感染者数増加の影響が少なからず出ると思う。
		コンビニ（商品開発担当）	・以前より良い環境ではあるが、新型コロナウイルスの感染状況及び自動車関連部品の供給次第である。短期での改善は厳しいと考える。
		衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルス新変異株も落ち着いて、マスクをしながらも外出できるようになることを期待する。
		衣料品専門店（販売企画担当）	・入出は増えてきたが、アパレル商品を買うほど活発ではない。
		家電量販店（店員）	・電化製品の買換えピークは2020年であったように感じられ、余り売上が伸びそうにない。
		家電量販店（営業担当）	・新型コロナウイルス新変異株による新規感染者数の増加とエネルギー価格の上昇によって、景気は良くならない。
		乗用車販売店（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染がそのまま落ち着けば景気も上向くと思うが、新型コロナウイルス新変異株がこれからかなり広がりそうなので、このまま停滞すると思う。
		乗用車販売店（経営者）	・自動車の流通は回復の兆しがみえない。新型コロナウイルス感染症は相変わらず不安要素である。
		乗用車販売店（経営者）	・一時期と比べればガソリン価格も落ち着いているので、このまま現状維持でいける。
		乗用車販売店（従業員）	・新型コロナウイルス次第である。
		乗用車販売店（従業員）	・年度末決算期を迎えるが、新車の納期問題に加えて新型コロナウイルス新変異株の流行拡大がどの程度になるかによっては、また営業活動に制約を求められるかが心配である。
		乗用車販売店（従業員）	・新車効果もあり販売台数は前年並みには見込めると思われる。
		乗用車販売店（営業担当）	・商品入荷数は、海外生産のため既に来年3月まで回復の見込みがない。4月以降もまだ見通しは不透明である。メーカーからは夏頃から回復するとの説明だが、前年にも同じようなことをいわれていた。
		その他専門店【貴金属】（経営者）	・新型コロナウイルス新変異株の流行を抑えるため、年末年始の帰省や不要不急の外出の抑制が報道されていることから、消費者の自粛生活が促進される。景気は変わらない、若しくはやや悪くなる見通しを持たざるを得ない。
		その他専門店【書籍】（店員）	・新型コロナウイルスの影響で巣籠り需要が長かったため、全体的にインターネットでの買物が進んだように見える。この先店頭で購入する客は減少傾向と思われ先行き不安なことから、書店の景気回復は難しいと思われる。
		その他小売【ショッピングセンター】（経理担当）	・売上高は前年比マイナス0.6%、前々年比マイナス6.9%である。来客数は前年比マイナス1.4%、前々年比マイナス11.3%である。
		高級レストラン（経営企画）	・新型コロナウイルス新変異株の懸念は拭えない。新年度前後の集まりには期待したい。
		一般レストラン（スタッフ）	・新型コロナウイルス感染症はまだ収束がみえないため、なかなか先が見通せない。
		バー（経営者）	・年末年始の人出の具合で新型コロナウイルス新変異株がどうなるか不透明なので、先行きは分からない。
		その他飲食【ワイン輸入】（経営企画担当）	・コロナ禍で自粛していた反動は明らかにあるものの、それ以上大きな動きにつながる商談は見受けられない。また、取引先の飲食店のなかには、コロナ禍で外食に行こうという人そのものが減ったという声がある。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		観光型ホテル（経営者）	・好調な12月からの上積みは難しいと思うが、県の観光需要喚起策は1月末まで延長になり、新型コロナウイルスの感染状況次第では隣接県との相互乗り入れができ、順調にいけばかなり忙しくなる可能性がある。感染状況によって客の動向も変わってくるが、今の状態であれば、足元の好調を維持できそうである。
		観光型ホテル（支配人）	・年明け以降、個人客の動きは伸びてくるとみるが、賀詞交換会などは経済界を始めとする一般企業も執り行わないところが多く、まだまだ回復傾向とはいえない。起爆剤となる2月から予定のGo To Travelキャンペーンも、ここ最近の新型コロナウイルス新変異株次第ではどうなるかである。我々としては、打つ手が無いのが実情である。
		都市型ホテル（従業員）	・予約数から景気は変わらないと判断する。
		都市型ホテル（営業担当）	・余り変わっていない。
		旅行代理店（経営者）	・新型コロナウイルス新変異株がどうなるか分からないので不透明である。Go To Travelキャンペーン再開の期間を告知しない限り、客は予約を先延ばしにしている面がある。ゴールデンウィーク、夏休みやお盆休みはGo To Travelキャンペーンの設定除外と、早めに告知してほしい。旅行産業は、1年で夏休みまでが1番期待できる。新型コロナウイルス新変異株が重症化しない場合、夏以降の国際線は自由往来の緩和に期待している。渡航先がワクチン接種していれば入国時の隔離を緩和し、レジャー客の帰国時も緩和してほしい。高額な証明書付きのPCR検査費用も問題で、海外レジャーの敷居が高すぎるので緩和してほしい。
		旅行代理店（営業担当）	・旅行需要の回復は都市部からと考えており、地方での動きは数か月の時間差がある。ワクチン・検査パッケージの導入がスムーズに国民に受け入れられるかもポイントとなる。小規模事業者にとって負担にならないような事業にしていきたい。
		タクシー運転手	・県内でも新型コロナウイルス新変異株の市中感染が出て心配しているが、3回目のワクチン接種も順次始まるということで、マスクや手洗い等の感染防止対策をして、緊急事態宣言が出ないことを祈る。
		通信会社（営業担当）	・契約件数は急激に増えたり減ったりはしないと考えている。当面、足元の状態が続くそうである。
		通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルス新変異株等の不安要素がなければ良くなると思ったが、しばらくはこの状況が続く。
		レジャーランド（職員）	・新型コロナウイルス新変異株の拡大を抑制し、現状の低い感染状況であるならば、11～12月と同水準の来場数と見込んでいる。ワクチン・検査パッケージを活用した制限緩和策や消費喚起策が検討されているが、ワクチン2回接種でもブレイクスルー感染が発生している状況を考えると、過度な期待はできない。
		観光名所（案内係）	・やはり新型コロナウイルス次第だと思う。新型コロナウイルス新変異株が広がらないことを祈る。
		ゴルフ場（支配人）	・2～3か月先の入場者予約数は、前年同日を大きく上回っている。前年の2～3月もそこそこの入場者数があったので、このまま順調に推移すれば良い状態を維持できると見込んでいる。
		その他レジャー〔スポーツレジャー紙〕（広告担当）	・良くなる可能性が高いと思われるが、新型コロナウイルス新変異株のまん延状況次第で多少はブレーキが掛かる。
		美顔美容室（経営者）	・今月で人気商品のキャンペーンは終了するが、年始から別のキャンペーンが始まる。
		その他サービス〔介護サービス〕（職員）	・季節要因がなければ大きくは変わらないと思う。
		設計事務所（経営者）	・案件数の少なさは以前から変化がないと思う。種まき案件の数も少なかった。
		設計事務所（職員）	・新型コロナウイルスの感染がしばらく続きそうで、景気対策については実際の効果が余りみられないと思う。
		住宅販売会社（経営者）	・新型コロナウイルスも一段落して落ち着いている様子であり、今後もこの状況が続くと思われる。
		住宅販売会社（従業員）	・当分この状況だと思われる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他住宅〔室内装飾業〕（従業員）	・年度末に向けて、企業からは老朽化した設備などの建て替えやリフォーム工事の受注がある。
		その他住宅〔不動産賃貸及び売買〕（営業）	・単価が高くなるので、売上を大幅に上げない限り現状のままとなる。繁忙期にどれだけ売上を確保できるかが課題である。
		一般小売店〔高級精肉〕（常勤監査役）	・新型コロナウイルスの感染拡大が心配である。
		百貨店（販売促進担当）	・新型コロナウイルス新変異株の市中感染者が出始めたので、2～3か月後には第6波の影響が出ていると予測する。
		スーパー（店員）	・以前と比べて販売量がかなり減少しているため、今後も厳しくなる。
		スーパー（商品開発担当）	・コロナ禍での特需が更に薄れ、食品関連以外への消費に回っていく動きが想定される。
		スーパー（ブロック長）	・新型コロナウイルス変異株の動向次第ではあるが、よほどの行動制限がない限り、内食業界には以前のような伸びは戻らない。
		スーパー（販売担当）	・12月に入り、寒気の流入による物流の影響や新型コロナウイルスの再流行のリスクが購買に少なからず影響を与えている。また、マスク等の新型コロナウイルス特需の減少を払拭できる商材が見いだせず、全体的な販売量の減少が免れないと感じる。年明けも原油価格の高騰による商品の値上げが続きそうで、これらの要因が景気の悪化につながりそうである。
		コンビニ（企画担当）	・しばらくは足元の状況を維持できると思うが、年末年始に人の移動が活発化することによって新型コロナウイルス新変異株の感染が拡大すると、急速に悪化する可能性がある。
		コンビニ（店長）	・年末の需要の反動がある。
		コンビニ（店員）	・寒くて外出を控えたり、今後は複数点買いが期待できないように思われる。
		衣料品専門店（売場担当）	・新型コロナウイルス新変異株による感染拡大に伴い、経済活動の再停滞といった不安がある。
		家電量販店（フランチャイズ経営者）	・12月になって来客数が前年比で2割減っている。新型コロナウイルス新変異株への警戒で外出自粛が既に始まっているならば、感染拡大が予想される1～2月は更に来客数が減るのではないかと見込まれる。
		乗用車販売店（従業員）	・雰囲気非常に良くない。数か月前は良くなる流れがあったが、最近は周囲の様子や当社の状況をみても、良くない流れのまままだまだ続きそうな不安を感じる。
		乗用車販売店（販売担当）	・1月1日から特定車種の値上げをすることになり、駆け込み需要で12月は販売数が伸びたが、年明けからは少し厳しくなる。
		その他専門店〔雑貨〕（店長）	・新型コロナウイルス新変異株の新規感染者数が増えてくると予想する。
		一般レストラン（経営者）	・他の飲食業と同様に新型コロナウイルスの感染の収束を願うが、新型コロナウイルス新変異株の影響も心配される。時代の変化に対応できるように先を考えて経営しなくてはならないと考える。
		一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルス第6波が少しずつ近づいており、不安もあるため、また客の外出が減ると思う。
		一般レストラン（従業員）	・年末年始の休み明けからの新型コロナウイルス新変異株の広がりに警戒が強まる。
		都市型ホテル（総支配人）	・新型コロナウイルス感染症の状況と政府の対応方法次第である。
		旅行代理店（経営者）	・新型コロナウイルス新変異株の市中感染が広がり、再度移動や飲食業の自粛が始まると考えられる。既にターミナル駅前のビル内にある旅行代理店のカウンターが1月末で閉鎖する連絡が客にあるなど、ウィズコロナ時代に対応する縮小態勢に入る業界が出始めている。
		旅行代理店（営業担当）	・ここに来て新型コロナウイルス新変異株の市中感染が進行しており、第6波の到来と考えてよいと思う。2022年1月はかなり多数の新規感染者が発生し、また自粛の世の中に逆戻りして旅行の中止・自粛となっていくことを危惧している。人流を止めずGo To Travelキャンペーンを実施してくれれば、ある程度の旅行需要は保てるので、政府には期待したい。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルス新変異株の動向と、中国寄りの政権への懸念がある。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		通信会社（企画担当）	・新型コロナウイルス新変異株による新規感染者数の増加という言葉自体が、心理的な抑制効果を与え、行動自粛につながっていくと思われる。
		テーマパーク（職員）	・年末年始にかけて、新型コロナウイルス新変異株でキャンセルが増えそうである。
		テーマパーク職員（総務担当）	・新型コロナウイルス新変異株の市中感染も報告され始めている。今後、新規感染者数の増加が見込まれ、感染拡大防止のための措置の発出が見込まれる。
		パチンコ店（経営者）	・コロナ禍の影響で新型コロナウイルス発生前の販売量や来客数に戻らない。業界全体で来客数の減少傾向がある。
		理美容室（経営者）	・段々と物価が上がって生活が苦しくなっていくと思う。
		美容室（経営者）	・新型コロナウイルス新変異株が出たため、客からは心配の声が聞こえてくる。外出を控える人が増え、景気が少し低迷すると思われる。
		美容室（経営者）	・新型コロナウイルス新変異株の影響がかなりある。
		その他住宅〔住宅管理〕（経営者）	・マンションのオーナーが入居者の募集を出してもなかなか入居者が決まらなると嘆いていた。全部景気のせいにしてきた。この先景気が良くなるような話は聞けなかった。
	×	一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルス新変異株でまた感染が拡大しそうな気がする。
	×	一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルス新変異株の感染拡大が非常に懸念される。2～3か月後が一番危険な状態になると思う。
	×	旅行代理店（経営者）	・新型コロナウイルス新変異株による消費の鈍化が見込まれる。
	×	旅行代理店（経営者）	・2月頃よりGo To Travelキャンペーンが開始される予定であるが、新型コロナウイルス新変異株の感染拡大も懸念され、開始がどうなるか微妙になっていると思われる。
	×	美容室（経営者）	・客は正月前に施術済みのため、1～2月はとても暇になる。
×	住宅販売会社（従業員）	・住宅設備の入荷も遅れているため、新築引渡しに支障が出ている。新築を担当している部署の要員をリフォーム部門に移してしのいでいる。住宅会社としての売上高も減少すると思われる。	
企業 動向 関連 (東海)		通信業（総務担当）	・ブースター接種が展開されることで、国内の新型コロナウイルス感染は現状維持と予測する。よって消費行動は今以上に上昇すると予想している。
		化学工業（営業担当）	・電材需要について、来年度は今年度比で8%以上の増加を見込む。
		電気機械器具製造業（経営者）	・新型コロナウイルス次第であるが、年度末に向けてある程度は設備投資が増えると期待している。
		輸送業（従業員）	・企業間の物量が増加している。
		輸送業（エリア担当）	・新型コロナウイルス新変異株も広がっており、また外出を控えるようになり、自宅にいて通販で買物をする人が増える。
		通信業（法人営業担当）	・生活保護申請の増加が止まらない状況であり予断を許さないが、政策の浸透もあり、少しずつ明るい兆しがみえてきている。
		金融業（従業員）	・当地の自動車産業は比較的活発化している。一部では新型コロナウイルスの影響で車やバイクの部品が入らず、納車はかなり遅れる状況にあるが、それでも飲食店などには活気があるため、数か月先にわたっての景気は、消費者にとって良い雰囲気となる。
		不動産業（経営者）	・新型コロナウイルス新変異株の感染状況にもよるが、更に活発になると予想される。
		不動産業（開発担当）	・建築資材や素材等の値上がりが出ており、景気が上向いていくであろうという期待を持つ。
		その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	・部品の納入停滞はもう少し続くと思われるが、徐々に解消され景気は少し上向くと考える。このような時期には新製品の開発が優先し、早く完成させることが大事である。
		食料品製造業（経営企画担当）	・原材料価格の高騰が続き、厳しいコスト管理を迫られ明るい兆しは見えにくい。
		窯業・土石製品製造業（社員）	・年明けには更に注文量が増えると一部の客から対応依頼の連絡があり、足元の繁忙はしばらく続きそうである。
	金属製品製造業（経営者）	・引き合いが横ばいである。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		一般機械器具製造業（経営管理担当）	・受注量、販売量の見込みから判断する。
		一般機械器具製造業（営業担当）	・今ある在庫分が売ってしまった後は、電子部品の不足により設備が製造できない状況が続く。また、物流経費が前年比5～6倍に高騰しているため、売れても利益が出ない。
		電気機械器具製造業（営業担当）	・しばらく状況は変わらないと思われる。
		電気機械器具製造業（総務担当）	・半導体部品の供給不足問題が大きく、当社で生産する機器も、減産するまでには至っていないがコスト高や設計変更に追われている。いつまでこのような状況が続くか不安である。
		輸送用機械器具製造業（品質管理担当）	・2年ほど前から人員整理が始まり、大分減っているが、来年から更に人員が減るといった情報が入っている。
		輸送用機械器具製造業（総務経理担当）	・ここに来て新型コロナウイルス新変異株が流行しており、部品の供給にまた支障が出ると心配している。そのため現状程度が続くと思う。
		輸送業（経営者）	・新型コロナウイルス感染を警戒した生活様式は今しばらく続くと考えられるため、人々の消費行動にも変化がないと思われる。
		輸送業（従業員）	・自動車産業などにおける部品供給の停滞により、運送業も影響を受けている。日本だけの話ではないので、景気がどうなるかはなかなか見通せない。
		輸送業（エリア担当）	・秋～年末にかけて新型コロナウイルスの感染が収まってきたこともあり、大方は景気が回復してくると思っているが、実際は予想よりもさほど伸びていない。消極的な景況感ではないにしても、何となく落ちている状態が今後も続くと思われる。
		輸送業（エリア担当）	・季節的な変動として、年末年始の休みで国際航空貨物は一旦下がる。
		金融業（従業員）	・新型コロナウイルス新変異株の影響による新規感染者数の推移にもよるが、現状の水準が続けば、Go To キャンペーン等により引き続き良くなると思う。
		金融業（企画担当）	・ウィズコロナの生活が定着しているものの、新型コロナウイルス新変異株の流行等不透明な面もあり、まだまだ自粛が続く。当面は現状の景気が続くと思われる。
		不動産業（経営者）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が減少していく状況は継続すると見込まれ、外出や遠出をする人が更に増加すると予想している。売上は徐々に回復していき、前年を上回る状況は当面は継続すると思われる。
		広告代理店（制作担当）	・年末年始に向けての帰省や旅行等による新型コロナウイルスや新型コロナウイルス新変異株の感染の動向をみながら、イベント等の企画や発注の量も変わってくると思われる。
		新聞販売店〔広告〕（店主）	・折込チラシの受注数も新聞購読者数の推移も、大きく変わるようなことがない。
		公認会計士	・コロナ禍の財務への影響は、回復に時間が掛かる。中堅・中小企業の問題の解決にも時間が掛かる。中堅・中小企業の問題解決へのサポーター不足や抜本的な政策がない。
		会計事務所（職員）	・新型コロナウイルス新変異株の拡大もあって、外出や遠出などが急速に拡大することはない。
		会計事務所（職員）	・製造業では原材料の価格高騰による仕入価格の上昇や商品自体の供給不足が続く、売上は上がり利益も取れない状況が続いている。根本的な解決方法もないため、しばらくこの状況は続くと思われる。
		食料品製造業（営業担当）	・取引先などの受注量は回復の見込みがない。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（顧問）	・新型コロナウイルス新変異株の感染拡大が懸念されているなか、原油価格の高騰等による原材料の値上がり分を販売価格へ転嫁できないため、収益面では非常に苦しい状況が続く、景気はやや悪くなる。
		化学工業（総務秘書）	・新型コロナウイルス新変異株の市中感染が年末に初めて確認された。クリスマス、年末年始を経て年明けから新規感染者数は増えていくため、また外出自粛が再開される。
		鉄鋼業（経営者）	・例年1月は季節要因で受注量は減るが、特に今期は先付けの受注が例年比でも5%くらい低い水準であり、良い要因がない。
		金属製品製造業（従業員）	・受注残の状況からみると、来春以降の仕事量確保には不安が残る。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		一般機械器具製造業（経理担当）	・鋼材価格が上がっていることに加え、物流がなかなか入ってこない。
		電気機械器具製造業（経営者）	・10月から実施された鋼材値上げによる製品単価への転嫁がじわじわと効く。受注残については従来の価格でこなしてきたが、今後の値上げ等を考えると若干消費は落ち込むと思う。
		輸送用機械器具製造業（管理担当）	・年明けに新型コロナウイルス第6波が来ると外出ができなくなり、景気は下降する。
		建設業（役員）	・資材などが思った以上に高騰している。一戸建て住宅でのウッドショック、マンションでの鉄や住宅設備の値上げなどで物件価格が1割アップになり、販売への影響を見込む。住宅税制も縮小となるため、客に対しては逆風ばかりである。
		通信業（法人営業担当）	・新型コロナウイルス新変異株が発生しており、新規感染者数が増えれば外出を控える人が増える。外食も控えることになるであろう。
		その他サービス業〔ソフト開発〕（社員）	・年始は営業日が少なく、来店客は見込めない。
	x	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響がかなり大きく、今後もまだ景気は悪くなる。景気だけでなく雇用の方も大変厳しい状態になっていくと思う。
雇用 関連 (東海)		-	-
		人材派遣会社（営業担当）	・求人数は堅調に増加傾向にあるが、人材不足で採用が徐々に難しくなっている。
		新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・期末に向けての地元企業の動きが良い。
		職業安定所（職員）	・輸送用機械器具製造業について、半導体等の部品も徐々にではあるが入り始めており、新型コロナウイルス発生前の状況に向かっていくと思われる。一方、新型コロナウイルス新変異株の感染拡大や原材料高もあり、先行きに不安要素もある。
		職業安定所（職員）	・企業の求人意欲は引き続き高い状況にあり、3回目のワクチン接種の前倒しも労働市場の活性化につながることを期待する。半導体製造関連は、引き続き好調が見込まれる。
		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルス新変異株の動向は気になるものの、経済活動としては一定のレベルで再開されており、やや上向きになるのではないかとと思われる。
		民間職業紹介機関（窓口担当）	・足元の新型コロナウイルス感染状況から、例年どおり年度末に求人数が最も増えることが予測され、景気の上昇が期待できる。
		民間職業紹介機関（営業担当）	・4月入社に向けて1月中旬以降は企業の採用意欲及び求職者数の転職意欲が高まる時期となる。
		学校〔専門学校〕（就職担当）	・企業の求人説明会やイベントのオンライン開催の機会も増え、そこからの個別訪問やインターンシップなども学生に定着しており、参加数も増えている。本学の学生も、従来会場で実施していたときと比べて動員数は遜色ない。
		人材派遣会社（経営企画）	・現状が継続する見通しである。
		人材派遣業（営業担当）	・外国人の入国が再開されれば回復の兆しがみえるが、再開されない場合は、当面厳しい状況が継続する見込みである。
		人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルス新変異株の新規感染者数が気になるところで、まだ期待はできないが、小規模の歓送迎会での予約が入っている。
		人材派遣会社（企画統括）	・新型コロナウイルス新変異株の動向が不透明であり、新規感染者数急増の不安が拭えない。
		人材派遣会社（営業担当）	・新型コロナウイルス第6波の有無によって左右されるので、見通しが立たない。
		新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・新型コロナウイルス新変異株が出現したため、観光や購買の需要も一気には回復せず様子見となる。新型コロナウイルスの感染が克服できたという段階まで、このままでいくのではないかと。
		職業安定所（所長）	・新規求人数は、前年同期と比較して増加傾向にあるが、介護や病院関係のいわゆる福祉関係の求人数の増加によるところが大きい。
		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルス新変異株の影響や、半導体や各種原料・素材などの不足感が増している。
		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルス新変異株の拡大により行動制限の動きが出ると思うが、景気に大きな影響は与えないと思われる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		職業安定所（次長）	・産業別新規求人数を前年同月と比較すると、基幹産業である製造業を始めほとんどの産業で増加しており、景気回復への期待を感じるものの、海外での新型コロナウイルスの感染拡大による部品等の供給不足や新型コロナウイルス新変異株の国内感染拡大の予測で、非製造業等からは先行きに不安の声を聞くようになってきた。
		人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルス新変異株の拡大が懸念される。
		アウトソーシング企業（エリア担当）	・自動車生産においては、9～12月の生産調整で減産した分を1～3月に巻き返しで行う。日本人はもとより外国人人材の確保も難しい状況で、土曜日出勤や残業が増え、コンプライアンスを厳守しながら残業時間の調整が必須となる。
	x	-	-

7. 北陸（地域別調査機関：一般財団法人北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連 (北陸)		商店街（代表者）	・消費意欲が少し出ているように見えるが、大きな買物の動きはまだ少ない。
		一般小売店〔鮮魚〕（役員）	・3回目のワクチン接種が進み、安心感が広がる。新型コロナウイルス新変異株は大きな騒ぎにはならないとみている。
		家電量販店（店長）	・一部世帯に給付金が給付されるため、期待が持てる。
		乗用車販売店（経営者）	・地方都市の自動車業界は繁忙期に入り、客の動きが増えたとみているので、やや良くなると考える。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・新型コロナウイルス新変異株の感染拡大が消費を左右すると考える。何らかの規制や自粛ムードにならなければ現状が一定程度の期間は続くともみている。
		通信会社（営業担当）	・卒業シーズンを迎え駆け込み需要が増えると考えますが、在庫不足で例年どおりの販売量にはならないとみている。
		住宅販売会社（従業員）	・ウッドショックが落ち着き、徐々に受注見込みが期待できる。
		住宅販売会社（営業）	・住宅ローン控除の延長やこどもみらい住宅支援事業を含む補正予算が成立したため、客の動機付けに大きなプラスになると期待している。
		一般小売店〔精肉〕（店長）	・新型コロナウイルスの感染が落ち着き、最近は外食産業が盛んになっている。そのため内食が弱くなっており、売上が減少してくると考える。
		一般小売店〔書籍〕（従業員）	・来年からも多くの商材で値上げが控えており、現状と変わらないと考える。
		百貨店（売場主任）	・新型コロナウイルス新変異株への警戒感は強まっているが、買物を控えてきた反動のリベンジ消費に期待したい。
		百貨店（販売担当）	・景気支援策による購買行動の活性化が原動力になるとみている。今後、支援策が減少していくと、やや低迷するか、以前の必需品のみの購入に戻ると考える。しかし、入学、卒業やフレッシュャー、結婚式などのモチベーション需要はやや回復すると見込んでいる。このモチベーション需要を捉える仕込みを実施することで、前年に比べて改善が見込めるとみている。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルス新変異株の感染拡大次第のため、先は見通せない。
		スーパー（統括）	・天候の影響を受ける業界なので、悪くなる要素はあるものの、特に大きくは変わらないと考える。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況次第である。
		衣料品専門店（経営者）	・第6波の状況次第で回復が遅れる可能性もあり、予断を許さない状況である。
		家電量販店（本部）	・新型コロナウイルス新変異株の影響が気掛かりである。給付金のみでは、先々の景気を上向きにすることは難しいと考える。
		乗用車販売店（役員）	・海外において財政緊縮や金利上昇が予測され、円安が進めば価格高騰により国内消費が減退して景気回復が更に遅れるとみている。
		自動車備品販売店（役員）	・新車納期の遅れが続き、関連商品の販売にも影響するとみている。タイヤが値上がりするという情報もあり、厳しい状況が続くと考える。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		住関連専門店（役員）	・新型コロナウイルス新変異株の感染拡大には注視が必要である。マーケットも左右される。給付金が給付されたことが救いではあるが、消費にどう影響を与えるのか全くみえない。
		その他専門店〔酒〕（経営者）	・これ以上悪くならないでほしいという意味で変わらないとしている。
		一般レストラン（統括）	・まだ新型コロナウイルスの感染が収束したわけではなく、新型コロナウイルス新変異株のまん延のおそれもあるため、年末以上に景気の右肩上がり状況が継続するとは考えにくい。また、新型コロナウイルスの感染が再びまん延する前に旅行などを楽しもうと思っている人が多く、消費者の行動から支出は今までより多い状態が続くとみている。しかし、12月のような大きな支出はないと考える。
		スナック（経営者）	・社会的な情勢や新型コロナウイルス新変異株の出現により、現状では予想が付かない。
		観光型旅館（経営者）	・新型コロナウイルスの新規感染者数にもよるが、近県を対象とした割引やGo To Travelキャンペーンも予定されており、回復傾向にあるとみている。
		観光型旅館（スタッフ）	・当面は県民割引を利用する地元客が中心で、県外客に対してはGo To Travelキャンペーンの再開を待っている。
		都市型ホテル（スタッフ）	・新年会の需要はほぼなく、新型コロナウイルス新変異株の状況次第で先行きは不透明で予測できない。第6波という最悪の状況への準備が必要だと考える。
		タクシー運転手	・当地における新型コロナウイルスの感染がそのまま少ない状態であれば、現在の日常生活を維持できると考える。
		通信会社（職員）	・ウィズコロナが日常になり、半導体不足が落ち着くまでは受注状況も一進一退が続くとみている。
		通信会社（営業担当）	・この先、大きな動きにつながる商材がないため、大きな変化は見込めない。
		通信会社（役員）	・今月と変わらず、通信、放送共に契約者数が前年同期並みに推移すると考える。
		通信会社（役員）	・世の中の動向としては新型コロナウイルスの影響で落ち込んでいた消費活動が回復傾向にあるとのことだが、当社事業からみると大きな変動要素は見受けられず、短期的には横ばいだとみている。
		テーマパーク（役員）	・新型コロナウイルスの感染拡大への懸念はあるものの、Go To Travelキャンペーンの再開に期待している。2～3か月先は現時点ではまだ不透明であり、どちらともいえない状況である。
		その他レジャー施設〔スポーツクラブ〕（総支配人）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が下げ止まっている。燃料費の高止まりに、年末には数年ぶりの寒波と上向く状況ではなさそうである。
		美容室（経営者）	・新型コロナウイルス新変異株の感染拡大が心配であるが、1年半以上コロナ禍の下で生活してきたという慣れがあり、経済や消費は今の状況が続くと考える。
		住宅販売会社（従業員）	・住宅価格は上昇しているものの実需は安定しており、若年層の購買では親又は祖父母による援助の形がまだしばらく続くとみている。金利上昇がみえるまでは、少なくともこの状況は続くと考える。
		住宅販売会社（従業員）	・各種支援金や税制の効果はどう影響するか分からないが、期待している。
		一般小売店〔事務用品〕（店長）	・まだまだ新型コロナウイルスの影響は大きく、外出する頻度は多くないので、2～3か月では店頭での客の購買意欲は戻らないとみている。
		百貨店（販売促進担当）	・新型コロナウイルス新変異株の感染状況次第だが、改善しつつあった外出や旅行などの行動に対して慎重になり、関連した婦人や紳士アパレルが低迷するとみている。また、食品を中心とした原材料高により、必需品の買物が主となり、高額品の購入につながりにくくなると考える。
		スーパー（総務担当）	・感染状況が落ち着いてきた矢先に、新型コロナウイルス新変異株の感染が広まりつつある。
		スーパー（仕入担当）	・主力商品の値上げの影響が大きいと予想する。年明けの商品状況と節約志向の高まりで、消費が低迷すると考える。
		コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルスによる影響がある。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスの報道次第で週末の客がテリケートに変動している。経費面での負担が大きく、3年前の95%程度まで回復した現在でも事業の継続が困難な状況である。公共事業関連の仕事をしている客の景気は良いように感じるが、地元の中小企業や1人親方のような事業主の仕事は減っていると聞いている。当事業所を含む小規模事業者ほど厳しい状況だと実感している。
		コンビニ（店舗管理）	・各種キャンペーンの効果が落ちてくるとみている。
		コンビニ（営業）	・新型コロナウイルス新変異株の動向次第ではあるが、一時期のような感染のピーク時より景気が悪化するとはみていない。
		衣料品専門店（経営者）	・過去の苦い経験から学習したことが新生活様式になじむまで時間が掛かると考える。
		乗用車販売店（従業員）	・自動車整備は順調にきているが、新車販売については半導体不足の影響がまだ続いている。
		高級レストラン（スタッフ）	・1月末までは県民割引プランが継続するが、2月以降は反動で来客数が減少するとみている。
		一般レストラン（店長）	・今は、Go To Eatキャンペーンや県民割引や市民割引の効果を感じている。新型コロナウイルス新変異株の流行が懸念され、どのくらい感染が続くのか不安である。
		都市型ホテル（役員）	・年末年始の宿泊予約が伸び悩んでいる。新型コロナウイルス新変異株による感染の再拡大及び燃料や食料品等の値上げにより、外食や旅行などの余暇に対する消費の抑制を懸念している。
		旅行代理店（従業員）	・他県の宿泊予約が割引キャンペーンの対象となったが、制度上旅行代理店を通すケースは客にメリットがなくなり、直接客がホテルに予約を入れるようになってしまっている。
		タクシー運転手	・12月は忘年会などで良いが、この先は新型コロナウイルスの影響でどのように変化していくのかが不明であり、期待できないと考える。
		パチンコ店（経理）	・遊技台の規制による撤去期日が1月末となっているので、2月以降は売上が減少しそうである。
	×	商店街（代表者）	・新型コロナウイルス新変異株の感染拡大は世界的にみても避けられそうになく、再び街中の閑散とした状況が目に見え、期待が持てない。
	×	商店街（代表者）	・新型コロナウイルス新変異株のニュースが出始めた頃より人通りが少なくなった気がする。年末年始商戦には期待したいが、今後の感染拡大が予想されるためGo To Travelキャンペーンが実施されるのかどうか注視したい。
	×	スーパー（店舗管理）	・近隣に生鮮を扱うドラッグストアが出店し、別の店舗では食品スーパーも出店予定のため、良くなる材料が見つからない。
企業 動向 関連 (北陸)		-	-
		一般機械器具製造業（総務担当）	・半導体関連は引き続き好調で、増産のための設備投資などが今後も見込める。
		精密機械器具製造業（役員）	・新型コロナウイルス新変異株が気になるころではあるが、年明けより更なる増産を予定している。
		輸送業（管理会計担当）	・11～12月の状況から、引き続き物量の回復を見込んでいる。
		通信業（営業）	・既に来年4月以降導入分の受注獲得や予算取りのための見積り依頼も増えつつあるため、新型コロナウイルスの影響が落ちている現状においては、今後の景気回復を見込んでいる。
		金融業（融資担当）	・これまでコロナ禍の影響を強く受けていた業種の需要が回復傾向にあり、年末に向けて個人消費も緩やかに増加している。その一方、半導体不足や資材価格の上昇による企業収益の低下が顕在化しており、動向を注意深く見ていく必要がある。
		司法書士	・脱炭素やデジタルトランスフォーメーションへの対応など、新しい事業展開を計画し、積極的に投資を検討している企業が多い。
		繊維工業（総括）	・外国人技能実習生を中心とした人手不足や原材料価格の高騰による収益圧迫を課題にあげる企業が増加している。
		プラスチック製品製造業（企画担当）	・世界的な新型コロナウイルスの感染まん延や新型コロナウイルス新変異株の拡大、日本でも引き続き第6波の懸念があり、個人消費はなかなか本格的に回復しないとみている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		金属製品製造業（経営者）	・2～3か月先分の注文の入り具合から見て、変わらない。
		一般機械器具製造業（経理担当）	・オートバイ用の部品需要が旺盛で、輸出中心に受注が好調に推移しているとともに、産業機械用部品についても企業の設備投資需要の回復に伴い、順調な受注状況で推移している。一方で自動車関連については、半導体や新興国での一部サプライヤーの部品供給能力不足等により、完成車の生産調整の影響を受け、受注が引き続き低調に推移している。
		建設業（経営者）	・12月末にまとまった雪が降り、当社でも除雪作業に従事している。大変な仕事だがそれなりに利益が確保できるので、工事現場での作業ができない分、助かっている。年度末にかけての工事発注は今のところ大きく期待できなさそうである。
		輸送業（役員）	・依然としてコロナ禍明けが不透明である。
		税理士（所長）	・現在のところは新型コロナウイルス新変異株次第である。他も同じだと思うが、景気が上がる要素が弱い。新型コロナウイルス新変異株が消える、あるいは新型コロナウイルスによる制約がなくなればリベンジ消費があるとみているが、潜在的な成長力が弱いと感じる。また、円安で材料費が上昇している傾向もこれから顕著になるとみられ、不安が一杯である。
		食料品製造業（経営企画）	・原材料や燃料のコストアップがボディーブローのように効き始めている。来春頃に製品価格の値上げを計画しているが、成功するか否か半信半疑である。
		建設業（役員）	・一部の原材料価格が依然として高値基調が続いており、加えて納品までかなりの期間を要し、業績に大きな影響を与えている。
		金融業（融資担当）	・資源高の影響がはじめており、取引先の利率を悪化させている。新型コロナウイルス新変異株においても流行の兆しがあり、加えて天候も大雪が予想されており、小売業は苦しい状況が続く見通しである。
		不動産業（経営者）	・個人客からの問合せが少ないことから、2～3か月先が忙しくなるとはみていない。
	x	-	-
雇用 関連 (北陸)		職業安定所（職員）	・新年度の求人が出てくるとみている。
		民間職業紹介機関（経営者）	・新型コロナウイルス新変異株に注意しながらではあるが、小売業などから活性化してくるだろう。求人も次第に増える可能性があるかとみている。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・大きな雇用の話がない。
		新聞社〔求人広告〕（営業）	・新型コロナウイルス次第である。不安が一掃されないと、本格的に動き出す感じがしない。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・新型コロナウイルス新変異株の状況が見通せないなかで、人々の経済活動も一進一退を繰り返している。
		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルス新変異株の影響がまだみえないが、年末年始に人の移動が盛んになることによる影響が出てくれば悪くなるとみている。
		職業安定所（職員）	・数か月前よりは上向きだが、先行き不透明と答える企業が多い。
		学校〔大学〕（就職担当）	・求人数について、状況が変わる要素や気配が見受けられない。
		人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルス新変異株の影響により、求職者が状況を静観して停滞若しくは悪化するとみている。
	x	-	-

8. 近畿（地域別調査機関：りそな総合研究所株式会社）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
----	----------	-------	----------------

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (近畿)		百貨店(服飾品担当)	・新型コロナウイルスの新規感染者数が横ばいで推移し、来店客の感覚がコロナ禍前に近い状態に戻っている。予断は許されないものの、前向きな購買スタイルに戻ってきたと感じる。海外への渡航はまだまだ先が見えないものの、その分、国内での消費に関心が向いている。その一方、外国人の来日はまだ難しいが、代理購買による売上が伸びており、現地では購入できない希少性の高い商品への需要はかなり高まっている。今後、徐々にインバウンド市場は回復に向かうことから、上向きとなることが予想される。
		百貨店(外商担当)	・新型コロナウイルスの感染第6波への懸念はあるが、感染対策を続ければ、リベンジ消費の勢いは加速すると予想される。
		百貨店(マネージャー)	・新型コロナウイルスの感染状況が小康状態のなか、前年の緊急事態宣言による影響の反動もあり、国内消費では慎重な行動や購買活動が続き、一定の景気改善は進むと予想される。本格的な改善には、海外を含めたコロナ禍の収束や、旅行業の回復がポイントとなる。
		家電量販店(経営者)	・省エネ型給湯器を始め、半導体不足で納期が遅れている商品の納入が進めば、販売量が増え、景況感は上向くと予想される。
		観光型ホテル(客室担当)	・コロナ禍が収束することにより、状況は良くなる。
		ゴルフ場(支配人)	・年末年始の大雪の影響で、営業ができていない。季節要因であるが、景気は悪化している。今後営業が可能となれば、景気は良くなる。
		一般小売店[衣服](経営者)	・1月に入ると、衣料品店は特に売上が伸びる時期であるため期待している。ただし新型コロナウイルスの新規感染者数が増えると、また来客数が減ってしまうため、例年のようには期待できない。
		一般小売店[菓子](営業担当)	・前年と比べると落ち込みは少ない気がするが、新型コロナウイルス新変異株の感染が広がることを考えると、先行きが心配である。
		百貨店(売場主任)	・新型コロナウイルスの感染第6波が心配されるが、ウイルスの弱毒化も含めて、安心材料も出ている。今後は順調に回復することを期待している。
		百貨店(店長)	・新型コロナウイルスの新規感染者数がこのまま増えなければ、国内外での旅行が増え、人流もより一層増える。それに伴い、消費の増加が予想される。
		百貨店(マネージャー)	・新型コロナウイルス新変異株の感染拡大や3回目のワクチン接種など、様々な要素が見受けられるが、リベンジ消費への意欲は引き続き高まると予想される。特に、春に向けては外出の機会が増えるため、衣料品の買換え需要に期待している。
		スーパー(店長)	・コロナ禍の動向次第で分からない面もあるが、前年は年明けも販売不振であったため、景気は良くなると予想している。
		コンビニ(経営者)	・企業の出勤人数は、現在の低い水準が続きそうであるが、出張や観光客の動きが出てくることで、周辺のホテルの宿泊者数は増加が見込まれる。それに伴い、来客数の増加が期待できる。
		コンビニ(経営者)	・このまま景気が回復することを期待している。
		コンビニ(店長)	・前年に比べて、コロナ禍の影響が小さくなっている。
		衣料品専門店(店長)	・まだまだ新型コロナウイルスの影響が続くなか、様々な報道もあるが、深刻な影響は回避できている。新型コロナウイルス新変異株に関しても、重症化しにくいという特徴を前向きに捉え、3か月後に来店するという声もあるため、今後に期待している。
		家電量販店(店員)	・子育て世代への給付金による需要が見込めるため、売上にも好影響が出る。
		乗用車販売店(経営者)	・新型コロナウイルスの感染が収束に向かっているが、新型コロナウイルス新変異株の動向次第では悪くなる可能性がある。
		乗用車販売店(販売担当)	・需要はあるが、商品が圧倒的に少ない。景気は回復傾向にあるものの、販売台数の動きは全く追いついていない。
		その他専門店[医薬品](管理担当)	・マスクなどの衛生用品の売上は依然として伸びないが、食品や日用雑貨、嗜好品の売上は増加し、客単価も上昇傾向にある。今後も同様の傾向が続くと予想される。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他小売〔インターネット通販〕（経営者）	・今の状況を反映して、商店街の各店舗が販売を強化し、従来の販売方法を新たに見直せば勝算はある。
		一般レストラン（企画）	・客単価の上昇により、売上はカバーできると予測しているが、来客数は深夜の営業時間の短縮もあり、元に戻ることは難しい。また、新型コロナウイルスの新規感染者数も増加傾向にあり、感染症対策の内容によっては悪化することも考えられる。
		都市型ホテル（スタッフ）	・少人数での宴会のほか、クリスマスディナーといったイベント関連の客足が戻っている。一方、来月以降も1テーブルで4人までという制限が延長されたことで、宴会のキャンセルが相次いでいる。また、新型コロナウイルス新変異株の発生による自粛の動きも増えており、厳しい状況がしばらく続くと思われる。
		都市型ホテル（管理担当）	・新型コロナウイルス新変異株の感染対策ができるようになり、春のシーズンには宿泊客が増加すると予想している。
		都市型ホテル（管理担当）	・人流が回復傾向にある。
		都市型ホテル（販売促進担当）	・新型コロナウイルスの影響がなければ、必ず良くなる。営業先でも、取引先からはコロナ禍次第と聞いている。府の観光振興策で動きが増えたと感じるため、本当に客が動き出すのは、完全にコロナ禍が落ち着いた後であり、不安がなくなるのは更に先であると感じる。
		旅行代理店（店長）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が急激に増えることなく、Go To Travelキャンペーンが再開されれば、一時的に販売が増えてやや良くなる。
		旅行代理店（支店長）	・経口薬の普及や、Go Toキャンペーンの再開決定、インバウンドの入国に関する規制緩和の開始など、世の中の交流を促す動きが増えると予想される。
		旅行代理店（役員）	・県民割の対象地域が、大阪や京都、岡山、鳥取、香川といった隣接府県にも拡大されるため、更なる需要の拡大が予想される。
		タクシー運転手	・年末年始にかけて、少しずつ旅行のパンフレットの配布数が増えている。今後は、新型コロナウイルス新変異株の感染状況次第となるが、3回目のワクチン接種もあるため、ある程度は抑えられると期待される。
		観光名所（経理担当）	・新型コロナウイルス新変異株の重症化率が低いことに加え、重症化を防ぐ飲み薬も出ており、感染したら終わりという状況から変化してきている。
		遊園地（経営者）	・平時の水準は下回るものの、前年を大きく上回る来客があり、消費にも積極的で、前月よりも回復が実感される。新型コロナウイルス新変異株の発生による影響は、現時点ではみられないものの、まだ明るい見通しを持つまでには至らず、投資などの判断は慎重にならざるを得ない。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルス新変異株の感染拡大が予想されるため、高齢者の外出が慎重になる。
		一般小売店〔時計〕（経営者）	・新型コロナウイルスの影響が少し落ち着いたようにみられるが、まだまだ油断できない状況である。客と話をしていると、多くの方が疑心暗鬼になっている。お金を使わずに、持っていることで安心すると感じるため、まだまだ景気はシビアな状況が続くそうである。
		一般小売店〔花〕（経営者）	・このまま取引先の営業が安定してくればよいが、新型コロナウイルス新変異株の影響でどうなるか、全く予想がつかない。
		一般小売店〔野菜〕（店長）	・来年以降、新型コロナウイルス新変異株の感染が広がるようであれば、急激に状況が変わる。
		一般小売店〔呉服〕（店員）	・店舗が来場者の多い大型商業施設に入っているため、密となる状況を恐れて、来店を控えることが考えられる。
		百貨店（売場主任）	・新型コロナウイルスの感染収束時期が不透明であり、原材料価格や物流費の高騰で商品単価も上昇している。中間層の客は所得が増えないなか、積極的な消費には結び付かない。取引先でも人件費の削減や商品の生産抑制といった経費削減の施策が目立っており、大きな改善は望めない。
		百貨店（企画担当）	・10月以降、改善傾向が続いてきた国内売上は、ほぼ現状のまま推移すると予想される。インバウンド売上についても、当面は今のままと考えられる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		百貨店（企画担当）	・このまま少しずつでも回復すればよいが、新型コロナウイルス新変異株の感染が拡大すれば、現在の上向き傾向は止まってしまう。いずれにしても、コロナ禍前の水準に戻ることはない。
		百貨店（売場マネージャー）	・新型コロナウイルス新変異株の発生により、徐々に新規感染者数が増加傾向にある。増加のペースによっては、先行きの不透明感が更に高まる。
		百貨店（サービス担当）	・今後は新型コロナウイルス新変異株の市中感染の拡大が懸念されるが、今までの感染症対策を参考に営業活動を維持することで、売上は確保できると考えられる。
		百貨店（売場マネージャー）	・10月に全国で緊急事態宣言が解除され、来客数が増加傾向となっているが、今後は新型コロナウイルス新変異株の感染状況に左右されると懸念している。
		百貨店（販促担当）	・今はコロナ禍からの反動で、動きが活発化しつつあるが、春先も同様に活発な動きが続くと予想される。新型コロナウイルス新変異株の感染拡大への懸念はあるが、3回目のワクチン接種や更なる医薬品の開発期待などから、緊急事態宣言が発出されるような状況にはならない。2年ぶりに春を満喫し、花見や新年度の集い、お祝い需要などで消費が活発に動く予想している。今後も、良い物やこだわりの物を中心とした商品展開や、体験型商品の提案が重要だと認識している。
		百貨店（商品担当）	・新型コロナウイルスの感染第6波の発生で、不安な年末年始となりつつあり、前月から回復に向かっていった売上にもしブレーキが掛かっている。新型コロナウイルス新変異株に対応したワクチンの追加接種や、治療薬、医療体制の整備、ウィズコロナの体制の確立といった条件がそろうまで、消費の回復には少し時間が掛かりそうである。
		百貨店（販売推進担当）	・新型コロナウイルスの感染第6波が気掛かりであるが、発生しなかったとしても、コロナ禍前とは生活様式が大きく変わっており、以前の水準に戻ることは困難である。
		百貨店（営業推進担当）	・新型コロナウイルス新変異株の感染拡大に伴う不安から、消費マインドは大きく回復しない。
		百貨店（マネージャー）	・売上の推移を景気の変化と考えると、次のような2つの動きがみられる。1つは、新型コロナウイルス新変異株などの感染拡大で、直近の来客数や売上は増加傾向が止まりつつあり、ここ数か月のような回復傾向がみられない。2つめは、来客数は増加しているものの、売上が比例していない。コロナ禍の影響は大きいですが、必要な物と不要な物との選別が消費者の間に根付きつつある。その結果、今後は成長するカテゴリーと悪化するカテゴリーが二極化し、結果的に売上は大きく変わらないと予想される。
		百貨店（特選品担当）	・新型コロナウイルス新変異株による新規感染者数が、日に日に増えている。重症者数は少ないものの、今までの経験から先行きは不透明であり、油断はできない。
		百貨店（宣伝担当）	・新型コロナウイルス新変異株の脅威はあるものの、感染対策をきっちりしていれば、必要以上に不安がなくてよいとの認識が、高齢者にもある程度浸透している。急激な人流の減少は、取引先を含めて想定しておらず、年明けから春にかけては、前々年比で80～90%まで売上が回復すると予想し、商材を確保している。
		スーパー（店長）	・まだコロナ禍の収束が見通せないなか、状況は大きく変わらない。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルス新変異株の感染拡大のおそれが出てきたため、外出や旅行、帰省などにブレーキが掛かってくる可能性がある。
		スーパー（企画担当）	・新型コロナウイルス新変異株の感染拡大による外出自粛がなければ、現状の動きが続く。
		スーパー（企画担当）	・新型コロナウイルス新変異株の新規感染者数が増えている状況で、以前のような自粛モードになると、家庭内での食事や調理需要が増える。食品スーパーとしては売上の増加につながるが、いい加減に通常の消費に戻ってほしい。
		スーパー（経理担当）	・新型コロナウイルス新変異株の感染拡大傾向がみられ、今後の推移が懸念される。ただし、重症化リスクが大きくなり、経済活動に大きな制約がなければ、外出や外食などの支出も増加し、平常時の動きに戻っていくと考えられる。その場合、食品スーパーとしては売上減少となる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		スーパー（販売促進担当）	・コロナ禍に対する警戒感が落ち着き始めたと感じる。コロナ禍前の生活スタイルには戻らず、現状がしばらく続くと思っている。
		スーパー（開発担当）	・値上げなどによる物価の上昇により、景気が悪化していく。その影響で賃金の上昇は見込めず、インフレだけが進んでいく。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルス新変異株の新規感染者数が増えている。感染を抑えられるかどうかで、今後の経済状態が変わってくる。
		コンビニ（経営者）	・どの職種でも人員が不足している。売上が完全に回復したわけでもないのに、人手不足に陥っているため、満足な経営ができない。
		コンビニ（店長）	・来客数は微増であるが、徐々に増えているわけではない。しばらくはコロナ禍前の状態に戻る気がしない。
		コンビニ（店員）	・今の状況では、景気が上向き期待は薄い。
		コンビニ（店員）	・年末年始でさえ売上は伸びず、買い控えの傾向がある。子育て世代に対する給付金も、貯金に回るといふ声をよく聞く。
		衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルス新変異株の感染拡大が予想され、景気の回復は見込めない。ただし、来年度には多少期待している。
		衣料品専門店（営業・販売担当）	・高額のスーツは売れるが、一般価格のスーツが売れない。
		家電量販店（企画担当）	・世界的な半導体不足のほか、ガス給湯器や省エネ型給湯器、トイレ、IHクッキングヒーターなども部品が欠品となっている。在庫のない状態が続いているため、見通しが立たない。
		乗用車販売店（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で新車の納期が遅れているため、売上が良くない。
		乗用車販売店（経営者）	・新型コロナウイルス新変異株の感染拡大懸念はあるものの、一時的にコロナ禍が収束しているため、消費が戻ってきている一方、人手不足が深刻な問題になっている。今後は新型コロナウイルス新変異株の感染拡大が懸念されるため、景気もまだ正常には戻らない。
		乗用車販売店（販売担当）	・新型コロナウイルスの世界的な感染状況から、部品供給面での回復が期待できない。メーカーの増産に期待するのは危険である。
		乗用車販売店（営業担当）	・少し回復するものの、半導体不足の影響で納期が遅れていることもあり、横ばいでの推移が予想される。
		その他専門店〔宝石〕（経営者）	・新型コロナウイルスの影響と、物価の上昇が続いていくため、客の心理面に対するネガティブな影響が続く。
		その他専門店〔ドラッグストア〕（店員）	・新型コロナウイルス新変異株の感染拡大により、更に来客数が減る。旅行関連の商品も余り動いてないように感じる。
		その他専門店〔スポーツ用品〕（経理担当）	・停滞した経済情勢に大きな変化はない。特定の人に給付金を出しても、給付を受けない人の消費に変化はない。ただし、年末年始の消費に限っては期待感がある。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（経理担当）	・新型コロナウイルスの感染第6波が、いつどのような規模で発生するのかが不透明であるため、今後の予想は立てにくい。
		その他小売〔インターネット通販〕（オペレーター）	・新型コロナウイルスの感染第6波にもよるが、今のところは目立った新商品の予定もないため、変わらない。
		高級レストラン（スタッフ）	・今月は自粛解除の動きと年末商戦が重なったが、年明けはある程度動きが落ち着く。
		高級レストラン（企画）	・Go To Travelキャンペーンの再開はあるものの、新型コロナウイルスの感染第6波の影響が、来年1～2月頃に顕在化することが予想される。
		一般レストラン（店員）	・新型コロナウイルス新変異株の影響がどうなるかによって、今後の状況が左右される。
		その他飲食〔ファーストフード〕（店員）	・新型コロナウイルスの新規感染者数は一旦減少しているが、新型コロナウイルス新変異株が発生したため、客の間では買い控えがみられる。
		その他飲食〔自動販売機（飲料）〕（管理担当）	・まだまだ思い切って外出する気になれないなど、コロナ禍の収束までにはまだ時間が掛かる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		観光型ホテル（経営者）	・新型コロナウイルスの感染収束に大きな期待を持っていたが、新型コロナウイルス新変異株が発生し、様々な活動が止まっている。
		都市型ホテル（総務担当）	・新型コロナウイルス新変異株の感染拡大が予想されるが、重症者数や死者数の増加には至らない。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルス新変異株の感染状況を皆が注視している。不安を解消する材料が3回目のワクチン接種しかなく、感染拡大による影響が今後の動きにすぐ反映されるため、まだまだ景気は平行線をたどる。
		タクシー運転手	・企業による年末の挨拶回りなどでのハイヤー予約が復活しつつあるが、飽くまで季節的な需要であり、先行きに期待はできない。
		通信会社（経営者）	・新型コロナウイルス新変異株の影響で、今後も厳しい状況が続く。
		通信会社（企画担当）	・緊急事態宣言解除後は、アミューズメント施設の集客が改善傾向にあり、ゲーム機の新製品購入が期待できる。ただし、新型コロナウイルス新変異株により状況が再び悪化する懸念もあるため、予断が許されない。
		テーマパーク（職員）	・景気に復調の気配がみられるたびに、増税をちらつかせるなど、現政権は消費を拡大したいのか、増税がしたいのかよく分からない。このような状態では消費者の財布のひもが緩むことはないため、厳しい状況が続く。
		観光名所（企画担当）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が減少し、社会生活が少し戻っているが、これまでのこともあり、まだ現状ではどうなるか判断が付かない。
		競艇場（職員）	・今年はコロナ禍の影響でインターネット投票の会員が増加し、高い水準で売上が増えた。また、土日、祝日には、本場や場外発売場への若年層の来場が確実に増えている。新型コロナウイルスの今後の感染状況にもよるが、しばらくは今の好調が続くそうである。
		その他レジャー施設 [イベントホール] (職員)	・新型コロナウイルス新変異株の感染状況によるが、全体的には人流が戻りつつあると感じる。新型コロナウイルス新変異株がブレーキになっているため、仮に重症化しないとの判断が出れば、経済活動が活発化する。
		その他レジャー施設 [複合商業施設] (職員)	・新型コロナウイルス新変異株による感染第6波の影響次第であるが、消費マインドは低下している。
		その他レジャー施設 [球場] (経理担当)	・新型コロナウイルスの新規感染者数は少ない状態を維持しているが、今後は新型コロナウイルス新変異株の感染拡大が懸念される。プロ野球シーズンが終わり、1～2月はイベント開催日が5日間であるため、来場者数は減少する。なお、3か月後の状況は不透明であるため、現状と変わらないと判断される。
		美容室（店員）	・客の購買意欲をみると、今後も大きくは変わらない。
		その他サービス [マッサージ] (スタッフ)	・オイルマッサージで服を脱ぐため、寒い時期よりも、暑い時期の方が来客数は増える。
		その他住宅投資の動向を把握できる者 [不動産仲介] (経営者)	・金融機関の融資姿勢に変化はみられない。今後は新型コロナウイルスの感染状況に左右されるため、良くなるとも悪くなるともいえない。
		その他住宅 [展示場] (従業員)	・バーチャルリアリティを使った各展示場のモデルハウス紹介をSNSで展開し、見学の予約数を増やして契約につなげる手法が主流となっている。コロナ禍でイベントが実施できない影響は、今後もないと考えられる。
		その他住宅 [住宅設備] (営業担当)	・制御基盤や配線、スイッチ類といった電気系統の部材調達が大きく遅れており、回復の見通しが立たない。客への部品交換の提案にもストップが掛かっており、販売の機会損失が生まれている。
		その他住宅 [情報誌] (編集者)	・富裕層向けの投資用不動産は、引き続き好調に推移する見込みであるが、実需用不動産の今後の動向が懸念される。
		一般小売店 [事務用品] (経営者)	・新型コロナウイルス新変異株の発生もあり、今後は様々な業種に支障が出てくる。
		一般小売店 [鮮魚] (営業担当)	・前受け受注もほとんどなく、先行きが不透明である。
		百貨店 (外商担当)	・新型コロナウイルス新変異株の感染が広がる可能性があり、それに伴って消費が再び冷え込むと予想される。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		スーパー（経営者）	・小麦粉や大豆、植物性油脂など、家畜の飼料にも使われるベーシックな商材の値上げが前年は相次ぎ、今後も予定されている。一部の商品は5回目の値上げとなっている。世界の景気、特に日本の景気の回復が鮮明であれば、値上げを吸収できるが、それが難しければ必ず価格競争が復活する。現状、新型コロナウイルス新変異株の感染拡大も懸念されており、先行きは不透明である。
		スーパー（店長）	・原材料価格の値上げもあり、年明け後は買い控えや節約傾向が強まると予想される。
		スーパー（店員）	・当店のすぐ近くに、同じ24時間営業のスーパーがオープンするため、かなり影響を受けそうである。
		スーパー（社員）	・新型コロナウイルス新変異株の感染拡大が懸念されている。ただし、これまでは感染の拡大や外食の時短営業が内食需要の増加につながってきたが、徐々につながりにくくなっていると感じる。むしろ、客の節約志向の高まりが気掛かりである。
		コンビニ（店員）	・新型コロナウイルスの感染拡大による影響が出てくる。最近はやや緩みも感じられ、マスクを着用していない人も増えていると感じる。買物の量などは特に変わらないが、これから少しずつ影響が出てくると予想している。
		コンビニ（店員）	・例年2月は売上が落ちる。
		衣料品専門店（販売担当）	・新型コロナウイルス新変異株の新規感染者が増えると予想される。今後の状況次第では、また緊急事態宣言が発出されると心配している。
		家電量販店（店員）	・18歳以下に対する給付金の効果が期待されたが、来客数の増加がみられない。店舗では給付金に関する対策を講じているが、全く効果がない。来客数が増加し、購買意欲も回復しない限り、厳しい状況は続く。
		家電量販店（店員）	・コロナ禍の継続で、仕事を含めた生活環境が変化しており、全体的にあと4～5年は現状維持が続きそうである。特に、高校生ぐらいまでの子を持つ世帯は、世代的にも厳しいそうなので、食べる物以外は貯蓄が優先される。
		家電量販店（営業担当）	・ここへきて新型コロナウイルス新変異株の感染が広がりそうなので、また自粛ムードが強まりそうである。
		家電量販店（人事担当）	・新生活需要への期待もあるが、地元重視の就職や進学も多く、厳しい状況が続きそうである。
		その他専門店〔宝飾品〕（販売担当）	・人流は増えているが、来客数は相変わらず少ない。客からの話でも、控えていた旅行や会食などの話が増えているように、消費は旅行や飲食に向かっている。
		一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況について、まだまだ油断できないため、まん延防止等重点措置や緊急事態宣言が発出される不安は大きい。外食産業の景気が回復するためには、やはりコロナ禍の収束が必要であり、まだ時間が掛かる。
		一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルス新変異株の感染状況次第で、来客数は減少する。
		観光型ホテル（経営者）	・1月4日から県民割の対象地域が拡大されるものの、Go To Travelキャンペーンの再開時期もまだ発表されておらず、余り明るい材料がない。
		観光型旅館（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況と、Go To Travelキャンペーンの再開時期に大きく左右されるため、予想が難しい。
		観光型旅館（経営者）	・Go Toキャンペーンの再開待ちか、少し動きが悪くなっている。
		都市型ホテル（フロント）	・元々閑散期に当たるほか、都市の中心から外れた立地であるため、自治体の施策による恩恵を受けにくい。
		都市型ホテル（客室担当）	・緩やかながら予約数は回復していたが、新型コロナウイルス新変異株の影響で予約のペースが急激に落ち、キャンセルも増加している。増えていた間際の予約も減少している。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルス新変異株の影響で悪くなる。
		通信会社（社員）	・新型コロナウイルス新変異株の感染拡大状況や、それに伴う緊急事態宣言の発出の有無にも左右される。
		通信会社（社員）	・消費がなかなか戻らない状況で、多チャンネルサービスについては、インターネット経由での提供に切り替わる傾向が顕著である。サービスの利用が何とか増えていることが、頼みの綱である。
		通信会社（企画担当）	・新型コロナウイルス新変異株による、感染第6波の発生が予想される。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他レジャー施設 [飲食・物販系滞在型施設] (企画担当)	・新型コロナウイルス新変異株による、感染第6波の発生を懸念している。
		その他サービス [学習塾] (スタッフ)	・新型コロナウイルス変異株の感染が落ち着いたところで、新たに新型コロナウイルス新変異株の感染拡大の兆しがみられる。先行きへの不安感が消費にも影響を与える。
		住宅販売会社 (経営者)	・既存住宅の在庫が激減しており、今後は成約件数の減少が予想される。材料の調達も難しくなっていることから、新規着工件数にも影響が出る。
		住宅販売会社 (経営者)	・今年の夏頃から、建築建材の価格が上がり始めており、いまだに上昇が続いている。
		住宅販売会社 (経営者)	・インターネットの活用に向けた、大手流通企業への需要の集中が加速し、中小零細企業は厳しい状況が続くと予想される。
	x	一般小売店 [衣服] (経営者)	・新型コロナウイルス新変異株の感染が今後拡大すれば、再び新規感染者数が増えると予想される。海外の様子を見る限り、日本もまた大きく増える不安があるため、景気の悪化が懸念される。
	x	スーパー (店員)	・2～3月に、12月の売上を上回することは厳しい。新型コロナウイルスの新規感染者数が増えているため、数か月後の客足に不安もある。
	x	衣料品専門店 (経営者)	・家族で公園や街をぶらぶらするのではなく、友人たちとの会合など、見栄を張って出掛けるような機会がなければ、服が売れない。
	x	乗用車販売店 (経営者)	・仕入価格が高いか、商品がないかのどちらかである。いつまで今の状況が続くのか、分からない。
	x	住関連専門店 (店長)	・輸入原価の高騰、貨物の入港の遅れなどが目立ち、売りにくさはむしろ増している。
x	競輪場 (職員)	・新型コロナウイルス新変異株の感染拡大が懸念されるほか、物価の上昇も不安材料である。	
企業 動向 関連 (近畿)		木材木製品製造業 (経営者)	・コロナ禍の影響で、通常の営業ができなくなっており、売上、利益共にかなり低迷している。旧正月が明ければ、ある程度コンテナ不足も改善され、海上運賃も通常の水準に向かう。それに伴い、これまでの販売価格でも利益が出るようになると予想している。
		金属製品製造業 (経営者)	・年度末にかけて通常の動きに戻るといって、受注の内示があったため、期待している。
		金属製品製造業 (営業担当)	・国内の建築向けの受注も底を打ち、少し出荷量が増えつつある。
		一般機械器具製造業 (経営者)	・取引先の投資姿勢が少し前向きになってきたように感じる。受注の回復には至っていないが、引き合いが少し活発になっている。
		電気機械器具製造業 (経営者)	・本当はしばらく様子を見る必要があるが、それでも景気は悪くならないと判断している。
		輸送用機械器具製造業 (役員)	・受注が増えつつあるが、納入は来年の8月以降となっている。
		その他製造業 [履物] (団体職員)	・新型コロナウイルスの新規感染者数が落ち着きを見せる一方、新型コロナウイルス新変異株の感染が広がっているが、ワクチン接種や経口薬の普及により、インフルエンザと同じような扱いとなれば、経済も上向きになることが期待される。
		建設業 (経営者)	・動き出した案件があるほか、年度末の駆け込み受注も予想されるため、やや良くなる。
		輸送業 (営業担当)	・お歳暮やおせち、冷凍のカニなどの運賃が値上がりした一方、予算が決まっているため、購入商品は全体的に安い物になっている。ただし、荷物量の増加もあり、運送業者は利益が増えている。
		金融業 [投資運用業] (代表)	・新型コロナウイルスの新規感染者数は減少しており、経済活動も再開している。数か月では難しいかもしれないが、1～2年を掛けて回復が進む。
		広告代理店 (営業担当)	・今年は毎月、紙媒体、Web媒体共に、広告売上は前年を上回る状態が続いている。
	経営コンサルタント	・取引先の販売戦略面では、年末や春先に向けて戦略を立てて推進してきた結果、成果が上がりがつつある。人材育成面においても、これまで培ってきた戦略を更に深めていく。	
	繊維工業 (総務担当)	・取引先の販売の増加に伴い、出張の頻度が増加し、経費が増えている。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	・原材料価格が上がっているが、どこまで価格転嫁できるかわからない。
		出版・印刷・同関連産業（企画営業担当）	・来年度の受注量も、今年度と大きくは変わらないと予想している。
		化学工業（経営者）	・ここ数か月は受注量、販売量共に、前年比で110%、前々年比で90%といった水準で推移しており、大きな変化はない。
		プラスチック製品製造業（経営者）	・景気の良くなる材料が少なすぎる。低成長のなかでも利益を出す仕組みがあるため、落ち込みはないが、プラス材料を見出さなければ先行きが心配である。
		窯業・土石製品製造業（管理担当）	・新型コロナウイルス新変異株の感染拡大で、先行き是不透明である。新薬の開発は着実に進んでいるが、新型コロナウイルス新変異株の感染が広がる可能性もある。先行き是不透明であるが、経済も回す必要があるため、人流が極端に減ることはないと言われている。さらに、円安や原材料価格の高騰、半導体の供給不足などの懸念材料もあるが、景気に大きな影響はなさそうである。
		金属製品製造業（開発担当）	・受注が増えない恐れがある。
		一般機械器具製造業（設計担当）	・様々な資材や部品の供給不足があるほか、価格高騰の影響も出てくるが、まだ許容範囲であると感じる。
		電気機械器具製造業（経理担当）	・半導体を始めとする電子部品の入手に、かつてないほど苦労している。この状況では全く先が見通せず、引き合いがあっても受注に踏み切れない。半導体に関しては、以前から国内生産の必要性がいわれていたが、やはり今の世界の状況からしても、一定の国内生産は必要と感じる。
		電気機械器具製造業（宣伝担当）	・緊急事態宣言時よりも街に人が戻っているが、景気の明らかな回復はみられない。今後は新型コロナウイルス新変異株の感染拡大も懸念される。
		建設業（経営者）	・コロナ禍の影響で、設備投資の計画が凍結や延期になりつつあるほか、資材価格の高騰や納期の問題が重なり、今後も状況は不透明である。
		輸送業（商品管理担当）	・例年1～2月は売上が減るほか、今年は新型コロナウイルスの影響も出てくるため、良くなることはない。
		金融業（営業担当）	・今年1年間は徐々に上向きの動きが出てきたが、新型コロナウイルスの感染状況により、先行き是不透明である。
		経営コンサルタント	・商店街の店主の間では、商店街の買物客数は以前の水準に戻らないと認識されている。以前の7～8割程度との見方が多い一方、その減少分をどうやって補うかは考えられていない。
		その他サービス〔自動車修理〕（経営者）	・今年の年末も、慌ただしさがなく終わる。年明けも忙しくなさそうである。
		その他サービス業〔店舗開発〕（従業員）	・新型コロナウイルス新変異株の市中感染が始まったが、1月中旬には新規感染者数が急速に増え、政府、各自治体による何らかの規制が行われる可能性が高い。一方、経口薬などの普及が始まることで、感染は春先には落ち着くと予想される。
		その他非製造業〔機械器具卸〕（経営者）	・今後も受注につながるような物件や見積が少ない。
		その他非製造業〔商社〕（営業担当）	・製品の納入時期や、生産状況が正常化する時期によるが、3か月程度では正常化しないと予想される。
		食料品製造業（従業員）	・ここ数か月で、全ての原材料や資材価格の値上げが実施される。製品の販売価格に転嫁すると、量販店との取引がなくなることも想定されるため、最終製品の値上げには踏み切っていない。
		食料品製造業（営業担当）	・新型コロナウイルス新変異株の新規感染者数が増えつつある。感染第6波が発生すると、また人の流れが変わり、景気も低迷する。
		繊維工業（団体職員）	・新型コロナウイルス新変異株の感染が広がりつつあり、年始の状況次第では景気の悪化が進みそうである。
		繊維工業（総務担当）	・経費の増加による影響で、利益の悪化が顕著となっている。
		電気機械器具製造業（営業担当）	・材料がなければ、仕事があっても断るしかない。
		建設業（経営者）	・コロナ禍による景気の冷え込みに加え、大雪の影響で仕事の進捗に遅れが生じるおそれがある。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		建設業（営業担当）	・仕入れコストの上昇で増えた原価のうち、販売価格に転嫁できない部分が、利益を圧迫する可能性がある。
		輸送業（営業担当）	・新型コロナウイルス新変異株の感染拡大で、海外ではロックダウンが始まったため、今後は悪くなる。
		金融業（副支店長）	・客との会話によると、新型コロナウイルス新変異株の感染が拡大することで、消費は少し冷え込む可能性がある。
		広告代理店（営業担当）	・年明け以降、新型コロナウイルス新変異株の新規感染者数が更に増えれば、感染の収束までは、広告の出稿が厳しくなりそうである。
		司法書士	・感染力の強い新型コロナウイルス新変異株の市中感染が始まっている。年末年始の人流を考えると、今後の感染拡大が懸念され、強めの対策が必要になる。
	×	化学工業（企画担当）	・食品の原料価格の高騰が止まらず、改善の見込みがない。値上げが追い付かない状況が続いているため、通常であれば年末年始の食品最需要期であるが、利益の出ない状況になっている。
	×	通信業（管理担当）	・原油価格の上昇による影響で悪くなる。
	×	不動産業（営業担当）	・新型コロナウイルス新変異株の感染拡大が世界中で広がっている。まだ国内ではそれほど広がっていないが、近いうちに広がることから、景気は悪くなる。
×	その他非製造業〔電気業〕（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染収束の見通しが立たない。	
雇用 関連 (近畿)		人材派遣会社（支店長）	・年度末に向けて、更に求人数が増えると予想される。
		人材派遣会社（役員）	・新型コロナウイルス新変異株の感染状況にもよるが、年が改まり、ムードを変えようという機運が盛り上がってくる。
		人材派遣会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染も落ち着き、企業活動が通常に戻りつつある。採用についても回復の動きが見られる。
		人材派遣会社（管理担当）	・徐々に回復していくと予想されるが、今後は新型コロナウイルスの新規感染者数の動向から目を離せない。特に、新型コロナウイルス新変異株の感染拡大が気になるところである。
		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルス新変異株の影響が心配されるが、その影響がなければ景気は上向いていく。
		民間職業紹介機関（営業担当）	・今後3か月は、新卒採用市場でも求人の動きが激しい時期で、来年度の採用に向けた求人の掲載が活発化すると予想される。特に来年度は、今年度、前年度にコロナ禍で採用を縮小させた企業の動きが戻ると予想されるため、景気としては良くなる。
		民間職業紹介機関（営業担当）	・コロナ禍による特需に加えて、通常の派遣求人も増えている。
		人材派遣会社（経営者）	・年度末に向けてかなり忙しくなってくる。IT関連の需要は相当強く、コロナ禍前のように優秀なIT技術者の契約はすぐに決まる。企業は新型コロナウイルスの感染第6波の発生を想定しているため、今は派遣社員で対応しようとしている。
		人材派遣会社（営業担当）	・新型コロナウイルス新変異株の市中での新規感染者数が、今後どうなるかに左右される。経口薬の提供や、3回目のワクチン接種のタイミングが早まることを期待したい。
		新聞社〔求人広告〕（管理担当）	・感染力が非常に強い新型コロナウイルス新変異株の感染が、韓国や欧米では急拡大している。国内でも市中感染が始まりつつあり、その状況次第で景気は上にも下にも変化する可能性がある。ただし、新型コロナウイルス新変異株は重症化しにくいといわれるほか、飲み薬の承認や、3回目のワクチン接種も進むとみられる。それに伴い、感染第6波で新規感染者数が急増しても、第5波のような景気への大きなダメージは避けられる。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・多くの企業が年度末を迎えるが、新聞広告の出稿状況を見ると、良くもなく悪くもない。
		職業安定所（職員）	・今後の見通しについて、新規求人数は単月で卸売・小売、宿泊・飲食が増加したが、企業からは原材料費の高騰や新型コロナウイルス新変異株の感染拡大への懸念があり、まだ力強さは感じられない。一方、求職者の増加で労働市場がひっ迫する懸念もあり、今後は注視が必要である。
	職業安定所（職員）	・新型コロナウイルス新変異株の感染状況次第で、飲食サービス業や宿泊業が再び大きな影響を受けると予想される。全体として、先行きは不透明な状況である。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		民間職業紹介機関（職員）	・原材料の不足や価格の高騰、輸送コストの上昇、新型コロナウイルス新変異株の感染拡大、人手不足など、景気回復に向けた懸念材料の払拭に時間が掛かる。
		民間職業紹介機関（営業担当）	・コロナ禍が収束しなければ、先行きの見通しが立たない。
		学校〔大学〕（就職担当）	・就職が決まっていない4年生が心配であるが、まずはこれから始まる国家試験をクリアすることが最大の課題である。
		学校〔大学〕（就職担当）	・消費者の生活が苦しくなるため、物価上昇が景気を押し上げるとは思えない。また採用活動においても、目標人数が確保できなくても終了する傾向があるため、先行きは不透明である。
		アウトソーシング企業（社員）	・人手不足であるが、人手の確保ができないどころか、雇止めの話が出ている。
		新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・国内の新型コロナウイルスの新規感染者数が少しずつ増えている。いろいろな制限が解除され、感染に対しての緊張感も緩んでいるように感じる。各国の感染状況から考えても、日本も数か月先には爆発的に拡大している可能性が高い。
	x	-	-

9. 中国（地域別調査機関：公益財団法人中国地域創造研究センター）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連 (中国)		競艇場（企画営業担当）	・3か月後に女子レースが開催されるため、売上が増加する。
		一般小売店〔眼鏡〕（経営者）	・新年度に入る頃には新型コロナウイルス感染症も終息し、景気もやや良くなっている。
		一般小売店〔靴〕（経営者）	・リピート客からの問合せだけでなく、新規客からの単価の高い商品への問合せも少しずつ増加してきているため、今後、景気はやや良くなる。
		百貨店（営業企画担当）	・現状が続けば、帰省のマーケットも回復してくる。
		コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルスの動向次第であるが、人の動きは良くなっており、今後、景気はやや良くなる。
		コンビニ（副地域ブロック長）	・新型コロナウイルス新変異株の脅威はあるが、新型コロナウイルスの影響がピークだった前年をベースにすると、しばらくは来客数や売上の増加が続く。
		乗用車販売店（営業担当）	・今後、新型車の試乗車がそろい、来客数が増加するため、景気はやや良くなる。
		乗用車販売店（営業担当）	・新型車が発表されること、決算期に入ること、車の生産が増加していることなどから、今後、景気は多少上向く。
		自動車備品販売店（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いているため、そろそろ景気が上向く。
		その他専門店〔和菓子〕（経営者）	・新型コロナウイルスの影響が減少するため、今後、景気はやや良くなる。
		バー（経営者）	・新型コロナウイルス感染症が終息すれば、景気はやや良くなる。
		観光型ホテル（営業担当）	・県民割の延長や隣接県の利用対象者数の増加で、景気はやや良くなる。
		都市型ホテル（企画担当）	・Go To Travelキャンペーンの再開で、景気はやや良くなる。
		タクシー運転手	・現状が続けば、景気の持ち直しも早くなる。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルス新変異株の動向次第だが、観光客が増加し、県民割等も延長になったことから、観光業や運輸業は景気が良くなっていく。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルス新変異株の動向が気になるが、現状では売上がかなり改善しているため、景気はやや良くなる。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルス新変異株の影響を受けなければ、景気はやや良くなる。
	放送通信サービス（総務経理担当）	・新型コロナウイルス新変異株の動向次第だが、ここ数か月、家計の支出能力が上昇傾向にあるため、今後、景気はやや良くなる。	
	通信会社（企画担当）	・新型コロナウイルス新変異株の影響で、予断は許されないものの、3か月後に景気が現状より悪化することはない。新型コロナウイルス感染症が終息に向かえば、消費は少しずつ元に戻っていく。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		通信会社（経理担当）	・光サービスの提供エリア拡張に伴い、しばらくは加入件数が増加する。
		テーマパーク（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いているため、景気はやや良くなる。
		住宅販売会社（従業員）	・アフターコロナに入った感じがあり、今後、いつでもワクチンの接種や薬による治療ができる状況になれば、景気はやや良くなる。
		住宅販売会社（営業所長）	・現在、日常の生活に徐々に戻りつつあり、2022年は景気は全体的に回復する。
		商店街（理事）	・新型コロナウイルス新変異株の影響が出てくるので、景気は変わらない。
		商店街（代表者）	・売上が回復していない状態で、新型コロナウイルス新変異株の感染が拡大すると、売上が再び減少する。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの動向次第で、景気が悪化する可能性があるが、現状から判断すると、景気は良い状況が続く。
		一般小売店〔茶〕（経営者）	・冬場は雪が降ることから、景気はこのまま低調に推移する。
		一般小売店〔印章〕（経営者）	・客の新型コロナウイルス新変異株への警戒感が強いので、景気は良くならない。
		一般小売店〔洋裁附属品〕（経営者）	・例年1～2月は閑散期なので、景気は良くならない。
		百貨店（経理担当）	・来客数は回復しているが、豊富な商品の供給やサービスの改善などがなければ、売上の大幅な回復はない。
		百貨店（営業担当）	・ライフスタイルや価値観の変化により、客の購買意欲が低下しているなか、新型コロナウイルスの先行きも不透明なため、景気は良くならない。
		百貨店（営業担当）	・現在、売上が前年を10%上回る状況で、これ以上は改善しない。
		百貨店（売場担当）	・新型コロナウイルス新変異株の動向次第であるが、景気が現在より劇的に改善する可能性も大幅に悪化する可能性もない。
		百貨店（外商担当）	・新型コロナウイルス新変異株により新規感染者数がどう動くかは短期的には明らかでないが、これまでも経験してきたので、現状は維持する。
		百貨店（外商担当）	・客の購買意欲が改善し、来店頻度も増加しているが、新型コロナウイルスの先行きが不透明なため、景気は一進一退が続く。
		スーパー（店長）	・現状は新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いているが、先行きは不透明である。予報では、来年が今年よりも寒い冬となることから、食品については、有利な条件となるが、それ以外に景気が大幅に回復する材料が見当たらないため、景気は変わらない。
		スーパー（店長）	・年末年始の動き次第であるが、来年は今年よりは景気は堅調に推移する。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着き、行動制限がなくなり、客が買い回りをするようになったため、今後も来客数の減少が続く。
		スーパー（店長）	・現状の購買行動は変化しない。
		スーパー（店長）	・18歳以下の子供への臨時特別給付金程度では景気の大きな回復はない。
		スーパー（店長）	・3か月後も現在同様、新型コロナウイルス禍にあると考えられるため、景気は変わらない。
		スーパー（総務担当）	・人の動きが落ち着き、来客数も横ばいとなる。
		スーパー（販売担当）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が再び増加傾向になれば、景気は良くなる。
		スーパー（業務開発担当）	・食品の相次ぐ値上げや節約志向で、客が必要最小限の買物しかしなくなっているため、景気は良くならない。
		スーパー（財務担当）	・加工食品などの値上げが続き、客が低価格商品を求めて買い回りをため、来客数の前年割れが続く。
		スーパー（営業システム担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大がなければ、景気は現在の水準を維持する。
		コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルス新変異株の影響を受けず、競合店対策ができれば、売上が増加する。
		コンビニ（支店長）	・行動や生活様式の変化が定着しており、元には戻らないため、景気は変わらない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		衣料品専門店（代表）	・日常生活に戻り、積極的に出掛ける人がいる一方で、出掛けないことに慣れてしまった人もいるため、効果的な経済対策が行われなければ、新型コロナウイルス流行前の景気に完全に戻ることは難しい。
		家電量販店（店長）	・18歳以下に臨時特別給付金が給付されるが、年齢制限があり、家電の購入につながらないことから、景気は変わらない。
		家電量販店（店長）	・新型コロナウイルス第6波の到来が予想されることに加え、臨時特別給付金も貯金にまわり、余り効果が得られない。12月の売上は最低だが、1～2月に改善するとも思えない。
		家電量販店（企画担当）	・18歳以下を対象とした臨時特別給付金の給付に期待しているが、対象が国民全員でなく、規模が小さいため、景気は変わらない。
		家電量販店（販売担当）	・初売りや決算期に期待したいが、景気は変わらない。
		乗用車販売店（店長）	・生産計画が長期化しており、大きな変化は考えられない。
		その他専門店〔時計〕（経営者）	・ウィズコロナでの経済活動がどうなるか、来年前半も商売が続けられるかを考察しているが、景気は変わらない。
		その他専門店〔土産物〕（経営者）	・新型コロナウイルスの動向次第であるが、楽観視できない。原料費の高騰などもあり、レストランやテイクアウト事業の経営環境はますます厳しくなる。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（支配人）	・景気は新型コロナウイルスの動向にも左右されるが、新型コロナウイルス新変異株の拡大が予想されているため、前年並みで推移するものの、新型コロナウイルス流行前の水準まで回復するには、もう少し時間が掛かる。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（管理担当）	・目的買いの客が多く、ついで買いなど余分な出費は抑えているようで、財布のひもは引き続き固い。新型コロナウイルスの先行きが不透明であるため、景気が大幅に良くなることはない。
		高級レストラン（事業戦略担当）	・新型コロナウイルス新変異株の出現に合わせて、キャンセルの問合せも入っているので、今後、景気は良くなる見込みはない。
		一般レストラン（経営者）	・ウィズコロナの環境は変わらないので、新型コロナウイルスの動向に左右されながらも、現在の消費を維持する。
		一般レストラン（店長）	・新型コロナウイルス新変異株の拡大が懸念されるが、客が自粛に疲れていることから、感染が急速に拡大しなければ、好調を維持できる。
		その他飲食〔パーキングエリア内レストラン〕	・あと2年は景気は変わらない。
		都市型ホテル（企画担当）	・需要が回復しつつあり、この勢いでGo Toキャンペーンの再開時に集客増につなげたいところであるが、新型コロナウイルス新変異株の影響で、景気にブレーキが掛かることを懸念している。
		都市型ホテル（総支配人）	・新型コロナウイルス新変異株の影響で、先行きが不透明なものの、Go To Travelキャンペーン、自治体の支援策、ワクチン接種や経口薬の普及などにより一定の経済活動が維持される。
		旅行代理店（支店長）	・現在、4月までの予約が入り始め、需要回復が期待できるが、個人とは違い、団体は当面は厳しい状況が続く。
		通信会社（営業担当）	・景気は下げ止まった状態で推移する。
		通信会社（販売企画担当）	・新型コロナウイルス新変異株による外出自粛により、景気は良くなる見込みはない。
		通信会社（工事担当）	・新型コロナウイルスの影響が続くため、景気は変わらない。
		テーマパーク（管理担当）	・国民目線の政策がないため、景気は良くなる見込みはない。
		観光名所（管理担当）	・新型コロナウイルスの動向次第であるが、まん延防止等重点措置の適用や緊急事態宣言の発出などがない限り、景気は現状を維持する。
		ゴルフ場（営業担当）	・現在は個人の利用が増加し、集客を維持しているが、正常な状態ではない。団体予約が動き出せば、単価も伸びるため、以前の予約状況に戻る。
		美容室（経営者）	・年末で慌ただしくはなっているが、景気が回復したからではなく、客の動向が読めない状況で、今後も景気は変わらない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		美容室（経営者）	・新型コロナウイルス新変異株の影響で、客の行動が再び慎重になっているので、景気は変わらない。
		設計事務所（経営者）	・年度末に向けて、官からの新たな発注予定はなく、民間工事も全体のコストが上昇しているなかで、なかなか前に進められない状況下にあるため、景気は変わらない。
		設計事務所（経営者）	・住宅ローン減税が引き下げられるなど、景気が上向く要素がないため、景気は変わらない。
		設計事務所（経営者）	・客が建築価格が安定する時期を見極めて意思決定しようとしているため、受注につながらず、景気は変わらない。
		商店街（代表者）	・年末で客の消費意欲が高まっているようで、歳末セールなどの特典を利用してまとめ買いする客が見られたが、来年になれば、その動きは減少する。
		商店街（代表者）	・客が欲しい商品があっても、バーゲンセールまで待ち、バーゲンセールになっても、商品を買わないという状況が続いているため、景気はやや悪くなる。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルス新変異株に対するマスコミの過剰な報道やデータがそろっていない段階での識者の臆測が経済を停滞させる。
		一般小売店〔食品〕（経営者）	・原材料の値上げで商品の仕入価格が上昇し、平均単価が上がっているものの、販売数量は前年を下回っている。先行き不安で客の財布のひもが更に固くなっているため、景気はやや悪くなる。
		百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルス新変異株の感染拡大が懸念され、来客数が減少するリスクが高い。また、昨今の売上不振から各メーカーが商品を減産しており、今後も減産が加速する見込みである。
		百貨店（販売計画担当）	・個人所得の低下や生活に関わる商品の価格の高騰で、景気はやや悪くなる。
		スーパー（販売担当）	・景気は回復の兆しをみせていたが、新型コロナウイルス新変異株の市中感染報道が来客数に影響を与え始めているため、今後、景気はやや悪くなる。
		スーパー（販売担当）	・景気が良くなる材料が見当たらず、新型コロナウイルス感染症の終息も見込めないことから、景気はやや悪くなる。
		コンビニ（エリア担当）	・1月から値上げをするため、販売量が減少する。
		乗用車販売店（業務担当）	・新型コロナウイルスが再び生産工場に影響を与えてきており、新型コロナウイルス新変異株の今後の動向も不透明なことから、景気はやや悪くなる。
		自動車備品販売店（経営者）	・年明けに新型コロナウイルス新変異株の新規感染者数が増加し、新型コロナウイルス第6波が到来すると、個人消費が落ち込む。
		住関連専門店（営業担当）	・来客数が減少し、購入単価も下がっている状況で、新型コロナウイルス新変異株が出現し、新型コロナウイルスの先行きが不透明となったため、景気はやや悪くなる。
		その他専門店〔布地〕（経営者）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が来年1月から増加することが予想され、客が外出を控えるため、景気はやや悪くなる。
		一般レストラン（経営者）	・入試や入学等に伴う教育費の支出、ガソリンや食品等の価格の上昇などで、今後、家計の負担が増加し、節約ムードが広がることから、景気はやや悪くなる。
		観光型ホテル（副支配人）	・新型コロナウイルス新変異株の感染が徐々に広がり始め、年末年始の宿泊の予約のキャンセルが出ている。今後、更に影響が出てくるため、景気はやや悪くなる。
		タクシー運転手	・冬場は人の動きが悪くなる。新型コロナウイルスの先行きも不透明であるため、景気はやや悪くなる。
		通信会社（広報担当）	・新たな収入源が見込めないままであるので、昔と同じような景気回復はまだ見込めない。
		テーマパーク（業務担当）	・11～12月にかけて、過去にない活発な動きとなっている。今後もこの流れで推移すれば良いが、少し落ち着くか、あるいは再び客が外出を控えると予測される。
		観光名所（館長）	・新型コロナウイルスの感染拡大により、景気はやや悪くなる。
		住宅販売会社（営業担当）	・年末年始休暇の影響で、今後、新型コロナウイルス新変異株が流行する可能性があるため、景気はやや悪くなる。
	x	乗用車販売店（統括）	・2月からいままでも主要車種の販売停止が続くため、景気はかなり厳しくなる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	一般レストラン（経営者）	・現在が年末でたまたま飲食店にとって良い状況であるだけで、今後、これ以上は良くならない。
	×	旅行代理店（経営者）	・新型コロナウイルス新変異株の影響で、景気は悪くなる。
	×	美容室（経営者）	・新型コロナウイルス感染症が終息し、人々の生活様式が新型コロナウイルス流行前に戻れば、客の来店頻度も増加するが、今のままでは景気は悪くなる。
企業 動向 関連 (中国)		輸送用機械器具製造業（経営者）	・地元完成車メーカーの生産が回復基調にあるため、今後も忙しくなる。
		通信業（営業企画担当）	・年度内に予算を使い切ったための動きや来年度早々の発注に向けての動きが活発化することから、景気は良くなる。
		輸送業	・新型コロナウイルスの新規感染者数が増加しても企業や個人の対応に余力変化がなく落ち着いているため、景気はやや良くなる。
		不動産業（総務担当）	・賃貸住宅の需要時期になるため、景気はやや良くなる。
		食料品製造業（経営者）	・新型コロナウイルス新変異株の影響で、人々が行動を見合わせるようになると、景気が厳しい状況に陥る。
		食料品製造業（総務担当）	・原料価格の高騰が続いているため、景気は良くなる。
		化学工業（総務担当）	・原燃料の価格高騰が若干落ち着いているので、景気は現状を維持する。
		化学工業（総務担当）	・当面は景気は現状を維持する。
		窯業・土石製品製造業（総務経理担当）	・今後も現在の生産水準を維持し、時間外労働の増減もない。
		鉄鋼業（総務担当）	・大きな環境変化はなく、景気は変わらない。
		鉄鋼業（総務担当）	・今後も受注や生産は堅調に推移する。
		非鉄金属製造業（業務担当）	・当面は現在の状況が継続する。
		一般機械器具製造業（総務担当）	・今後も受注量や販売量に変化はない。
		一般機械器具製造業（管理担当）	・新型コロナウイルス第6波や世界的な物流の停滞が懸念されるため、景気は良くなる。
		輸送用機械器具製造業（経営企画担当）	・世界的な物流の混乱や新型コロナウイルス新変異株の影響もあり、身の回りの景気が良くなると判断できる状況ではないが、サプライチェーンの改善に注力しているため、大幅に悪化することもない。
		輸送業（総務・人事担当）	・2022年春以降、新型コロナウイルスの新規感染者数が増加するかどうかは景気を大きく左右するが、現状では景気は変わらない。
		金融業（融資企画担当）	・半導体不足の影響は弱まったが、しばらくは地元完成車メーカーの国内生産が定時操業をやや下回る水準にとどまるため、系列の地元部品メーカーの工場の稼働率も余り上昇しない。
		広告代理店（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響で、今後も受注が増加しない。
		会計事務所（経営者）	・新型コロナウイルス第6波の影響が少なければ、総務系アウトソーシング業務や補助金コンサルティング業務の増加傾向が続く。
		農林水産業（従業員）	・新型コロナウイルス新変異株の拡大で、景気はやや悪くなる。
		木材木製品製造業（経理担当）	・今後、全ての調達コストが更に上昇すると見込まれるため、上昇したコストの販売価格への転嫁がどれだけ進むかが課題となるが、全体的にインフレが進む結果として、景気はやや悪くなる。
		金属製品製造業（総務担当）	・入手が困難になっている鉄の原材料の価格や電力料金の上昇が続けば、景気はやや悪くなる。
		電気機械器具製造業（総務担当）	・電子部品の仕入れの困難な状況が続き、価格が上昇していることが、製造原価や生産体制に大きな影響を与えているため、景気はやや悪くなる。
	建設業（経営者）	・建設材料の価格が上昇傾向にある一方で、競争により建設工事の受注金額が低下していることから、景気はやや悪くなる。	
	金融業（貸付担当）	・新型コロナウイルス新変異株の市中感染拡大が懸念されており、行動自粛や経済活動停滞につながりかねない。既に海外との往来も制限されており、インバウンド需要も引き続き期待できない。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	x	建設業（総務担当）	・資材価格の高騰が長期化する一方で、販売価格への転嫁がなかなか進まないことから、状況は厳しく、今後、景気は悪くなる。
雇用 関連 (中国)		人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルス新変異株の感染が広がらなければ、求職者の安心感も広がり、景気が上向いていく。
		人材派遣会社（経営戦略担当）	・求職者のマインドが改善してくれば、景気はやや良くなる。
		人材派遣会社（支店長）	・新卒入社や中途採用の計画を聞く機会が増加している。新型コロナウイルスの感染状況の落ち着きに伴い、採用活動が再開し、長期化する。
		求人情報誌製作会社（経営者）	・新型コロナウイルス新変異株の動向次第であるが、飲食業やサービス業の景気は現状より良くなる。
		求人情報誌製作会社（広告担当）	・新型コロナウイルス新変異株の動向次第であるが、現状を維持できれば、ヒト・モノも動き始め、景気はやや良くなる。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・新型コロナウイルスの感染状況に左右されるが、世の中が徐々に活気を取り戻しているため、今後、景気はやや良くなる。
		職業安定所（所長）	・国内での新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いてきたことから、宿泊業で年末年始やカニシーズンに向けた求人数が増加した。また、旅館に食品を卸している事業者の求人が増員されるなど明るい兆しがあることから、景気はやや良くなる。
		民間職業紹介機関（職員）	・全額現金給付が可能となった子育て世帯への臨時特別給付金が消費に回ると、個人消費が底上げされるため、景気はやや良くなる。
		学校〔大学〕（就職担当）	・3回目のワクチン接種が進み、新型コロナウイルス対策も確立されつつあるので、景気はやや良くなる。
		職業安定所（雇用関連担当）	・新型コロナウイルス新変異株による新型コロナウイルスの新規感染者数の増加、物流費や仕入価格などコストの上昇が懸念される。上昇したコストの製品への価格転嫁や労働者の賃金上昇の流れができるかが不透明であるため、景気は良くならない。
		職業安定所（事業所担当）	・小売業や飲食サービス業からの新規求人数が若干ではあるが増加しつつあるものの、先行きに不透明感を感じている事業者も多くなっている。新規学卒等の就職面接会への事業所の参加状況をみると、多くの事業所が若い人材を雇用し、将来を見据えた採用活動を行っていることがうかがえる。こうしたことから、年齢的なミスマッチが発生しており、景気の回復には、もう少し時間を要する。
		民間職業紹介機関（人材紹介・派遣担当）	・新型コロナウイルス新変異株の動向次第であるが、現状では景気は変わらない。外国人の入国制限が解除されれば、一定の企業の人手不足の解消につながる。
		学校〔短期大学〕（進路指導担当）	・現時点では、企業側の新卒採用意欲に大きな変化はなく、景気は横ばい状況が続く。
		その他雇用の動向を把握できる者	・新型コロナウイルス第6波に対する警戒感が強く、先行きが不透明なため、景気は良くならない。
		人材派遣会社（支店長）	・人材サービス会社が得意とするルーチン業務の求人数が回復しておらず、今後も回復する見込みがないため、景気はやや悪くなる。今後は専門職やITテクノロジーを扱える人材でないとニーズが少ない。
	x	-	-

10. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (四国)		通信会社（社員）	・当県の新規感染者数も低い数値で推移しており、より経済活動が活発化する。
		商店街（代表者）	・年末年始ということもあり人々の移動等が盛んになってきている。一方で、季節的に乾燥等で新型コロナウイルス感染症が再度流行してしまう可能性があり、人々の行動が活発になってきているなか、水を差さないか心配である。
		一般小売店〔書籍〕（営業担当）	・外商売上が好調である。前年同月より増加。新型コロナウイルス新規感染者数が落ち着いているのも好調の一つである。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		百貨店（販売促進）	・新型コロナウイルス新変異株次第ではあるが、徐々に来客数が戻っており、3月のリニューアル完成で更に改善が見込まれる。
		衣料品専門店（経営者）	・年明けもある程度は来客数が増加する。新型コロナウイルスの感染が収束傾向にあり、景気は徐々に回復する。
		乗用車販売店（従業員）	・部品不足も少し改善がみられ、今後は増産が見込まれる。また、1月から決算商戦に入るため、受注にも期待できる。
		乗用車販売店（役員）	・半導体や物流が回復傾向にあり、少し時間が掛かるようだが徐々に回復する。
		一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルス感染症は、今後終息に向かう。新型コロナウイルス発生以前まで戻るとは難しいが、徐々に来客数が増える。
		観光型旅館（経営者）	・年明け以降、隣県割引がスタートし一定の来客数は期待できる。新型コロナウイルス新変異株の影響が出ると一気に冷え込む可能性もある。売上回復前にコスト上昇が先行すると景気に相当な悪影響を与える。
		通信会社（営業担当）	・徐々に来客数は回復傾向にある。今後、新生活シーズンもあり客の新規契約、買換え等の活性化に期待する。
		競輪競馬（マネージャー）	・人流が更に活発化するとともに、ワクチンの3回目接種も進み社会に安心感が高まり、引き続き消費購買力が高まることから景気は上向いてくる。
		美容室（経営者）	・県内での人の動きは増えてきている。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルス次第ではあるが、春先の様々なイベントも例年どおり行う準備を進めている。特に新型コロナウイルス新変異株の影響が少なければ、このまま回復基調が続く。
		一般小売店〔文具店〕（経営者）	・従来であれば、年末年始の忙しい時期であるが、新型コロナウイルスの影響により客の出足も今一つの状態である。若干人出も戻っていると思うが、まだまだ新型コロナウイルス発生前の水準には至っていない。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況次第だが、先の予約も入っているのでもこのまま経済が回復に向かっている状態が続く。
		一般小売店〔酒〕（販売担当）	・新型コロナウイルス新変異株の感染者が確認されるなか、これからも油断はできないことから、不安な日が続く。
		百貨店（企画担当）	・新型コロナウイルス新変異株が感染拡大をしているが、前年のような大規模な感染にはならず、このままの状態がある程度続く。
		百貨店（営業管理担当）	・10月以降、来客数は前年比プラスで推移しているが、これから日を追うごとに右肩上がり、新型コロナウイルス発生前の水準に近づくまで来客数が戻るとはすぐには難しい。
		コンビニ（店長）	・全ては新型コロナウイルス感染状況次第だが、少なくとも客の商品購入は良くなっていく。
		コンビニ（総務）	・現在何もしていないニューノーマルへの対応をしていかなければ、減少した来客数は戻らない。
		衣料品専門店（経営者）	・12月は結構厳しかった。1月は大規模なバーゲンセールがあり、期待は大きいですが、売上は12月比で横ばいと予想する。
		衣料品専門店（営業責任者）	・売上は回復傾向を見せているが、新型コロナウイルス新変異株の影響が出ないことを願う。新規感染者数が増えてくればまた悪化の繰り返しで、かなり厳しくなってしまう。
		家電量販店（店員）	・季節商材やシングル需要で販売量の増加が見込める。
		家電量販店（副店長）	・新型コロナウイルス新変異株が徐々に広がっていくなか、当面の間は来客数の伸びは期待できない。
		乗用車販売店（従業員）	・燃料の値上がり状況及び新型コロナウイルスの感染状況が不透明なため予想できない。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルス新変異株の感染状況による。正月を過ぎて、就労活動が始まったが、これから先が見えない状況である。
		通信会社（営業部長）	・現状かなり回復しており、急に落ち込むことはない。新型コロナウイルス感染症が再燃しても消費者は自らの行動をコントロールできるようになっている。
		通信会社（支店長）	・新型コロナウイルスの影響が見通せない。
		設計事務所（所長）	・店舗や事務所の建て替えの案件が増加しているが、新型コロナウイルスの感染状況によって、今後再び縮小する可能性がある懸念している。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		商店街（事務局長）	・新型コロナウイルス新変異株の市中感染拡大が全国的なものとなることは必至であり、どのような速さで広まり、地域によっては緊急事態宣言、まん延防止等重点措置にまで至るのか、またいつ頃収束するのかが世間の関心どころとなっており、これからの数か月は経済、消費へも影響は避けられない。
		商店街（代表者）	・経済は、人口減少、超高齢化社会という大問題とともに極めて困難な状況が予測され、経済は上向かない。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルス新変異株が再流行し消費マインドが低下する。
		スーパー（財務担当）	・我慢していた外食に再び需要が移っていく。
		コンビニ（店長）	・新型コロナウイルス新変異株の報道が多くなっており、自粛ムードとなると減少は避けられない。消費動向もこの新型コロナウイルスの影響で大きく変化しており、それに、どのように対応できるか模索していく必要がある。
		コンビニ（商品担当）	・新型コロナウイルス新変異株の第6波が海外より遅れてくると思われ、ブースター接種完了までは人流が鈍る。
		乗用車販売業（営業担当）	・毎年3～6月頃まで新車販売が苦戦する。
		その他専門店〔酒〕（経営者）	・年末で少し人の動きはあるが、年明け、来客数が少なくなり、売上も減少する。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（副支配人）	・大都市で新型コロナウイルス新変異株の影響が広がっており、やがて地方にも及んでくると危惧している。
		その他飲食〔ファーストフード〕（経営者）	・新型コロナウイルスが落ち着きつつあったが、新型コロナウイルス新変異株の出現でまた外出を控える動きが出る。
		タクシー運転手	・年末は売上が1年のピークであるため、今後これ以上売上が増加することはない。新型コロナウイルス新変異株の感染が拡大していることから、地方でも感染が広がり景気が悪くなることを懸念している。
		美容室（経営者）	・新型コロナウイルス新変異株の影響にもよるが、今年の年末の動きが新型コロナウイルスの感染拡大につながるのではないかと懸念している。
		x	スーパー（店長）
	x	衣料品専門店（経営者）	・依然として新型コロナウイルスの影響を受ける。
企業 動向 関連 (四国)		-	-
		パルプ・紙・紙加工品製造業（経理）	・新型コロナウイルスの影響で除菌や掃除用品の需要は高い。2月から新工場を増産し、受注に対応できるため、売上が増加する。
		電気機械器具製造業（経営者）	・企業が何か事業を始めなければいけないというマインドになっている。
		輸送業（経営者）	・必要以上の不安を感じない。
		通信業（総務担当）	・見通しが不透明な部分はあるが、新型コロナウイルスの感染状況がこのまま落ち着いていけば、社外団体のイベント等は例年どおり開催される傾向になっていく。
		農林水産業（職員）	・日配品の値上げ価格が定着し、青果物の利益商材扱いの緩みが期待される。また、燃油の高値が続き、使用量を抑える動きがあり、今後、収穫量や品質の低下が予想される。
		化学工業（所長）	・新型コロナウイルス新変異株の影響で先行きが不透明なことから、変わらない。
		鉄鋼業（総務部長）	・現在の水準から上昇するとは考えられない。
		電気機械器具製造業（経理）	・新型コロナウイルスの感染者数は落ち着いているものの、新型コロナウイルス新変異株の動向次第で企業活動に制限が掛かってくるおそれがある。
		建設業（経営者）	・今後の新型コロナウイルスの感染状況次第であり、何とも予想し難く、「変わらない」とした。本業は、例年並み又はそれ以上の業績が見込まれると思われるが、感染が拡大すれば、事業活動、特に営業、研究開発、福利厚生、社会貢献等が大きく制約され、関係の機関、団体、取引先への影響も必至となる。
		建設業（経営者）	・新年になって、期待どおり民間から受注が取れるかどうかに懸かっている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		輸送業（営業）	・国内における新型コロナウイルス感染症の拡大は収束傾向で推移しているが、地方圏ではいまだ景気の回復を強く実感できるような状況ではない。年末年始の帰省による大移動により新型コロナウイルス新変異株の感染が再拡大するような場合を危惧する。
		輸送業（経理）	・一部大手素材メーカーの今後の出荷量は好調と聞いているが、その他の業種の出荷予定数量は現状か数量減少が続くと聞いている。
		通信業（企画・売上管理）	・新型コロナウイルスの新規感染者数は一旦収まっている様子だが、経済は活況になっていない。今後もレジャー関係等のスポンサーは、大きなキャンペーンを実施することが難しいと考える。
		金融業（副支店長）	・1か月以上、新型コロナウイルス感染が発生しない等、足元での感染状況は収束しつつあるが、新型コロナウイルス新変異株の台頭等もうかがえ、消費者動向の劇的な回復にはつながらない。
		広告代理店（経営者）	・新型コロナウイルス新変異株の懸念もあり、期待に反して客の販売促進計画は依然として慎重な状況が続いている。景気の先行きは依然として不透明であり、企業の販促広告費は今後も削減の状況が続くため、余り変わらない。
		木材木製品製造業（営業部長）	・大手ハウスメーカーの受注が鈍化している。原材料価格は上昇したが、販売価格に転嫁できていないため、利益が減少しており販売価格の改定が急務な状態。
		一般機械器具製造業（経理担当）	・市場マインドは上向きつつあるものの、新型コロナウイルス感染症の影響及び世界的な電子部品供給不足等による部品調達の遅滞や原材料価格の高騰等、不確定な要素が多く懸念される。
	税理士事務所	・新型コロナウイルスの感染が再びまん延傾向にある。	
	x	-	-
雇用 関連 (四国)		求人情報誌製作会社（従業員）	・異動時期に入り求人数の増加が見込まれる。
		人材派遣会社（営業担当）	・新型コロナウイルス収束後の需要回復が見込まれる。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・新型コロナウイルスで落ち込んだ観光、飲食の需要、街中の人出も新型コロナウイルス発生前に戻りつつある。
		職業安定所（求人開発）	・宿泊業、飲食サービス業、生活関連サービス業、娯楽業の求人数が前年比増加。新型コロナウイルス発生前の令和元年11月と比べても回復しつつあるため、新型コロナウイルスの感染状況が今後も抑えられていけば良くなる。
		求人情報誌（営業）	・各業種での求人数は増加傾向にあるが、依然として観光・飲食・サービス業界においての景気ダメージが大きく、まだ回復の見込みが立っていないため、プラスマイナスでは変わらないと判断。
		学校〔大学〕（就職担当）	・新型コロナウイルス新変異株による感染拡大が懸念される。
		民間職業紹介機関（所長）	・新型コロナウイルス新変異株の急激な拡大で景気回復が遅れそうな気配がある。
	x	-	-

11. 九州（地域別調査機関：公益財団法人九州経済調査協会）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (九州)		商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が少ないままであれば、景気は良くなると思われるが、新型コロナウイルス新変異株がまん延すると厳しい状況が続くことになり、第6波が危惧される。
		家電量販店（店長）	・新型コロナウイルスの感染が若干落ち着いているが、来客数や販売量は変わらない状況である。しかし、ここから数か月は給付金が給付された影響で客単価が上がり、景気は上向くと予想している。
		乗用車販売店（従業員）	・初売り商戦と年度末で販売量に期待が持てる。
		一般レストラン（スタッフ）	・コロナ禍で抑制されていた反動で、人の動向が増えている。観光旅行者も増加している。
		都市型ホテル（スタッフ）	・人の移動が活発になり、旅行需要が十分見込める。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		商店街（代表者）	・初売りを始めとして、国の施策の後押しもあり、その効果を期待している。
		商店街（代表者）	・年末商戦から初売りに向けて、年間でも一番の販売好機であるため、このまま新型コロナウイルスの新規感染者数が増加しないことを望んでいる。
		一般小売店〔青果〕（店長）	・県内の贈答関係も扱っているが、単価が高いギフトも動き出し、加えて、果物等し好品関係も動き始めている。新型コロナウイルス対策による自粛が随分緩んできたことで、需要が上向いてくる。
		百貨店（企画担当）	・新型コロナウイルス第6波に不安はあるが、行動緩和や追加経済対策の給付金により、個人消費の押し上げが期待できる。前年は密を回避するために縮小した福袋やクリアランスセールを拡大することで、前年売上を大幅に超えて推移していくと見込まれる。
		百貨店（経理担当）	・ダイレクトメール催事では来客数も増加傾向にあり、また、ラグジュアリーブランドの婦人服や宝飾・時計の売上も伸びている。全体的に来客数の増加傾向がみられ、客の購買意欲も旺盛になっている。
		スーパー（店長）	・政府の施策である子育て世帯への臨時特別定額給付金として、当地区では12月24日に現金10万円が支給された。この施策による効果に期待したい。
		スーパー（店長）	・年末年始は2019年度に近い人流移動があると予測される。新型コロナウイルスの新規感染者数の減少やワクチン接種率約80%、特別定額給付金の給付等、来年はこのような背景から消費が加速化されると予測している。
		スーパー（統括者）	・歳末や年始商戦等の晴れの日のイベントにはこだわり、おいしさ等他社に負けない強みで業績は上昇する。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が収束し、消費意欲も上がり、売上が伸びることを期待している。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルス新変異株の増加がなければ、来客数は増加する。安心して買物ができる環境作りをしたい。
		コンビニ（経営者）	・人の動きは活発になりつつあるが、依然新型コロナウイルス新変異株への警戒感もあり、本格的な回復には程遠い。
		コンビニ（エリア担当・店長）	・新型コロナウイルスの新規感染者数にもよるが、今の状態であれば来客数が全時間帯で伸びると考えている。新規感染者数が増加すると逆戻りになるため、今後の状況次第である。
		家電量販店（店長）	・新型コロナウイルス新変異株の影響次第でかなり変わるが、新型コロナウイルスに対しての意識も変わっており、来客数や売上の増加が見込める。
		家電量販店（店員）	・来客数や販売量、販売高は前年を上回っており、悪くなる状況ではない。当市では、新型コロナウイルスの新規感染者は出ておらず、今後悪くなる要因はないため、徐々に景気は良くなっていく。
		家電量販店（店員）	・特別定額給付金の現金給付をどこに利用するかで景気が変わってくる。前は随分数字が上がったため、今回は前回まではないにしろ、ここ3か月非常に数字が悪かったことも含め、この支給により谷を脱出することができ、良くなっていく。
		家電量販店（従業員）	・寒くなり、暖房器具の需要が増え、加えて、子育て世帯への臨時特別定額給付金やボーナス等の収入増加があり、やや上向いていく。
		乗用車販売店（従業員）	・新型車が入荷しており、実際に見て触って購入判断ができるようになるため、売行きも良くなる。
		乗用車販売店（総務担当）	・これからメーカーの生産が回復してくる。年が改まり販売店にとっては、最大の需要期を迎える。受注が増え、車の配給が順調に伸びれば、平年並みの売上は確保できる。
		住関連専門店（従業員）	・冬物寝具の需要が一段落し、これからは新生活者向けの需要が高まる。前年、前々年と人の移動は少なかったが、現在の落ち着いたコロナ禍の状況であれば、例年同様の流動が期待されるため、景気も上向きになる。
		高級レストラン（経営者）	・当県での新規感染者はほとんどなく、新型コロナウイルスの心配はないと予想しているが、まだまだ来月にならなければ分からず、危惧している。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルス新変異株が心配であるが、このまま落ち着きを見せ、Go To Travelキャンペーンの再開や地方自治体の補助事業の実施により、かなり回復すると考えている。
		観光旅館組合（職員）	・新型コロナウイルス新変異株による感染拡大が心配ではあるが、Go To Travelキャンペーン等の後押しが再開すれば、来客数や売上共に増加が期待できる。
		観光型ホテル（専務）	・コロナ禍が収束して、以前以上の好景気になることを期待している。
		旅行代理店（職員）	・予定どおりGo To Travelキャンペーンが1～2月に実施されれば、景気は若干良くなっていく。
		通信会社（営業担当）	・第6波次第であるが、この状況が続けば元の景気に戻りそうである。
		観光名所（従業員）	・Go Toキャンペーン再開による影響に期待したい。
		その他サービスの動向を把握できる者（所長）	・客先の受注が好調で、操業もかなり高くなることが予想されているため、忙しい状態となる。
		学習塾（従業員）	・少しずつ客のマインドが上向いており、会話でのプラス情報が多い。
		住宅販売会社（従業員）	・子供みらい住宅支援事業の新設により、子育て世代の住宅需要が伸びてくると予想される。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの感染拡大が収まってきたにもかかわらず、今度は新型コロナウイルス新変異株の新規感染者数が増えている。早く、元の状態を取り戻したいが、必需品だけを購入する習慣になっているため、この状態が今後も続いていく不安がある。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの感染が落ち着き始め、警戒感が緩んできたところに、新型コロナウイルス新変異株が発生し、外出を控える状況になっている。報道によって新型コロナウイルス新変異株の感染拡大に対する不安から敏感になっており、景気は良くはならない。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルス新変異株の感染が徐々に広がっており、来春以降は、再び自粛ムードとなる可能性が高く、これから景気が良くなるとは考えにくい。
		商店街（代表者）	・現在、人出は増加しているが2年前と比べれば80%程度であり、この状況が続くと予想している。服飾雑貨の販売は、依然厳しい商況である。
		一般小売店〔茶〕（販売・事務）	・新型コロナウイルス新変異株の感染が急速に広がっており、やっと新型コロナウイルス発生前の売上に近づいている状態であったが、またかという状況に今後が心配である。
		百貨店（企画担当）	・感染状況が予測しづらく、ギフトニーズが未知数である。
		百貨店（企画担当）	・新型コロナウイルス新変異株や第6波への懸念が大きい。
		百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルスの新規感染者数の減少で来客数が回復しているが、中旬以降、新型コロナウイルス新変異株の報道で県内外旅行や帰省、店頭来店抑制が懸念される。そのため、県内のサテライトショップやギフトショップ、通信販売、ネット受注の増加が予想される。来客数はまだ回復しておらず、購入単価や商品単価はギフトを含め、自家需要やし好性の高い舶来雑貨・時計・リビング用品は堅調であるが、自家需要中心の来店と購買は依然継続する。
		百貨店（販売促進担当）	・今は来客数や売上共に好調であるが、新型コロナウイルス新変異株の影響により、まだ景気が良くなるとは言い切れない。
		百貨店（業務担当）	・新型コロナウイルスの感染状況によるが、前年から客のコロナ禍での付き合い方が定着しており、感染が拡大しても年末年始で大きく落ち込むことはないと考えられる。一方で、感染が落ち着いていても、大きく回復することは期待できない。
		スーパー（総務担当）	・新型コロナウイルス第6波が拡大しない限り、この2年間の巣籠り生活の反動が出ると予想している。今後、経済を回していく施策により、これまで厳しかったレジャーや外食等に消費行動が向かっていくと考えられる。一方、相次ぐ食品の値上げに伴う買い控え等も大きく懸念されるところであり、今のところ明るい材料が見付けにくい。
		スーパー（企画担当）	・新型コロナウイルス新変異株の感染拡大状況にもよるが、コロナ禍の生活に慣れていることから、特に変化はないと予測する。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		スーパー（経理担当）	・内食需要は低位で安定しているが、今後のすう勢は判断しにくい。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスと共存の生活が定着しており、仕事やイベントで人の動きは今後活発になると想定される。しかし、イベント参加の頻度は減少し、深夜時間の行動自粛は継続するため、全体では回復するが、時間帯の来客数の格差が顕著になる。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルス新変異株の感染状況次第である。
		コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が減少しているが、消費マインドに大きな変化がみられない。
		衣料品専門店（店長）	・若干上向きになっているが、新型コロナウイルス新変異株の拡大により、人の流れも止まりそうである。
		衣料品専門店（取締役）	・先行きが不安であるため、金の使い道が慎重になり、また、外出が少なくなることで新しい衣服購入の感覚が減少し、アパレルにとっては厳しい状況である。3か月先の景気を読むことができないが、景気が急に良くなるとは考えられない。
		その他専門店〔コーヒー豆〕（経営者）	・店全体の売上を前年と比較すると、やや上昇傾向にある。例年、コーヒー業界では、12月までが繁忙期に当たるため、1月は客の買い控えが発生する。この状態は、前年と同様な動きになっていく。
		その他小売の動向を把握できる者〔ショッピングセンター〕（支配人）	・今後の新型コロナウイルスの感染状況次第ではあるが、ショッピングセンターにおける核店舗の改装オープンによる景気が落ち着くころのため、無難に現状と同程度と予想している。一方で、感染状況がそのまま安定していれば、シネマの新作公開や集客イベントの段階的な解禁も合わせ、徐々に回復していく。
		その他飲食の動向を把握できる者〔酒卸売〕（経理）	・新型コロナウイルスの新規感染者数がない状況でも、新型コロナウイルス発生前と比較すると1割の減収となっているため、現在の収入のみでは景気は変わらない。また、新型コロナウイルスの感染が拡大すれば、景気が悪くなると見込んでいる。
		タクシー運転手	・インバウンドの利用客がないとはいえ、配車アプリや料金支払のキャッシュレス化により、若者のタクシー利用が増加し、売上が一気に上向いており、新型コロナウイルス新変異株の影響が小さければ、より一層の回復が期待できる。
		タクシー運転手	・再度新型コロナウイルスの感染が増えているため、先行き不透明である。
		通信会社（企画担当）	・新型コロナウイルス新変異株の流行が予想されているが、人流は減少しても、それを踏まえた事業展開ができているため、取引先に予算を削減されるということは余り考えられない。
		通信会社（企画担当）	・今期一杯は、現状の販売が維持できる。
		通信会社（統括者）	・店頭への客は、予約制度に慣れ、分散化傾向にある。店頭としてもスマートフォン教室等の案内で、来店客を増加させようとしており、携帯電話業界は2～3月下旬まで最大の需要期を迎えるため、しっかり来店促進活動をしていき、前年並みの販売に期待したい。
		ゴルフ場（従業員）	・今後の予約状況も今のところ順調に推移しており、引き続きこの傾向が続く。
		競馬場（職員）	・コロナ禍の状況が変わらなければ、現状が継続する。
		美容室（経営者）	・寒い季節になると景気は落ちていく。12月はそれほど売上が上がっていないため、今と同じ推移になると予想している。2～3月は、新製品ができる時期になるが、今一つ伸び悩んでいる。新型コロナウイルス新変異株が拡大しなければ、景気は上がってくる。
		設計事務所（所長）	・3か月先に今月の結果が出るため、景気に変化はない。
		設計事務所（代表）	・新型コロナウイルスの影響が続く。
		住宅販売会社（従業員）	・現状では新型コロナウイルスの影響で消費は落ち込んでいるが、景気向上対策として子育て世代へ給付される補助金が消費に回れば、景気が若干良くなるのではないかと期待する。一方で現実的には、補助金のうち多くが投資等の貯蓄に回る可能性が非常に高いと予想している。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルスから新型コロナウイルス新変異株に増えつつある。また、年末年始の出費のしわ寄せが来年に回るとのではないかと心配している。
		商店街（代表者）	・年末商戦が終わり、落ち着くと考える。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		一般小売店〔鮮魚〕 (店員)	・コロナ禍により、自宅です正月を過ごすことが多いため、やや正月商戦は良いようである。しかし、正月明けの売上は、例年以上に反動があると予想している。要因として、様々な商材の値段が高くなっており、後に響きそうな状況である。
		百貨店(経営企画担当)	・前年はなかった帰省客も多くみられ、商環境回復基調となっている。コロナ禍以降のリベンジ消費的な側面もあり、この状況が継続するかは不透明である。
		コンビニ(店長)	・新型コロナウイルス新変異株の発生で、また、状況が悪くなると危惧している。
		コンビニ(店長)	・新型コロナウイルス新変異株の感染拡大が懸念される。また、急速な拡大で医療的圧迫が生じて、状況に慣れてしまっているため、極端な落ち込みはないと予想するが、政府の対策に期待している。
		衣料品専門店(店員)	・新型コロナウイルス新変異株がじわじわ増えており、第6波の不安がある。
		家電量販店(従業員)	・電話機やファクシミリ、給湯器、温水洗浄便座、LED照明器具等メーカーからの商品供給が滞っている商品が多くなっているため、その分の売上減少が心配される。
		乗用車販売店(代表)	・新型コロナウイルスの影響が、まだまだ続く。
		住関連専門店(経営者)	・新型コロナウイルス新変異株が増加しており、年末年始の新規感染者数によっては、緊急事態宣言の発出などが考えられ、経済活動が低迷する。
		その他小売の動向を把握できる者〔ショッピングセンター〕(統括者)	・新型コロナウイルス新変異株の拡大により、再び緊急事態宣言発出等があれば厳しい状況となる。
		観光型ホテル(総務)	・新型コロナウイルス新変異株の感染拡大が予想される。一方、3回目ワクチン接種の前倒し実施や経口薬の普及が期待されるため、第6波は第5波より小さくなると予想している。
		タクシー運転手	・新規感染者数が増えつつある新型コロナウイルス新変異株の感染拡大の程度と年明け経済への影響が不透明であるため、かなり不安を感じている。
		ゴルフ場(営業)	・新型コロナウイルス新変異株の流行が全世界で確認されて、国内にも波及することが予想されるため危惧している。
		理容室(経営者)	・今月は年間のなかで、一番来客数が多い月であるため、景気が良くなっており、新型コロナウイルスの新規感染者数が緩んできたことも要因となり、観光関係も上向いている。しかし、1~2月は景気が落ち込む時期になるため、やや悪い景気となる。
		美容室(店長)	・新型コロナウイルスの新規感染者数が増えており、感染に気を付けて生活しているため、今より悪くなる。
		その他サービスの動向を把握できる者〔介護サービス〕(管理担当)	・新型コロナウイルス新変異株の今後の感染拡大が懸念され、再度客からのサービスキャンセルが増加に転じる可能性がある。
	×	一般小売店〔生花〕 (経営者)	・3月の最終日はかなり売上があるが、2~3月の卒業シーズン前までは、花の需要がないため、売上が落ちる。
	×	高級レストラン(経営者)	・1月の予約は若干あるが、前年よりも少ない。新型コロナウイルス新変異株の感染拡大の懸念もあり、客が飲食関係に来店することを控える状況になるため、かなり厳しくなることが予想される。
	×	スナック(経営者)	・新型コロナウイルス新変異株の市中感染が確認され、今後新型コロナウイルスの感染拡大が予想される。
	×	美容室(経営者)	・新型コロナウイルス新変異株が広まりつつあり、3月は警戒して景気が落ち込むと予想している。
	×	設計事務所(所長)	・建築業界では、材料や住宅設備等の値上げの予告が数多くあり、建築費の上昇は避けられない。また生活必需品の値上げが続く見通しで、収入が増加しない状況では支出を抑えることになると考えられる。
企業 動向 関連 (九州)		-	-
		出版・印刷・同関連産業(営業担当)	・年度末予算消化に向けた受注量を見込んでいる。
		化学工業(総務担当)	・製品の出荷数量は、堅調に推移する見込みである。
		金属製品製造業(事業統括)	・大型再開発案件は多数あるが、中小案件は横ばい状況である。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		一般機械器具製造業（経営者）	・受注量は2～3か月前と比較すると徐々に上がっている。加えて、取引先の工場でも人の動きが固定し、それなりの生産量が上がっているため、今後の景気に期待している。
		電気機械器具製造業（総務担当）	・半導体不足により、関連事業が好調を継続しているため、更に増産傾向にあり、先行きは明るい。
		金融業（調査担当）	・ワクチン接種や飲み薬が広がることへの期待感から、徐々に経済が回復基調をたどる予測が多くなっている。
		広告代理店（従業員）	・第6波の状況次第であるが、景気は持ち直していくと期待をしているものの、感染拡大すれば悪くなる。
		経営コンサルタント（代表取締役）	・当社Webや資料請求サイトからの問合せが増加傾向にあり、人材投資が更に加速する。
		経営コンサルタント（社員）	・今後もダイレクトメールによる販売促進活動をするため、若干でも動きがみられると予想している。
		農林水産業（経営者）	・例年1～2月は落ち込みがあり、来年も変化はないと予想している。しかし、増えつつある新型コロナウイルス新変異株の感染状況次第では、外食部門が前年と同様な状況になり、新型コロナウイルスの影響がもう少し長期化するかもしれない。加えて、鳥インフルエンザの発生状況も消費生産に大きく影響するため懸念している。
		家具製造業（従業員）	・今期後半の動向だけで判断すると、今後これ以上の大きな落ち込みはないが、来期は緩やかではあるが好転にも期待できる。ただし、新型コロナウイルス第6波の状況次第では、今後も低迷し続ける危険性はまだ大いにある。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	・売上は前年度と変わらないと予想している。ふるさと納税は1～2月は落ち込むため、産地全体や流通も急激な上向きはない。
		電気機械器具製造業（経営者）	・引き続き材料や部品、消耗品等の品薄、価格高騰は変わらないと考えられる。その影響で、生産能力どりの生産ができず懸念される。
		電気機械器具製造業（取締役）	・現状を乗り越えるために、必要部品の代替品応用等の企業努力と工夫が必要である。
		輸送用機械器具製造業（営業担当）	・客先の内示等の計画数が多いが、海外部品の供給遅延や停滞による影響も予測されるため、ほぼ初期計画レベルで推移する。
		その他製造業〔産業廃棄物処理業〕	・原材料の価格高騰や不足があり、生産したくてもできない。新型コロナウイルスの不安もあり、すぐに生産が増えるとはいえないが、需要はあるため、今後に期待感はある。
		通信業（職員）	・官庁が施主の営業案件数と受注予想額が伸びておらず、受注目標に対して、残り3か月で厳しい状況となっている。
		通信業（経理担当）	・新型コロナウイルス新変異株の影響が見通せない。
		金融業（従業員）	・公共投資が高水準で推移しており、住宅投資でも持ち直している。また、スーパーマーケットやコンビニエンスストアの売上も増加傾向を示している。新型コロナウイルスの新規感染者数が大幅に減少したことから、飲食店や旅行・観光関連業者でも持ち直しの動きがみられるが、一方、新型コロナウイルス新変異株による感染再拡大の懸念があるため、慎重な見方をする企業も少なくない。
		金融業（調査担当）	・人流の増加や供給制約の緩和を受けた景気の回復が期待されるものの、新型コロナウイルスや供給制約の動向は、引き続き予断を許さない状況にある。特に、新型コロナウイルス新変異株が発生し、海外では新規感染者数が急増しており、日本国内でも緩やかな感染再拡大がみられ、年末年始での広域的な人流増加や接触機会増加によって、更なる感染拡大の可能性はある。
		不動産業（従業員）	・賃貸物件の入居状況が、横ばいに推移している。
		新聞社〔広告〕（担当者）	・新型コロナウイルス新変異株による影響で、状況が見通せない。
		広告代理店（役員）	・3か月予想が、前年を僅かに上回るレベルであり、良くなるとはいえない。
		経営コンサルタント（社員）	・若年層の購買力は高いが、主婦層では財布のひもが固い。
		経営コンサルタント（代表取締役）	・状況が改善されつつあるが、新型コロナウイルス新変異株という不安材料を持った状態であり、大幅に感染拡大するとすぐに前の状態に戻るということが容易に想像できるため、懸念材料となっている。
		その他サービス業〔物リース〕（職員）	・大幅な変動はなく、変わらない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		食料品製造業（経営者）	・原料の伝染病の影響が大きくなっていく。
		繊維工業（営業担当）	・既製品やオーダーは全く受注が伸びず、廃業していく企業が出てくる。
		建設業（従業員）	・なかなか大型物件や公共工事の受注に結び付かず、経営の規模縮小に伴い、景気はやや悪くなる。
		建設業（社員）	・災害の補正予算が計上されているが、当地区には大きな災害は発生していないため、他地区の下請を頼む予定である。繰越工事に期待したいが、多くは期待できないため、公共工事への大型補正予算に期待したい。
		輸送業（従業員）	・原料不足により、受注が受けられないため、状況が悪くなる。
		輸送業（総務担当）	・新型コロナウイルス新変異株の影響により、感染拡大が懸念される。工場停止等によりモノの供給が遅れ、従事する者の所得が減少し、消費が抑えられるなど、不安材料が多い。さらに、大寒波の影響で物流が滞り、追い打ちをかける懸念している。
		金融業（営業担当）	・国内でも新型コロナウイルス新変異株の市中感染が目立つようになってきている。年末は年末商戦で盛り上がるが、一方、住宅に関しては、木材や鉄、灯油、ガソリン、全般的に重機も含めて値上がりが見られる。したがって、新型コロナウイルス新変異株の増加とともに物価高も心配され、先行きが若干悪く考えている。
		金融業（営業）	・新型コロナウイルス第6波が流行すると、再び消費が落ち込み、景気が悪化することが懸念される。
		x	その他サービス業〔コンサルタント〕（代表取締役）
雇用 関連 (九州)		人材派遣会社（社員）	・求人の動きに対して求職者の動きが鈍い。現状より好条件でない限り人が動かない傾向にある。コロナ禍でリモート整備等がされた企業の求人へは人が集まるが、以前と同等の求人に対してのマッチングが厳しい。
		職業安定所（職員）	・新規求人の動きが、前々年度を超える状況となっている。
		職業安定所（職員）	・12月の新規求人数は、4月以降最高数値となった10月の数値に近くなると予想される。また、コロナ禍の影響を受けた企業からの雇用調整助成金の相談や受付件数等は、12月で40件程度と見込まれ、11月と比較して15件程度減少している。
		人材派遣会社（社員）	・ワクチン接種の3回目や飲み薬により、新型コロナウイルスへの対策が進み、経済が更に動き出すと期待している。
		人材派遣会社（社員）	・派遣登録者数も新規や先付けで就業可能な登録が多く出ており、求人数が増えたことに合わせ動きが活発化している。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・当市でも新型コロナウイルス新変異株の市中感染が発生したが、早めの対策を打ち出しており、感染が広がらないことを願うばかりである。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・年末年始を乗り切り、感染状況が落ち着いていけば、経済活動は更に活発になる。春に向け、進学や異動等の動きも出るため、消費活動も比例して伸びると考える。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・引き続き新型コロナウイルス第6波の感染拡大が心配されるが、対策等が浸透しているため、外国人労働者や観光客は当面期待できないが、国内への旅行や買物は増加していく。
		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスの新規感染者数の減少傾向が継続しており、飲食業や宿泊業の回復傾向がみられ、それにより求職者も増加傾向にあるため、少しずつ景気回復していると考えられる。一方で、コロナ禍による景気悪化が長期になっているため、事業所の廃止や縮小の相談もある。今後順調に景気が回復しない場合は、更にこのような相談が増加することが見込まれる。
		民間職業紹介機関（職員）	・今後の感染状況次第ではあるが、このまま人の行動が緩和されていけば、企業の採用意欲も高まる。また、就職活動の時期が早まっていることを考えると、良くなっていく。
		人材派遣会社（社員）	・3回目ワクチンに関しての期待感も感じられ、徐々に注文が増えてはいるが、現状維持を保ちつつ、人員補充や増員に関して慎重に状況判断をしている企業がほとんどである。
		人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルス新変異株の感染状況により左右される。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		新聞社〔求人広告〕 (社員)	・将来の景気は、新型コロナウイルス新変異株次第と考えられる。感染力は強いものの軽症で済めば、今までの反動もあり、経済活動は徐々に回復していく。新型コロナウイルス新変異株が想定より強力で、再び緊急事態宣言発出ということになれば、夏の頃の状態に戻り、経済活動の停滞が考えられる。特に3月は広告の需要期だけに、痛手である。
		職業安定所(職員)	・新型コロナウイルス新規感染者数が激減したことで、一瞬景気が戻りつつあるようだが、新型コロナウイルス新変異株の感染状況が予断を許さないため、景気も先行きが不透明のままである。
		学校〔大学〕(就職支援業務)	・新型コロナウイルス新変異株の脅威が段々と増しており、10月以降緩和されてきた日常生活や経済への影響が心配される。ただ、企業の採用活動では、一部の企業で採用数の増加があるが、多くの企業では2023年卒の採用者数は今年と同程度になると推測される。また、オンラインによるインターシップの実施は前年度よりも増えており、企業の採用意欲は徐々に上向いていく。
	x	-	-

12. 沖縄(地域別調査機関:一般財団法人南西地域産業活性化センター)

(-:回答が存在しない、*:主だった回答等が存在しない)

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (沖縄)		コンビニ(副店長)	・新型コロナウイルス新変異株の今後の感染状況によるが、年明けの県民対象の県内旅行促進キャンペーンや、再開予定のGo Toキャンペーンに期待する。
		観光型ホテル(企画担当)	・ホテルの12月の販売室数は前年比34%減少とマイナスなのに対し、12月末時点で3月の予約室数は前年比92%増加とプラスに転じている。
		コンビニ(経営者)	・催事やイベントの増加により売上や来客数の増加が見込まれる。
		その他専門店〔陶器〕 (製造)	・今まで新型コロナウイルスを意識して外出しなかった周りの人々が外出し始めている。やや良くなる、と選択したが、売行きについては年末年始で来客数が多いこともあるので、年始の忙しさが終わった後はどうなるか分からないところもある。
		一般小売店〔酒〕(店長)	・一旦新型コロナウイルスの感染が落ち着いたので来客数が増えてきているが、また感染が増え始めているので今後の対策次第で、景気も変わっていくとみている。
		スーパー(企画担当)	・新型コロナウイルスの新規感染者数の状況にもよるが、しばらくは現状が続くとみられる。
		スーパー(販売企画)	・第5波は落ち着いてきたが、新型コロナウイルス新変異株で再び警戒感が強まっているように見受けられる。来客数減少はまだ続く予想される。
		コンビニ(代表者)	・新型コロナウイルス新変異株による新規感染者数は徐々に増えていくと考える。そのため、人流はこれ以上活発にはならず現状が維持されていくと判断する。
		衣料品専門店(経営者)	・今月は緊急事態宣言解除の影響か、客の出が良い印象を受けている。年末ということもあり、少し売上が良くなっている。このように今後も売上が増えてくれたら良いと考えるが、状況はまだ様子見だとみている。
		衣料品専門店(経営者)	・変わらないと答えたのは、分からないからである。政策次第かとみている。自然に景気が回復するとはみしていない。
		観光型ホテル(代表取締役)	・先の宿泊予約は伸びていない。観光客は新型コロナウイルス新変異株への懸念やGo To Travelキャンペーンの再開が明確に決まったことで旅行控えている。
		住宅販売会社(代表取締役)	・新型コロナウイルスの影響で、個人住宅や投資案件に対する投資意欲が低下しているとみられる。
	住宅販売会社(役員)	・例年、1~3月は年度末でもあり好調に推移するが、県内の新型コロナウイルス新規感染者数が増えつつあるので心配である。	
	百貨店(店舗企画)	・新型コロナウイルス新変異株の感染が徐々に拡大傾向にあるため、客足が止まらないか心配である。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		コンビニ（店長）	・ここ数年景気に影響を与えている新型コロナウイルス感染が下火になり、景気が回復してきているが、ここに来て新型コロナウイルス新変異株での再流行の兆しがみえているため、これから2～3か月先の見通しとしてはやや悪くなると判断している。
		旅行代理店（マネージャー）	・ここに来て新型コロナウイルスの感染者数が増えつつあり、悪くなるとはみているが踏みとどまってほしい。
		観光名所（職員）	・新型コロナウイルス新変異株の感染状況で予約のキャンセルが出始めている。
		その他サービス〔レンタカー〕（営業）	・新型コロナウイルス新変異株の感染拡大により、旅行需要の落ち込みが予想され個人受注は鈍化している。既に年末年始の予約キャンセルが発生しており、厳しい状況は続いている。
	×	商店街（代表者）	・現在まだ新型コロナウイルス感染が拡大中で、落ち着いたと思いきやまた新型コロナウイルス新変異株が出て、皆大変厳しい状況に陥っているとみている。早く新型コロナウイルスが終息しないと経済全体に悪影響が与えられる。
	×	その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・このところ、新型コロナウイルスの感染者数が倍々増えて、リバウンドで1日800名を越す予想も出て、1月以降の予約キャンセルが予約の50%まで増えている。また、食材の値上がりで、売価を上げざるを得ないが、客は値上げには厳しく、なかなか値上げできない状態にある。
企業 動向 関連 (沖縄)		建設業（経営者）	・5000万円、1億円、2億円級案件の商談が具体的に進んでいる。
		窯業土石業（取締役）	・売上に大きな変化はないとみられるが、原材料の値上げを価格転嫁できず、今後収益を圧迫する。また、新型コロナウイルス新変異株による第6波の影響が懸念される。
		輸送業（代表者）	・宮古島、石垣島の建設関連は、官需部門においては、石垣島の陸上自衛隊関連工事が本格化するが、大型物件が終わった宮古島では落ち込みが大きい。民需ではホテル関係が出ている。小笠原諸島の海底火山噴火で発生した軽石の影響で11～12月と稼働停止となっていて、今後の更なる影響が心配される。
		広告代理店（営業担当）	・新型コロナウイルス感染症が落ち着きをみせたなかで、米軍基地の大規模クラスターが発生して新変異株の広がりが懸念される。さらに、全国ネットのニュースでも放送されたことで、再び観光産業へのダメージを危惧する県内企業もあり、販促活動を見直す動きがある。
		会計事務所（所長）	・物価の上昇などが、生活面にじわじわと影響すると予想している。
		食料品製造業（役員）	・新型コロナウイルス新変異株による感染者が今後も増加することが予想され、消費活動がまた減速する心配が出てきている。
	×	輸送業（経営企画室）	・新型コロナウイルス新変異株感染者数の増加、米軍基地内でのクラスター、年末年始の人の移動による更なる新規感染者数増加で第6波の兆しがみえつつある。また、北米の港の混雑による供給不足や燃料費の高騰に伴う物流費の増加で商品価格の値上げが発生する可能性がある。一部、報道でも精肉系大手メーカーが上記を理由に商品の値上げを発表しており、今後その他でも値上げのおそれがあるため、消費の落ち込みが懸念される。
雇用 関連 (沖縄)		学校〔大学〕（就職支援担当）	・観光と航空関係で人の動きが継続的に増加するとみられ、消費活動が活発になり、企業の求人も増えると考えている。
		人材派遣会社（総務担当）	・年末に向けて商業施設の人の動きは活発になり、景気が少しずつ良くなりそうである。
		求人情報誌製作会社（営業）	・年間の月別求人数動向を参考にすると、2月を谷間として1月と3月は今月よりも求人数が増えると予測している。現在の新型コロナウイルス感染状況が悪化すると減少に転じる可能性もある。
		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスの感染状況にもよるが、観光の復調や、景気対策の結果、ホテル、宿泊施設業界では採用活動の再開、求人数の増加が見込まれる。
		学校〔専門学校〕（就職担当）	・新型コロナウイルスの影響で採用を控えていた企業より、新年度は新卒の採用を再開、採用数の増加を検討しているという話が複数ある。来年3月からは選考試験も始まるため、今年より多くの求人数が来ると考えている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		人材派遣会社（経営者）	・派遣依頼に対して、人材不足が恒常的に続いており、せっかくの依頼が売上増加になかなか結び付かない。少し良い傾向としては、人材不足もあり時給アップに応じる企業が増えている。
		求人情報誌製作会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染者数が再度増加傾向にある。
		-	-
	x	-	-